文学部専門科目

英語英米文学科

（授業科目名五十音順）

科目名	Advanced English Seminar Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
オーストラリア、ニュージーランドに焦点をあて英語圏の社会や文化について、様々な文献を読んだり、映像教材の音声を聞き取ったり、話題を決めて英語で意見を述べたりする活動を通して、自分の研究論文を英語で執筆することにより、英語の4技能の強化を目指す。

[授業概要]
オーストラリア、ニュージーランドを中心に英語圏の社会や文化に焦点を当て、様々な国が今日の状態に至っている歴史的経緯について文学作品や歴史書など多様な文献から読み取る。また、各国の代表的な文化的作品や社会を描いた作品の映像を鑑賞し、述べられている内容を聞き取る。学習した内容についてクラス内で議論を行い、自分の意見をまとめてプレゼンテーションを行う。これらの学習活動を通して得られた知見を研究論文として1,000語程度の英文を書く。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
What to prepare before class- Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
第1回:オリエンテーション、英語圏の国々の歴史の概要
第2回:英語圏の国々の宗教の概要
第3回:英語圏の国々の宗教についての討論
第4回:英語圏の国々の家族観の概要
第5回:英語圏の国々の家族観の討論
第6回:英語圏の国々の教育についての概要
第7回:英語圏の国々の教育についての討論
第8回:英語圏の国々の文学作品についての概要
第9回:英語圏の国々の文学作品についての討論
第10回:英語圏の国々の人種に対する政策・考えについての概要
第11回:英語圏の国々の人種に対する政策・考えについての概要
第12回:プレゼンテーションの準備
第13回:プレゼンテーション発表会

科目名	Advanced English Seminar Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[成績評価方法]
授業中の態度(ディスカッションへの参加等)10%, 課題・クイズ 10%, プレゼンテーション 20%, ショート・エッセー 20%, 1,000語程度の研究論文 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students' written assignments will be posted on Manaba. The teacher will return these also on Manaba with comments, corrections and suggestions for second drafts. Students will also receive written comments after they give an oral presentation.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:English only discussions

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:English only discussions, assignments

学科DP番号／DP内容:英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments, essays

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:presentations, essays

学科DP番号／DP内容:英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:English only discussions, essays

学科DP番号／DP内容:英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments

学科DP番号／DP内容:英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法:English only discussions, group work

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, essays

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:presentations, group work

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments, essays

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, group work

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments, essays

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, presentations

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments, essays

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments, essays

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:essays

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	Advanced English Seminar Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
ハワイに焦点を当てながら、アメリカ合衆国等英語圏の社会や文化について、様々な文献を読んだり、映像教材の音声を聞き取ったり、話題を決めて英語で意見を述べたりする活動を通して、自分の研究論文を英語で執筆することにより、英語の4技能の強化を目指す。

[授業概要]
ハワイを中心にアメリカ合衆国の社会や文化に焦点を当て、様々な国が今日の状態に至っている歴史的経緯について文学作品や歴史書など多様な文献から読み取る。また、各国の代表的な文化的作品や社会を描いた作品の映像を鑑賞し、述べられている内容を聞き取る。学習した内容についてクラス内で議論を行い、自分の意見をまとめてプレゼンテーションを行う。これらの学習活動を通して得られた知見を研究論文として1,000語程度の英文を書く。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in assignments in a timely manner.

各回、予習復習合わせて 2 時間程度

[授業計画]
第1回:オリエンテーション、英語圏の国々の歴史の概要
第2回:英語圏の国々の宗教の概要
第3回:英語圏の国々の宗教についての討論
第4回:英語圏の国々の家族観の概要
第5回:英語圏の国々の家族観の討論
第6回:英語圏の国々の教育についての概要
第7回:英語圏の国々の教育についての討論
第8回:英語圏の国々の文学作品についての概要
第9回:英語圏の国々の文学作品についての討論
第10回:英語圏の国々の人種に対する政策・考えについての概要
第11回:英語圏の国々の人種に対する政策・考えについての概要
第12回:プレゼンテーションの準備
第13回:プレゼンテーション発表会

科目名	Advanced English Seminar Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[成績評価方法]
授業中の態度(ディスカッションへの参加等)10%, 課題 10%, プレゼンテーション 20%, ショート・エッセー 20%, 1,000語程度の研究論文 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will submit assignments to manaba. The teacher will review the assignments and provide comments and suggestions. The students will be asked to read the comments, revise their assignments, and resubmit them through manaba. Presentations will be given written feedback from the teacher as well as student feedback.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:English only discussions

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:English only discussions, assignments

学科DP番号／DP内容:英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments, essays

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:essays, presentations

学科DP番号／DP内容:英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:English only discussions, essays

学科DP番号／DP内容:英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments

学科DP番号／DP内容:英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法:English only discussions, group work

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, essays

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:group work, presentations

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments, essays

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, group work

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments, essays

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, presentations

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments, essays

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments, essays

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:essays

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	Advanced English Seminar Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. ハリソン		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英国等英語圏の社会や文化について、様々な文献を読んだり、映像教材の音声を聞き取ったり、話題を決めて英語で意見を述べたりする活動を通して、自分の研究論文を英語で執筆することにより、英語の4技能の強化を目指す。

[授業概要]
英国等英語圏の社会や文化に焦点を当て、様々な国が今日の状態に至っている歴史的経緯について文学作品や歴史書など多様な文献から読み取る。また、各国の代表的な文化的作品や社会を描いた作品の映像を鑑賞し、述べられている内容を聞き取る。学習した内容についてクラス内で議論を行い、自分の意見をまとめてプレゼンテーションを行う。これらの学習活動を通して得られた知見を研究論文として1,000語程度の英文を書く。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
第1回:オリエンテーション、英語圏の国々の歴史の概要
第2回:英語圏の国々の宗教の概要
第3回:英語圏の国々の宗教についての討論
第4回:英語圏の国々の家族観の概要
第5回:英語圏の国々の家族観の討論
第6回:英語圏の国々の教育についての概要
第7回:英語圏の国々の教育についての討論
第8回:英語圏の国々の文学作品についての概要
第9回:英語圏の国々の文学作品についての討論
第10回:英語圏の国々の人種に対する政策・考えについての概要
第11回:英語圏の国々の人種に対する政策・考えについての概要
第12回:プレゼンテーションの準備
第13回:プレゼンテーション発表会

科目名	Advanced English Seminar Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. ハリソン		

[成績評価方法]
授業中の態度(ディスカッションへの参加等)10%, 課題・クイズ 10%, プレゼンテーション 20%, ショート・エッセー 20%, 1,000語程度の研究論文 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students' written assignments will be posted on Manaba. The teacher will return these also on Manaba with comments, corrections and suggestions for second drafts. Students will also receive written comments after they give an oral presentation.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:クラス参加・ディスカッション(10%)、プレゼンテーション(30%)、課題(20%)、小論文(40%)

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	Advanced English Seminar Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
オーストラリアおよびニュージーランドの社会や文化について、様々な文献を読んだり、映像教材の音声を聞き取ったり、話題を決めて英語で意見を述べたりする活動を通して、自分の研究論文を英語で執筆することにより、英語の4技能の強化を目指す。

[授業概要]
オーストラリア、ニュージーランドの社会や文化に焦点を当て、様々な国が今日抱えてる自然環境を含む地理的な問題、政治的な問題、健康問題、家族形態の変化、社会格差、教育問題などについて文献から読み取る。また、様々なドキュメンタリー映像等を視聴し、述べられている内容を聞き取る。学習した内容についてクラス内で議論を行い、自分の意見をまとめてプレゼンテーションを行う。これらの学習活動を通して得られた知見を研究論文として1,000語程度の英文を書く。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
What to prepare before class– Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
第1回:オリエンテーション、英語圏(おもにオーストラリア、ニュージーランド)の地理・政治の概要
第2回:英語圏の国々の健康問題
第3回:英語圏の国々の地理・政治や健康に関する内容についての討論
第4回:英語圏の国々の家族形態の概要
第5回:英語圏の国々の家族形態についての討論
第6回:英語圏の国々の教育問題・社会格差の概要
第7回:英語圏の国々の教育問題・社会格差についての討論
第8回:研究論文のテーマ設定について(文化・文学分野のテーマ設定について)
第9回:研究論文のテーマ設定について(社会問題・自然環境分野のテーマ設定について)
第10回:研究論文の論理展開と英語表現について
第11回:研究論文執筆準備(担当教員との質疑応答を含む)
第12回:プレゼンテーションの準備、研究論文提出
第13回:プレゼンテーションの発表

科目名	Advanced English Seminar Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[成績評価方法]
授業中の態度(ディスカッションへの参加等)10%, 課題・クイズ 10%, プレゼンテーション 20%, ショート・エッセー 20%, 1,000語程度の研究論文 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students' written assignments will be posted on Manaba. The teacher will return these also on Manaba with comments, corrections and suggestions for second drafts. Students will also receive written comments after they give an oral presentation.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:English only discussions

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:English only discussions, assignments

学科DP番号／DP内容:英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments, essays

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:presentations, essays

学科DP番号／DP内容:英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法:English only discussions, presentations, essays

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:English only discussions, essays

学科DP番号／DP内容:英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments

学科DP番号／DP内容:英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法:English only discussions, group work

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, essays

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:group work, presentations

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments, essays

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments, essays

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments, essays

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, presentations

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments, essays

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments, essays

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:essays

[教科書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	Advanced English Seminar Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
アメリカ合衆国ハワイを中心に英語圏の社会や文化について、様々な文献を読んだり、映像教材の音声を聞き取ったり、話題を決めて英語で意見を述べたりする活動を通して、自分の研究論文を英語で執筆することにより、英語の4技能の強化を目指す。

[授業概要]
アメリカ合衆国ハワイを中心に英語圏の社会や文化に焦点を当て、様々な国が今日抱えてる自然環境を含む地理的な問題、政治的な問題、健康問題、家族形態の変化、社会格差、教育問題などについて文献から読み取る。また、様々なドキュメンタリー映像等を視聴し、述べられている内容を聞き取る。学習した内容についてクラス内で議論を行い、自分の意見をまとめてプレゼンテーションを行う。これらの学習活動を通して得られた知見を研究論文として1,000語程度の英文を書く。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in assignments in a timely manner.

各回、予習復習合わせて 2 時間程度

[授業計画]
第1回:オリエンテーション、英語圏の国々の地理・政治の概要
第2回:英語圏の国々の健康問題
第3回:英語圏の国々の地理・政治や健康に関する内容についての討論
第4回:英語圏の国々の家族形態の概要
第5回:英語圏の国々の家族形態についての討論
第6回:英語圏の国々の教育問題・社会格差の概要
第7回:英語圏の国々の教育問題・社会格差についての討論
第8回:研究論文のテーマ設定について(文化・文学分野のテーマ設定について)
第9回:研究論文のテーマ設定について(社会問題・自然環境分野のテーマ設定について)
第10回:研究論文の論理展開と英語表現について
第11回:研究論文執筆準備(担当教員との質疑応答を含む)
第12回:プレゼンテーションの準備、研究論文提出
第13回:プレゼンテーションの発表

科目名	Advanced English Seminar Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[成績評価方法]
授業中の態度(ディスカッションへの参加等)10%, 課題・クイズ 10%, プレゼンテーション 20%, ショート・エッセー 20%, 1,000語程度の研究論文 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will submit assignments to manaba. The teacher will review the assignments and provide comments and suggestions. The students will be asked to read the comments, revise their assignments, and resubmit them through manaba. Presentations will be given written feedback from the teacher as well as student feedback.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:English only discussions

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:English only discussions, assignments

学科DP番号／DP内容:英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:essays, presentations

学科DP番号／DP内容:英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:English only discussions, essays

学科DP番号／DP内容:英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments

学科DP番号／DP内容:英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法:English only discussions, group work

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, essays

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:group work, presentations

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments, essays

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, group work

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments, essays

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, presentations

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:English only discussions, presentations, assignments

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:essays

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	Advanced English Seminar Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. ハリソン		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英国等英語圏の社会や文化について、様々な文献を読んだり、映像教材の音声を聞き取ったり、話題を決めて英語で意見を述べたりする活動を通して、自分の研究論文を英語で執筆することにより、英語の4技能の強化を目指す。

[授業概要]
英国等英語圏の社会や文化に焦点を当て、様々な国が今日抱えてる自然環境を含む地理的な問題、政治的な問題、健康問題、家族形態の変化、社会格差、教育問題などについて文献から読み取る。また、様々なドキュメンタリー映像等を視聴し、述べられている内容を聞き取る。学習した内容についてクラス内で議論を行い、自分の意見をまとめてプレゼンテーションを行う。これらの学習活動を通して得られた知見を研究論文として1,000語程度の英文を書く。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
第1回:オリエンテーション、英語圏の国々の地理・政治の概要
第2回:英語圏の国々の健康問題
第3回:英語圏の国々の地理・政治や健康に関する内容についての討論
第4回:英語圏の国々の家族形態の概要
第5回:英語圏の国々の家族形態についての討論
第6回:英語圏の国々の教育問題・社会格差の概要
第7回:英語圏の国々の教育問題・社会格差についての討論
第8回:研究論文のテーマ設定について(文化・文学分野のテーマ設定について)
第9回:研究論文のテーマ設定について(社会問題・自然環境分野のテーマ設定について)
第10回:研究論文の論理展開と英語表現について
第11回:研究論文執筆準備(担当教員との質疑応答を含む)
第12回:プレゼンテーションの準備、研究論文提出
第13回:プレゼンテーションの発表

科目名	Advanced English Seminar Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. ハリソン		

[成績評価方法]
授業中の態度(ディスカッションへの参加等)10%, 課題・クイズ 10%, プレゼンテーション 20%, ショート・エッセー 20%, 1,000語程度の研究論文 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students' written assignments will be posted on Manaba. The teacher will return these also on Manaba with comments, corrections and suggestions for second drafts. Students will also receive written comments after they give an oral presentation.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:クラス参加・ディスカッション(10%)、プレゼンテーション(30%)、課題(20%)、小論文(40%)

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	Advanced TOEIC Training	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	今西　祐介		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・学生が英文法の基礎を修得し、英文を速読できるようになる。

・学生がTOEICリーディングセクションで高得点をあげられるようになる。

・学生がビジネスに関連した英語語彙を増やすことができる。

[授業概要]
・TOEICの公式問題集を使用しながら、リーディング問題の演習を行う。

・レクチャーやグループディスカッションを交えながら、短時間で正解を導くスキルを修得する機会を設ける。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎回の宿題等は、次回までの授業時間外に仕上げておくこと。

[授業計画]
本科目は集中講義であるため、初回授業時にスケジュールをアナウンスする。

科目名	Advanced TOEIC Training	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	今西　祐介		

[成績評価方法]
授業での積極性(50%)、小テスト(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：授業への取り組み、課題

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：授業への取り組み、課題

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：授業への取り組み、課題

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：授業への取り組み、課題

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：授業への取り組み、課題

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：授業への取り組み、課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業への取り組み、課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業への取り組み、課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業への取り組み、課題

[教科書(ISBN)]
書籍名:公式TOEIC Listening & Reading トレーニング 2 リーディング編 著者名:ETS 出版社名:国際ビジネスコミュニケーション協会 ISBN:9784906033737

[参考書(ISBN)]

科目名	アメリカ文化研究	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカの文化について学び考える	講義	
担当者	坂元　敦子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
広大な国土を持ち、移民によって構成されたアメリカの歴史を学び、その文化や社会・文学作品等に特徴がどのように表れているかを理解する。アメリカの多様な文化について説明された資料や記述、映像等を読み鑑賞して考察することによって、異文化理解をめざす。

[授業概要]
アメリカは身近な国のように思われるが、様々な点で我々と異なる文化と社会のありようが見られる。この授業ではアメリカの風土や文化の多様性に焦点をあて、歴史上のできごとや活躍した人たちについて学びながら、こうしたできごとや人物を扱った文学作品や映画等をとりあげて議論する。多文化社会で育まれた人々の価値観がどのようにアメリカの社会・文化をつくっていったかという点について考察し、より正確なアメリカの理解を目指す。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
課題についてはじゅうぶんにリサーチし提出することが必要である。レポートについては字数・形式を守り、テーマに関するリサーチをじゅうぶん行うこと。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
第1回: アメリカ大陸の発見
第2回: 「ポカホンタス」とジェイムスタウン
第3回: 「ポカホンタス」とジェイムスタウン
第4回: 「独立宣言」を読む
第5回: 南北戦争と南部の文化
第6回: アメリカ人とベースボール
第7回: 地理的特徴や地方の特色から見るアメリカの国民性
第8回: アメリカ演劇とミュージカル
第9回: ウォルト・ディズニーとアメリカの夢
第10回: 平等を求める運動 Rosa Parks
第11回: 平等を求める運動 Martin Luther King
第12回: 多文化社会の観点から見るアメリカの国民性
第13回: まとめ

科目名	アメリカ文化研究	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカの文化について学び考える	講義	
担当者	坂元　敦子		

[成績評価方法]
テスト(30%)、レポート(40%)、授業参加(発表や発言等(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内で実施し、マナバも使用します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:People and Culture in America 著者名:Tsutomu Akibaほか 出版社名:英宝社 ISBN:9784269190054

[参考書(ISBN)]

科目名	イギリス文化研究	前期	2 単位
サブタイトル	イギリス文化にかんするジョージ・オーウェルのエッセイを読む。翻訳と原文を精読	演習	
担当者	野末　紀之		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
大英帝国への批判やイギリスのポピュラー文化への愛着を示す作家の目を通し、イギリス文化研究のあり方を理解する。

[授業概要]
オーウェル（1903-50）は『動物農場』や『1984』の小説家として有名だが、エッセイにも文化研究の観点から重要で興味ぶかいものが多い。代表作を読むことで、現代のイギリス文化研究の先駆者として考察する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1. イントロダクション
2. オーウェル「象を撃つ」(1)
3. オーウェル「象を撃つ」(2)
4. オーウェル「象を撃つ」(3)
5. オーウェル「絞首刑」(1)
6. オーウェル「絞首刑」(2)
7. オーウェル「絞首刑」(3)
8. オーウェル「イギリス風殺人の衰退」(1)
9. オーウェル「イギリス風殺人の衰退」(2)
10. オーウェル「あの楽しかりし日々」(1)
11. オーウェル「あの楽しかりし日々」(2)
12. オーウェル「イギリス料理」
13. まとめと質疑応答

科目名	イギリス文化研究	前期	2 単位
サブタイトル	イギリス文化にかんするジョージ・オーウェルのエッセイを読む。翻訳と原文を使用	演習	
担当者	野末　紀之		

[成績評価方法]
授業への貢献度（40%）、レポート（60%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートはmanabaで採点、返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：授業への貢献度、レポート

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：授業への貢献度、レポート

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：授業への貢献度、レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：授業への貢献度、レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：授業への貢献度、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への貢献度、レポート

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	English for Information Technology	前期	2 単位
サブタイトル	English for Information Technology	講義	
担当者	J. ファハード		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
In this class, students will learn about various topics of technology using English. Some of these topics include: Microsoft office (Microsoft Word, Power Point, Excel), email writing, and SNS. By the end of this class students will become more familiar about IT and able to talk about IT topics using English.

[授業概要]
In class students will learn about technology and use class time to familiarize themselves with computer technology. The class will be in English. As a result, students will both learn about IT, and learn about English terminology regarding IT.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
毎回、パソコンを持ってきてください。
各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)

[授業計画]
1. Introduction / Syllabus
2. Microsoft word (1-1)
3. Microsoft word (1-2)
4. Microsoft Power point (1-2)
5. Microsoft Power point (2-2)
6. Microsoft Excel (1-1)
7. Microsoft Excel (1-2)
8. Midterm test / Email writing (1-1)
9. Email writing (1-2)
10. SNS (1-3)
11. SNS (2-3)
12. SNS (3-3)
13. Final test

科目名	English for Information Technology	前期	2 単位
サブタイトル	English for Information Technology	講義	
担当者	J. ファハード		

[成績評価方法]
授業での取り組み(20%)、毎回の単語テスト(20%)、期末試験(60%)
毎回の単語テストは点数ではなく、取り組んだかどうかで評価します。
期末試験は、持ち込み不可で、授業で取り組んだ、単語テスト(得点で評価)と英作文のテストを行います。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
試験について、採点結果をmanabaで確認できるようにします。詳しくは、授業中に案内します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:assignments, group work, tests

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:assignments, group work, tests

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:assignments, group work, tests

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:assignments, group work, tests

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:assignments, group work, tests

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	English for Careers Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	ビジネス英語	演習	
担当者	山口　知子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
実践的英語力、目指すキャリアで求められるコミュニケーション能力を身に付けます。
より具体的には、本授業ではビジネス・シーンで必要とされる英語力の基礎を習得します。

[授業概要]
ビジネスの場で必要な英語コミュニケーション能力を総合的に学びます。グローバル化の進む現代、卒業後の進路がどのようなものであれ、ビジネス英語の基礎を学んでおくことは、学生諸姉にとって将来必ず役に立つことと思います。
使用テキストは、以下「授業計画」に示すように、ユニットごとにさまざまなビジネス・シーンを想定しています。基本的に、2回の授業で1ユニットずつ進むので、各自十分な準備をして授業に臨んでください。また覚えるべき重要表現を示すので、確実に覚えていきましょう。授業中はペアワーク・グループワークを多用するので、積極的な参加が肝要です。
e-learning については、今期で進捗率50%達成を目指しますが、それ以外にも随時到達目標を設定しますので、遅延なく進めましょう。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
1.　次回授業の準備を十全にして授業に臨んでください。
2.　指定された、覚えるべき表現を確実に覚えていってください。
3.　TOEICの高スコアを目指し、e-learningによる学習に一定時間を費やしてください。
各回、予習復習合わせて3時間程度

[授業計画]
1. 授業の概要説明、Unit 1:　Introductions （初対面の挨拶や仕事内容の説明）
2. Unit 2:　Telephone Calls（電話の応答や伝言の受け方）
3. Unit 2:　Telephone Calls（電話の応答や伝言の受け方）
4. Unit 3:　Making an Inquiry（製品や価格に対する問い合わせ方法や対応）
5. Unit 3:　Making an Inquiry（製品や価格に対する問い合わせ方法や対応）
6. Unit 4:　Making an Appointment（約束の取り付けや変更に関する表現）
7. Unit 4:　Making an Appointment（約束の取り付けや変更に関する表現）
8. Unit 5:　Receiving a Visitor（受付での来客対応や空港での出迎え）
9. Unit 5:　Receiving a Visitor（受付での来客対応や空港での出迎え）
10. Unit 6:　Invitations（接客に役立つ表現やスモールトーク）
11. Unit 6:　Invitations（接客に役立つ表現やスモールトーク）
12. Unit 7:　Presentation 1（プレゼンテーションを始める際の挨拶や概要説明等の表現）
13. プレゼンテーションとまとめ

科目名	English for Careers Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	ビジネス英語	演習	
担当者	山口　知子		

[成績評価方法]
理解度確認試験（70%）、プレゼンテーション(20%)、E-learning 進捗度(10%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは原則として授業内で行いますが、課題の性質によってはKISSシステムを通じて行うこともあります。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび理解度確認試験を通じて評価します。

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび理解度確認試験を通じて評価します。

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび理解度確認試験を通じて評価します。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価します。

[教科書(ISBN)]
書籍名:Successful Office English 著者名:Tae Kudo 出版社名:センゲージ・ラーニング ISBN:978-4-86312-343-4

[参考書(ISBN)]

科目名	English for Careers Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	ホスピタリティ・マネジメント	演習	
担当者	後藤　真弓		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
ホスピタリティやサービス関連産業に関する知識を身につけ理解を深めることにより、幅広い視野を養い、今後のキャリア形成に役立てる。

[授業概要]
【伊丹空港でのJ－AIR、JALスカイ大阪両社の見学と、客室乗務員やグランドスタッフの職務体験が含まれます】
この授業では、エアラインや飲食業などにおけるホスピタリティの実践例を通じて、サービスとの違いや、形だけではないホスピタリティを実践するうえで大切となる「心」について学ぶことを目的とする。
また、受講生間のディスカッションや発表を通じて社会におけるホスピタリティの役割、重要性を理解し、これからの時代のホスピタリティのあり方を考える。
現在も日本航空の客室乗務職として乗務し、人財育成経験も有する講師が、現場での経験・最新の情報を織り交ぜながら講義を行う。
また、4月下旬から5月のいずれかの土曜日に、伊丹空港において空港見学、客室乗務員の業務とグランドスタッフの業務を体験するフィールドワークを実施する。

なお、受講受け入れ数は30名として、31名を超える場合は抽選とする
※初回授業で抽選を行うため、受講希望者は必ず初回授業に出席すること

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
毎回復習を行い、学んだ内容を日常生活で実際に活かすこと。課題は必ず提出(または授業内で発表)すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. ホスピタリティとは(ホスピタリティ、サービス、おもてなしの概念)
3. エアラインのホスピタリティ(航空業界の基礎知識、サービスの構成要素)
4. 5. 伊丹空港でのフィールドワーク(4月下旬～5月のいずれかの土曜日に実施予定)
6. フィールドワークの振り返り・グランドスタッフ、客室乗務員の業務
7. 飲食業におけるホスピタリティ①(グループワーク)
8. 飲食業におけるホスピタリティ②(グループ発表・講義)
9. ホスピタリティとコミュニケーション①
10. ホスピタリティとコミュニケーション②
11. ホスピタリティ　リーダーシップと安全
12. キャリアについて(ホスピタリティ)
13. まとめ、これまでの振り返り

科目名	English for Careers Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	ホスピタリティ・マネジメント	演習	
担当者	後藤　真弓		

[成績評価方法]
試験（40%）、グループワークならびに発表（30%）毎週の振り返りシート、授業中の取り組み(30%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業時間内で全般的なフィードバックを実施するとともに、内容に応じ適宜manabaを通じてフィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する

学科DP番号／DP内容：英米3-1
／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようする責任感を持っている。
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する

学科DP番号／DP内容：英語3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよびグループワークなどにより評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業での発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的、文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業での活動、課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業での活動、発表、課題

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	English for Careers Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	ホスピタリティ・マネジメント	演習	
担当者	後藤　真弓		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
ホスピタリティやサービス関連産業に関する知識を身につけ理解を深めることにより、幅広い視野を養い、今後のキャリア形成に役立てる。

[授業概要]
【伊丹空港でのJ－AIR、JALスカイ大阪両社の見学と、客室乗務員やグランドスタッフの職務体験が含まれます】
この授業では、エアラインや飲食業などにおけるホスピタリティの実践例を通じて、サービスとの違いや、形だけではないホスピタリティを実践するうえで大切となる「心」について学ぶことを目的とする。
また、受講生間のディスカッションや発表を通じて社会におけるホスピタリティの役割、重要性を理解し、これからの時代のホスピタリティのあり方を考える。
現在も日本航空の客室乗務職として乗務し、人財育成経験も有する講師が、現場での経験・最新の情報を織り交ぜながら講義を行う。
また、4月下旬から5月のいずれかの土曜日に、伊丹空港において空港見学、客室乗務員の業務とグランドスタッフの業務を体験するフィールドワークを実施する。

なお、受講受け入れ数は30名として、31名を超える場合は抽選とする
※初回授業で抽選を行うため、受講希望者は必ず初回授業に出席すること

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
毎回復習を行い、学んだ内容を日常生活で実際に活かすこと。課題は必ず提出(または授業内で発表)すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. ホスピタリティとは(ホスピタリティ、サービス、おもてなしの概念)
3. エアラインのホスピタリティ(航空業界の基礎知識、サービスの構成要素)
4. 5. 伊丹空港でのフィールドワーク(4月下旬～5月のいずれかの土曜日に実施予定)
6. フィールドワークの振り返り・グランドスタッフ、客室乗務員の業務
7. 飲食業におけるホスピタリティ①(グループワーク)
8. 飲食業におけるホスピタリティ②(グループ発表・講義)
9. ホスピタリティとコミュニケーション①
10. ホスピタリティとコミュニケーション②
11. ホスピタリティ　リーダーシップと安全
12. キャリアについて(ホスピタリティ)
13. まとめ、これまでの振り返り

科目名	English for Careers Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	ホスピタリティ・マネジメント	演習	
担当者	後藤　真弓		

[成績評価方法]
試験（40%）、グループワークならびに発表（30%）毎週の振り返りシート、授業中の取り組み(30%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業時間内で全般的なフィードバックを実施するとともに、内容に応じ適宜manabaを通じてフィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する

学科DP番号／DP内容：英米3-1
／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようする責任感を持っている。
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する

学科DP番号／DP内容：英語3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよびグループワークなどにより評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業での発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的、文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業での活動、課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業での活動、発表、課題

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	English for Careers Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	ビジネス英語	演習	
担当者	山口　知子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
実践的英語力、目指すキャリアで求められるコミュニケーション能力を身に付けます。
より具体的には、本授業ではビジネス・シーンで必要とされる英語力の基礎を習得します。

[授業概要]
ビジネスの場で必要な英語コミュニケーション能力を総合的に学習します。グローバル化の進む現代、卒業後の進路がどのようなものであれ、ビジネス英語の基礎を学んでおくことは、学生諸姉にとって将来必ず役に立つことと思います。
使用テキストは、以下「授業計画」に示すように、ユニットごとにさまざまなビジネス・シーンを想定しています。基本的に2回の授業で1ユニットずつ進むので、各自十分な準備をして授業に臨むこと。また覚えるべき重要表現を示すので、遅延なく覚えていくこと。授業中はペアワーク・グループワークを多用するので、積極的に参加することが肝要です。
e-learning については、今期で進捗率100%達成を目指しますが(後期のみ履修の場合は50%)、それ以外にも随時到達目標を設定するので、遅延なく進めていきましょう。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
1.　次回授業の準備を十全にして授業に臨んでください。
2.　指定された、覚えるべき表現を確実に覚えていってください。
3.　TOEICの高スコアを目指し、e-learningによる学習に一定時間を費やしてください。
各回、予習復習合わせて3時間程度

[授業計画]
1. 授業の概要説明、Unit 8:　Presentations 2 (プレゼンテーションで新製品を紹介する)
2. Unit 9:　Presentations 3 (プレゼンテーションの締めくくりと質疑応答)
3. Unit 9:　Presentations 3 (プレゼンテーションの締めくくりと質疑応答)
4. Unit 10: Online Meetings (ビデオ会議で役立つ表現)
5. Unit 10: Online Meetings (ビデオ会議で役立つ表現)
6. Unit 11: Negotiations (価格交渉および支払い条件の交渉と確認)
7. Unit 11: Negotiations (価格交渉および支払い条件の交渉と確認)
8. Unit 12: Placing an Order (商品の発注および発注内容の変更)
9. Unit 12: Placing an Order (商品の発注および発注内容の変更)
10. Unit 13: Making Complaint (トラブルの際のクレームのあげ方およびその対応)
11. Unit 13: Making Complaint (トラブルの際のクレームのあげ方およびその対応)
12. Unit 14:Completing a Project (プロジェクト完了時の確認および関係者への挨拶・謝意)
13. プレゼンテーションとまとめ

科目名	English for Careers Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	ビジネス英語	演習	
担当者	山口　知子		

[成績評価方法]
理解度確認試験（70%）、プレゼンテーション(20%)、E-learning 進捗度(10%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは原則として授業内に行いますが、課題の種類によってはKISSシステムを通じて行うこともあります。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび理解度確認試験によって評価します。

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび理解度確認試験によって評価します。

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび理解度確認試験によって評価します。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価します。

[教科書(ISBN)]
書籍名:Successful Office English 著者名:Tae Kudo 出版社名:センゲージ・ラーニング ISBN:978-4-86312-343-4

[参考書(ISBN)]

科目名	English for Careers Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	エアラインの英語/ツーリズムの英語	演習	
担当者	坂元　敦子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
実践的英語力、目指すキャリアで求められるコミュニケーション能力

[授業概要]
この授業ではエアラインやホテル、旅行代理店など旅に関連する職場で実際に使われている英語表現を学び、それを通して英語によるコミュニケーションの力をつけることを目標とする。扱う職種は客室乗務員や旅行代理店職員、ツアーガイド、ホテルスタッフ、通訳ガイドなど多岐にわたる。また旅行者として旅行を安全に楽しむための英語表現、あるいはビジネスの場で使う実践的な英語表現も身につけることも同時に目指している授業である。旅行に関する英語はTOEICでもしばしば出題されるので、TOEIC対策としても有効である。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
課題をきちんと提出(または授業内で発表)すること。また、次回の授業範囲について、テキストやプリント等の予習をすること。各回、予習復習合わせて1時間程度

[授業計画]
1. イントロダクション
2. 旅行に関連する仕事
3. May I help you? (旅行代理店)
4. One of my group members is sick. (ツアーコンダクター)
5. Are you checking in any luggage? (エアライン・グランドスタッフ)
6. Have a nice flight! (エアライン・グランドスタッフ)
7. We'll be taking off shortly. (エアライン・客室乗務員)
8. 確認テスト
9. 離陸前アナウンスとデモンストレーション(エアライン・客室乗務員)
10. We have a single room available.(ホテル・予約)
11. This is your key card.(ホテル・フロントデスク)
12. I recommend the tour to Nikko. (ホテル・コンシェルジュ)
13. まとめと確認テスト

科目名	English for Careers Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	エアラインの英語/ツーリズムの英語	演習	
担当者	坂元　敦子		

[成績評価方法]
試験(40%)、授業中の取り組み(60%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内でおこない、マナバも使用します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。

[教科書(ISBN)]
書籍名:授業中に指示します 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	Intermediate Writing Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Students will be able to write clear and well-organized short essays in English on a variety of social issues by the end of the course.

[授業概要]
This course will provide students with the fundamental skills necessary for effective academic writing. it teaches the writing modes, rhetorical devices and language points required for academic success. The course guides the students through the writing process of gathering ideas, organizing an outline, drafting, revising and editing, with attention to grammatical accuracy, proper spelling and punctuation, and critical thinking skills.
Students will learn to write well-developed paragraphs while learning useful phrases and expressions used by native speakers of English. Students should use only English in class. Those who fail to comply will be penalized and receive a lower grade for the course. Students should contact the instructor if they have any questions or concerns.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
What to prepare before class- Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1. Introduction and syllabus preview, Unit 1 Paragraph to short essay- The paragraph
2. Unit 1 Unity and coherence
3. Unit 1 From paragraph to short essay (A part time job, or hobby)
4. Unit 1 Editing your writing
5. Unit 2 Descriptive Essays-Stimulating ideas
6. Unit 2 Brainstorming and outlining
7. Unit 2 Developing your ideas (A food you strongly like)
8. Unit 2 Editing your writing
9. Unit 3 Narrative Essays- Stimulating ideas
10. Unit 3 Brainstorming and outlining
11. Unit 3 Developing your ideas (An experience that changed you or taught you something impor tant)
12. Unit 3 Editing your writing
13. Final Assessment

科目名	Intermediate Writing Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[成績評価方法]
Participation 10%, Assignments (3) 60%, Final exam 30%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will be given feedback on typed essays they write and will be asked to resubmit revised versions based on that feedback. Students will also be asked to do writing assignments in class where they will be required to send them in and get checked as well.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Effective Academic Writing: 2/E Level 2 SB w/Online Practice 著者名:Alice Savage 出版社名:Oxford University Press (オックスフォード大学出版局) ISBN:9780194323475

[参考書(ISBN)]

科目名	Intermediate Writing Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Students will be able to write clear and well-organized short essays in English on a variety of social issues by the end of the course.

[授業概要]
This course will provide students with the fundamental skills necessary for effective academic writing. it teaches the writing modes, rhetorical devices and language points required for academic success. The course guides the students through the writing process of gathering ideas, organizing an outline, drafting, revising and editing, with attention to grammatical accuracy, proper spelling and punctuation, and critical thinking skills.
Students will learn to write well-developed paragraphs while learning useful phrases and expressions used by native speakers of English. Students should use only English in class. Those who fail to comply will be penalized and receive a lower grade for the course. Students should contact the instructor if they have any questions or concerns.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
What to prepare before class- Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1. Introduction and syllabus preview, Unit 1 Paragraph to short essay- The paragraph
2. Unit 1 Unity and coherence
3. Unit 1 From paragraph to short essay (A part time job, or hobby)
4. Unit 1 Editing your writing
5. Unit 2 Descriptive Essays-Stimulating ideas
6. Unit 2 Brainstorming and outlining
7. Unit 2 Developing your ideas (A food you strongly like)
8. Unit 2 Editing your writing
9. Unit 3 Narrative Essays- Stimulating ideas
10. Unit 3 Brainstorming and outlining
11. Unit 3 Developing your ideas (An experience that changed you or taught you something impor tant)
12. Unit 3 Editing your writing
13. Final Assessment

科目名	Intermediate Writing Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[成績評価方法]
Participation 10%, Assignments (3) 60%, Final exam 30%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will be given feedback on typed essays they write and will be asked to resubmit revised versions based on that feedback. Students will also be asked to do writing assignments in class where they will be required to send them in and get checked as well.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Effective Academic Writing: 2/E Level 2 SB w/Online Practice 著者名:Alice Savage 出版社名:Oxford University Press (オックスフォード大学出版局) ISBN:9780194323475

[参考書(ISBN)]

科目名	Intermediate Writing Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Students will be able to write extensively in English on a variety of social issues by the end of the course. Students will be better prepared for academic essay and dissertation writing.

[授業概要]
This course will provide students with the fundamental skills necessary for effective academic writing. it teaches the writing modes, rhetorical devices and language points required for academic success. The course guides the students through the writing process of gathering ideas, organizing an outline, drafting, revising and editing, with attention to grammatical accuracy, proper spelling and punctuation, and critical thinking skills.
Students will learn to write well-developed paragraphs while learning useful phrases and expressions used by native speakers of English. Students should use only English in class. Those who fail to comply will be penalized and receive a lower grade for the course. Students should contact the instructor if they have any questions or concerns.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Students must complete assigned homework tasks.
They should also prepare for tasks they have to do in class.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1. Unit 4 Comparison- Contrast Essays- Stimulating Ideas
2. Unit 4 Brainstorming and outlining
3. Unit 4 Developing your ideas (An aspect of two places)
4. Unit 4 Editing your writing
5. Unit 5 Opinion Essays- Stimulating Ideas
6. Unit 5 Brainstorming and outlining
7. Unit 5 Developing your ideas (How a technology benefits or harms society)
8. Unit 5 Editing your writing
9. Unit 6 Cause-and-Effect Essays- Stimulating Ideas
10. Unit 6 Brainstorming and Outlining
11. Unit 6 Developing your ideas (How and why you or a person you know changed and grew ove r time)
12. Unit 6 Editing your writing
13. Final Assessment

科目名	Intermediate Writing Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[成績評価方法]
Participation 10%, Assignments (3) 60%, Final exam 30%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will be given feedback on typed essays they write and will be asked to resubmit revised versions based on that feedback. Students will also be asked to do writing assignments in class where they will be required to send them in and get checked as well.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Effective Academic Writing: 2/E Level 2 SB w/Online Practice 著者名:Alice Savage 出版社名:Oxford University Press (オックスフォード大学出版局) ISBN:9780194323475

[参考書(ISBN)]

科目名	Intermediate Writing Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Students will be able to write extensively in English on a variety of social issues by the end of the course. Students will be better prepared for academic essay and dissertation writing.

[授業概要]
This course will provide students with the fundamental skills necessary for effective academic writing. it teaches the writing modes, rhetorical devices and language points required for academic success. The course guides the students through the writing process of gathering ideas, organizing an outline, drafting, revising and editing, with attention to grammatical accuracy, proper spelling and punctuation, and critical thinking skills.
Students will learn to write well-developed paragraphs while learning useful phrases and expressions used by native speakers of English. Students should use only English in class. Those who fail to comply will be penalized and receive a lower grade for the course. Students should contact the instructor if they have any questions or concerns.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Students must complete assigned homework tasks.
They should also prepare for tasks they have to do in class.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1. Unit 4 Comparison- Contrast Essays- Stimulating Ideas
2. Unit 4 Brainstorming and outlining
3. Unit 4 Developing your ideas (An aspect of two places)
4. Unit 4 Editing your writing
5. Unit 5 Opinion Essays- Stimulating Ideas
6. Unit 5 Brainstorming and outlining
7. Unit 5 Developing your ideas (How a technology benefits or harms society)
8. Unit 5 Editing your writing
9. Unit 6 Cause-and-Effect Essays- Stimulating Ideas
10. Unit 6 Brainstorming and Outlining
11. Unit 6 Developing your ideas (How and why you or a person you know changed and grew over time)
12. Unit 6 Editing your writing
13. Final Assessment

科目名	Intermediate Writing Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[成績評価方法]
Participation 10%, Assignments (3) 60%, Final exam 30%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will be given feedback on typed essays they write and will be asked to resubmit revised versions based on that feedback. Students will also be asked to do writing assignments in class where they will be required to send them in and get checked as well.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Effective Academic Writing: 2/E Level 2 SB w/Online Practice 著者名:Alice Savage 出版社名:Oxford University Press (オックスフォード大学出版局) ISBN:9780194323475

[参考書(ISBN)]

科目名	エアライン英語Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	エアラインやホテルほか、広くホスピタリティに関連する仕事にかかわる就職準備 面接対策等	メディア（演習）	
担当者	坂元　敦子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
ホスピタリティ関連企業を中心にして就職、就職後に役立つスキルを身につける。

[授業概要]
【メディア授業】
外資系航空会社に在職経験のある教員により、エアラインやホテル、またそれ以外でも、ホスピタリティに関連する仕事を目指す人のために必要な指導をおこなう。入社のために必要な英語力や書類の作成準備、面接指導などをおこない、その後、仕事の現場で実際に使われる表現を学んで、スムースなコミュニケーションができるようになることを目指す。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
課題は締切を守り提出すること。メールでのやりとりも多いため、メール添付で提出・受け取り可能であること。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
第一回: イントロダクション
第二回: 自己紹介、自己分析
第三回: 書類作成、自己分析
第四回: 書類作成
第五回: 面接
第六回: 面接
第七回: 英語面接
第八回: グループ面接、
第九回: グループ面接、
第十回: グループワーク、ホスピタリティの現場で使う表現
第十一回: ホスピタリティの現場で使う表現
第十二回: 幅広い業種で必要な表現
第十三回: まとめ

科目名	エアライン英語Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	エアラインやホテルほか、広くホスピタリティに関連する仕事にかかわる就職準備 面接対策等	メディア（演習）	
担当者	坂元　敦子		

[成績評価方法]
課題(40%),、授業内での活動(40%)、発表(20%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で実施し、マナバも使用します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:授業中に指示します 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	エアライン英語Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	エアラインやホテルほか、広くホスピタリティに関連する仕事にかかわる就職準備 面接対策等	メディア（演習）	
担当者	坂元　敦子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
ホスピタリティ関連企業を中心にして就職、就職後に役立つスキルを身につける。

[授業概要]
【メディア授業】
外資系航空会社に在職経験のある教員により、エアラインやホテル、またそれ以外でも、ホスピタリティに関連する仕事を目指す人のために必要な指導をおこなう。入社のために必要な英語力や書類の作成準備、面接指導などをおこない、その後、仕事の現場で実際に使われる表現を学んで、スムースなコミュニケーションができるようになることを目指す。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
課題は締切を守り提出すること。メールでのやりとりも多いため、メール添付で提出・受け取り可能であること。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
第一回: イントロダクション
第二回: 自己紹介、自己分析
第三回: 書類作成、自己分析
第四回: 書類作成
第五回: 面接
第六回: 面接
第七回: 英語面接
第八回: グループ面接、
第九回: グループ面接、
第十回: グループワーク、ホスピタリティの現場で使う表現
第十一回: ホスピタリティの現場で使う表現
第十二回: 幅広い業種で必要な表現
第十三回: まとめ

科目名	エアライン英語Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	エアラインやホテルほか、広くホスピタリティに関連する仕事にかかわる就職準備 面接対策等	メディア（演習）	
担当者	坂元　敦子		

[成績評価方法]
課題(40%),、授業内での活動(40%)、発表(20%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で実施し、マナバも使用します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:授業中に指示します 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	英語学研究	後期	2 単位
サブタイトル	英語動詞意味論	講義	
担当者	大井　良友		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1. 英語の動詞が表す事象の時間的性質を正確に理解することができる。
2. 英語の動詞が表しうる概念的意味の構造を正確に理解することができる。
3. 英語の構文交替を多角的な視点から詳細に分析することができる。

[授業概要]
本授業の主たる目的は、英語学の知見を活かして現代英語の構造をより精緻に理解することである。今年度は英語の動詞が表す意味に着目し、語彙アスペクトと語彙概念構造の観点から動詞の意味を詳細に表示できるようになることを目指す。必要に応じて日本語の動詞とも対照させることで英語の動詞の理解をより深められるようにする。主として語彙意味論の枠組に立脚する形で議論を展開するが、統語論や構文論のアプローチも紹介し、各理論的枠組の妥当性を批判的に検討する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
【予習】配布資料内の単語・熟語の意味や語法に関する情報を辞書で調べておく。
【復習】配布資料と解説を記録したメモを見直し、その内容をノートに整理しておく。
※ 各回、予習・復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 語彙アスペクト (1): Vendler の4分類
3. 語彙アスペクト (2): 判別テストとその検討
4. 語彙アスペクト (3): 文法アスペクトとの関係
5. 語彙アスペクト (4): アスペクト線モデル
6. 事象構造・語彙概念構造
7. 2種類の自動詞
8. 非対格仮説の検討(統語的アプローチと機能的アプローチ)
9. 移動動詞と共起表現
10. 結果構文
11. 構文交替 (1): 動詞中心のアプローチ
12. 構文交替 (2): 構文中心のアプローチ
13. まとめ

科目名	英語学研究	後期	2 単位
サブタイトル	英語動詞意味論	講義	
担当者	大井　良友		

[成績評価方法]
授業内課題(50%)、理解度確認試験(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題等のフィードバックは manaba や授業内での解説を通して行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:授業内課題、理解度確認試験

学科DP番号／DP内容:英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法:授業内課題、理解度確認試験

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:授業内課題、理解度確認試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内課題、理解度確認試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業内課題、理解度確認試験

[教科書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

[参考書(ISBN)]
書籍名:動詞意味論―言語と認知の接点― 著者名:影山太郎 出版社名:くろしお出版 ISBN:4-87424-130-1
書籍名:日英対照　動詞の意味と構文 著者名:影山太郎(編) 出版社名:大修館書店 ISBN:978-4-469-24459-5
書籍名:日英語の自動詞構文―生成文法分析の批判と機能的解析 著者名:高見健一、久野暲 出版社名:研究社 ISBN:978-4-327-40127-6
書籍名:語彙アスペクトと事象構造(上)―時間特性を診る14章― 著者名:出水孝典 出版社名:開拓社 ISBN:978-4-7589-1831-2

科目名	英語学研究	後期	2 単位
サブタイトル	英語動詞意味論	講義	
担当者	大井　良友		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1. 英語の動詞が表す事象の時間的性質を正確に理解することができる。
2. 英語の動詞が表しうる概念的意味の構造を正確に理解することができる。
3. 英語の構文交替を多角的な視点から詳細に分析することができる。

[授業概要]
本授業の主たる目的は、英語学の知見を活かして現代英語の構造をより精緻に理解することである。今年度は英語の動詞が表す意味に着目し、語彙アスペクトと語彙概念構造の観点から動詞の意味を詳細に表示できるようになることを目指す。必要に応じて日本語の動詞とも対照させることで英語の動詞の理解をより深められるようにする。主として語彙意味論の枠組に立脚する形で議論を展開するが、統語論や構文論のアプローチも紹介し、各理論的枠組の妥当性を批判的に検討する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
【予習】配布資料内の単語・熟語の意味や語法に関する情報を辞書で調べておく。
【復習】配布資料と解説を記録したメモを見直し、その内容をノートに整理しておく。
※ 各回、予習・復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 語彙アスペクト (1): Vendler の4分類
3. 語彙アスペクト (2): 判別テストとその検討
4. 語彙アスペクト (3): 文法アスペクトとの関係
5. 語彙アスペクト (4): アスペクト線モデル
6. 事象構造・語彙概念構造
7. 2種類の自動詞
8. 非対格仮説の検討(統語的アプローチと機能的アプローチ)
9. 移動動詞と共起表現
10. 結果構文
11. 構文交替 (1): 動詞中心のアプローチ
12. 構文交替 (2): 構文中心のアプローチ
13. まとめ

科目名	英語学研究	後期	2 単位
サブタイトル	英語動詞意味論	講義	
担当者	大井　良友		

[成績評価方法]
授業内課題(50%)、理解度確認試験(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題等のフィードバックは manaba や授業内での解説を通して行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:授業内課題、理解度確認試験

学科DP番号／DP内容:英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法:授業内課題、理解度確認試験

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:授業内課題、理解度確認試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内課題、理解度確認試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業内課題、理解度確認試験

[教科書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

[参考書(ISBN)]
書籍名:動詞意味論―言語と認知の接点― 著者名:影山太郎 出版社名:くろしお出版 ISBN:4-87424-130-1
書籍名:日英対照　動詞の意味と構文 著者名:影山太郎(編) 出版社名:大修館書店 ISBN:978-4-469-24459-5
書籍名:日英語の自動詞構文―生成文法分析の批判と機能的解析 著者名:高見健一、久野暲 出版社名:研究社 ISBN:978-4-327-40127-6
書籍名:語彙アスペクトと事象構造(上)―時間特性を診る14章― 著者名:出水孝典 出版社名:開拓社 ISBN:978-4-7589-1831-2

科目名	英語学特殊講義 I	前期	2 単位
サブタイトル	生成文法理論	メディア（講義）	
担当者	本田　隆裕		

［アクティブラーニング授業］

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	◯	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

［ 到達目標 ］
生成文法の考え方を理解し、人間が母語を獲得できる理由や、英語や日本語において文がどのように形成されるのか分析できる能力の基礎を養う。ヒトのこころや知性の起源、人間の本性について分析できる広い視野を養う。

［ 授業概要 ］
【メディア授業】
私たちはどのようにして母語を使えるようになったのでしょうか？この問いに対する答えを見つけることはそう簡単ではありませんが、今から半世紀ほど前に一人の天才が、生成文法という、この問いを解くための手がかりを考え出しました。この授業では生成文法の基礎ならびに理論の変遷を学ぶことで、母語獲得のメカニズムや、高校までの英文法の授業ではきちんと説明されてこなかった、英語という言語の様々な仕組みを理解することを目指します。身近な例を挙げながら、わかりやすく解説していきます。
できるだけ後期に開講される「英語学研究 II 」と合わせて受講してください。

［ 準備学修（予習・復習）の内容・時間 ］
各回の授業についての予習・復習4時間程度。
毎回の授業後にmanabaに公開する講義資料等で既習事項を復習しながら、次の授業に臨むこと。

［ 授業計画 ］
【全て遠隔授業】
1. 人間の母語獲得の不思議
2. 英語と日本語の違い、言語生得説
3. 「文」とは
4. 句構造規則（1）
5. 句構造規則（2）
6. Xバー理論
7. 句構造規則からの脱却
8. PF表示とLF表示
9. 音を持たない表現と意味を持たない表現
10. 音声と意味解釈の「ずれ」
11. GB理論
12. 試験についての説明
15. これまでのまとめ、質疑応答、試験

科目名	英語学特殊講義 I	前期	2 単位
サブタイトル	生成文法理論	メディア（講義）	
担当者	本田　隆裕		

[成績評価方法]
授業への参加（クイズ、コメントの提出など）（60%）・試験（40%）
・試験についてはオンラインで実施し、採点結果を受け取ることができるようにします。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内課題：クイズまたはコメントの提出
最終試験：オンラインで開示する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：クイズまたはコメント、試験

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：クイズまたはコメント、試験

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：クイズまたはコメント、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：クイズまたはコメント、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：クイズまたはコメント、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：クイズまたはコメント、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：クイズまたはコメント、試験

[教科書（ISBN）]
書籍名:生成文法の考え方 著者名:北川善久／著　上山あゆみ／著 出版社名:研究社 ISBN:9784327257026

[参考書（ISBN）]

科目名	英語学特殊講義Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	生成文法理論	メディア（講義）	
担当者	本田　隆裕		

［アクティブラーニング授業］

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	◯	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

［ 到達目標 ］
生成文法の考え方を理解し、人間が母語を獲得できる理由や、英語や日本語において文がどのように形成されるのか分析できる能力の基礎を養う。ヒトのこころや知性の起源、人間の本性について分析できる広い視野を養う。

［ 授業概要 ］
【メディア授業】
「言語とは何か」と問われた時、皆さんは何と答えますか？一つの答えは、言語とは、意味と音声という異質の二物を構造を介して結びつけるシステムのことであるというものです。この意味と音声を関係づける構造をヒトがどのようにして生成しているのかを詳しく調べることで、英語と日本語はどちらも人間の言語なのになぜこんなに違うのかということが理解でき、さらに探求を進めることで実際には両者の間にそれほど違いはないということが明らかになってきます。身近な例を挙げながら、生成文法の考え方をわかりやすく解説していき、様々な文が生成される仕組みを考えることができるようにします。
できるだけ前期開講の「英語学研究Ⅰ」と合わせて受講してほしいですが、「英語学研究Ⅰ」未履修でも理解できるように進めます。

［ 準備学修（予習・復習）の内容・時間 ］
各回の授業についての予習・復習4時間程度。
毎回の授業後にmanabaに公開する講義資料等で既習事項を復習しながら、次の授業に臨むこと。

［ 授業計画 ］
【全て遠隔授業】
1. 句構造規則
2. D構造、S構造、PF、LF
3. 併合
4. ミニマリスト・プログラムの目指すもの
5. 文法上の主語と意味上の主語（1）
6. 文法上の主語と意味上の主語（2）
7. θ役割、格フィルター
8. 移動の仕組み
9. 解釈不可能な素性
10. 文法性
11. 生成文法の研究手法
12. 試験についての説明
13. これまでのまとめ、質疑応答、試験

科目名	英語学特殊講義Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	生成文法理論	メディア（講義）	
担当者	本田　隆裕		

[成績評価方法]
授業への参加（クイズ、コメントの提出など）（60%）・試験（40%）
・試験についてはオンラインで実施し、採点結果を受け取ることができるようにします。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内課題：クイズまたはコメントの提出
最終試験：オンラインで開示する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：クイズまたはコメント、試験

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：クイズまたはコメント、試験

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：クイズまたはコメント、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：クイズまたはコメント、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：クイズまたはコメント、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：クイズまたはコメント、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：クイズまたはコメント、試験

[教科書（ISBN）]
書籍名:生成文法の考え方 著者名:北川善久／著　上山あゆみ／著 出版社名:研究社 ISBN:9784327257026

[参考書（ISBN）]

科目名	英語学入門Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	中村　英江		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1. 現代英語に至るまでの変遷を、歴史的背景に関連させて説明できる。
2. 英語のバリエーションについて具体例を挙げて説明できる。
3. 英語の音声や音韻について、具体的な単語や文例を挙げて説明できる。
4. 英語の単語がどのような構造で形成されているかを説明できる。

[授業概要]
私たちが言語を学ぶ際には、その運用能力を養うことに加え、その言語の歴史や、音声的特徴・語構造・文構造など、その言語の背景的知識を学ぶことも重要である。この授業では、まず、英語の歴史的変化や方言などのバリエーションを概観する。その後、現代英語の音声的・音韻的な特徴や、単語の構造といった英語という言語に見られるしくみを、他言語との比較を通して客観的に観察する。

配布資料と教員からの解説をもとに理解するとともに、適宜他の受講生とディスカッションをすることで、学んだ内容を定着させる。毎回、小テストを通して内容の理解度を確認し、また、内容に関連する記述課題に取り組む。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
復習:授業中の練習問題を中心に復習する。
予習:参考書を用いて、各回で扱うトピックの該当箇所を読み、自分なりの不明点や疑問点を明らかにしておくことが望ましい。
※各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1. オリエンテーションおよび言語の起源について
2. 言語研究の諸分野とその研究方法
3. 英語の歴史
4. 英語の発音とスペリング
5. 英語の語彙の多様性
6. 標準英語の成立
7. 英語の方言と多様性
8. 英語の発音のしくみ
9. 英語の音の組み合わせ(1)前後の音の影響で変化する発音
10. 英語の音の組み合わせ(2)音節、アクセント、リズム
11. 英語の単語のしくみ(1)形態素の種類
12. 英語の単語のしくみ(2)単語の組み立て
13. 講義内容の総括と学習到達度の確認

科目名	英語学入門Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	中村　英江		

[成績評価方法]
・授業内の取り組み（小テストやディスカッション等）：30%
・授業内や授業後に提出する課題：30%
・最終試験：40%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内課題：次の回の冒頭に解説やフィードバックをおこなう。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：授業内の取り組み、課題、最終試験

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：授業内の取り組み、課題、最終試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業内の取り組み、課題、最終試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業内の取り組み、課題、最終試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業内の取り組み、課題、最終試験

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]
書籍名:はじめての英語学〈改訂版〉 著者名:長谷川瑞穂 編著 大井恭子 著 木全睦子 著 森田 彰 著 高尾享幸 著 出版社名:研究社 ISBN:9784327401658
書籍名:新装版 英語の音声を科学する　CD付 著者名:川越いつえ 出版社名:大修館書店 ISBN:9784469245318
書籍名:日英対照　英語学の基礎 著者名:三原健一, 高見健一 出版社名:くろしお出版 ISBN:9784874246009 C1080
書籍名:英語の歴史: 過去から未来への物語 著者名:寺澤 盾 出版社名:中公新書 ISBN:9784121019714

科目名	英語学入門Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	中村　英江		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1. 現代英語に至るまでの変遷を、歴史的背景に関連させて説明できる。
2. 英語のバリエーションについて具体例を挙げて説明できる。
3. 英語の音声や音韻について、具体的な単語や文例を挙げて説明できる。
4. 英語の単語がどのような構造で形成されているかを説明できる。

[授業概要]
私たちが言語を学ぶ際には、その運用能力を養うことに加え、その言語の歴史や、音声的特徴・語構造・文構造など、その言語の背景的知識を学ぶことも重要である。この授業では、まず、英語の歴史的変化や方言などのバリエーションを概観する。その後、現代英語の音声的・音韻的な特徴や、単語の構造といった英語という言語に見られるしくみを、他言語との比較を通して客観的に観察する。

配布資料と教員からの解説をもとに理解するとともに、適宜他の受講生とディスカッションをすることで、学んだ内容を定着させる。毎回、小テストを通して内容の理解度を確認し、また、内容に関連する記述課題に取り組む。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
復習：授業中の練習問題を中心に復習する。
予習：参考書を用いて、各回で扱うトピックの該当箇所を読み、自分なりの不明点や疑問点を明らかにしておくことが望ましい。
※各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1. オリエンテーションおよび言語の起源について
2. 言語研究の諸分野とその研究方法
3. 英語の歴史
4. 英語の発音とスペリング
5. 英語の語彙の多様性
6. 標準英語の成立
7. 英語の方言と多様性
8. 英語の発音のしくみ
9. 英語の音の組み合わせ（1）前後の音の影響で変化する発音
10. 英語の音の組み合わせ（2）音節、アクセント、リズム
11. 英語の単語のしくみ（1）形態素の種類
12. 英語の単語のしくみ（2）単語の組み立て
13. 講義内容の総括と学習到達度の確認

科目名	英語学入門Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	中村　英江		

[成績評価方法]
・授業内の取り組み（小テストやディスカッション等）：30%
・授業内や授業後に提出する課題：30%
・最終試験：40%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内課題：次の回の冒頭に解説やフィードバックをおこなう。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：授業内の取り組み、課題、最終試験

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：授業内の取り組み、課題、最終試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業内の取り組み、課題、最終試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業内の取り組み、課題、最終試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業内の取り組み、課題、最終試験

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]
書籍名:はじめての英語学〈改訂版〉 著者名:長谷川瑞穂 編著 大井恭子 著 木全睦子 著 森田 彰 著 高尾享幸 著 出版社名:研究社 ISBN:9784327401658
書籍名:新装版 英語の音声を科学する　CD付 著者名:川越いつえ 出版社名:大修館書店 ISBN:9784469245318
書籍名:日英対照　英語学の基礎 著者名:三原健一, 高見健一 出版社名:くろしお出版 ISBN:9784874246009
書籍名:英語の歴史 過去から未来への物語 著者名:寺澤盾 出版社名:中公新書 ISBN:9784121019714

科目名	英語学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	中村　英江		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1. 英語の文構造を正しく分析できる。
2. 意味の拡張について、話者の認知や視点に関連させて分析できる。
3. 会話における意味解釈において、コンテクストがどのように関わっているかを分析できる。
4. 文章のなかで効果的に情報を提示する方法を理解し、それを実践する。
5. 言語と文化・社会にどのような関連があるかを説明できる。

[授業概要]
私たちが言語を学ぶ際には、その運用能力を養うことに加え、その言語の背景的知識について学ぶことも重要である。「英語学入門II」では、「英語学入門I」に引き続き、英語を他言語（主に日本語）と比較しながら客観的に観察する。この授業ではまず英語の文構造を分析する。その後、この授業の前半を使って意味解釈に関する理論を概観し、人間の認知と意味拡張の関わりや、会話においてコンテクストの情報が意味解釈に与える影響について考察する。授業の後半では、言語と文化の関わりや、社会言語学的観点からみた英語のバリエーションについて分析する。

配布資料と教員からの解説をもとに理解するとともに、適宜他の受講生とディスカッションをすることで、学んだ内容を定着させる。毎回、小テストを通して内容の理解度を確認し、また、内容に関連する記述課題に取り組む。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
復習：授業中の練習問題を中心に復習する。
予習：事前配布する講義資料や参考書等の資料を読み、自分なりの不明点や疑問点を明らかにしておく。
※各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1. オリエンテーションおよび次週への導入（文構造の分析）
2. 文構造の分析
3 メタファーとメトニミー
4. 法助動詞と主観性
5. 明意と暗意
6. 会話におけるルール
7. まとまりのある文章
8. 新情報と旧情報
9. 異文化間におけるコミュニケーション
10. ことばと文化
11. ことばと社会（1）：地域変種と社会変種
12. ことばと社会（2）：ピジンとクレオール
13. 講義内容の総括と学習到達度の確認

科目名	英語学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	中村　英江		

[成績評価方法]
・授業内の取り組み（小テストやディスカッション等）：30%
・授業内や授業後に提出する課題：30%
・最終試験：40%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内課題：次の回の冒頭に解説やフィードバックをおこなう。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：授業内の取り組み、課題、最終試験

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：授業内の取り組み、課題、最終試験

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：授業内の取り組み、課題、最終試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業内の取り組み、課題、最終試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業内の取り組み、課題、最終試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業内の取り組み、課題、最終試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業内の取り組み、課題、最終試験

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]
書籍名:はじめての英語学〈改訂版〉 著者名:長谷川瑞穂 編著 大井恭子 著 木全睦子 著 森田 彰 著 高尾享幸 著 出版社名:研究社 ISBN:9784327401658
書籍名:日英対照　英語学の基礎 著者名:三原健一, 高見健一 出版社名:大修館書店 ISBN:9784874246009
書籍名:英語の歴史 過去から未来への物語 著者名:寺澤盾 出版社名:中公新書 ISBN:9784121019714

科目名	英語学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	中村　英江		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1. 英語の文構造を正しく分析できる。
2. 意味の拡張について、話者の認知や視点に関連させて分析できる。
3. 会話における意味解釈において、コンテクストがどのように関わっているかを分析できる。
4. 文章のなかで効果的に情報を提示する方法を理解し、それを実践する。
5. 言語と文化・社会にどのような関連があるかを説明できる。

[授業概要]
私たちが言語を学ぶ際には、その運用能力を養うことに加え、その言語の背景的知識について学ぶことも重要である。「英語学入門Ⅱ」では、「英語学入門Ⅰ」に引き続き、英語を他言語（主に日本語）と比較しながら客観的に観察する。この授業ではまず英語の文構造を分析する。その後、この授業の前半を使って意味解釈に関する理論を概観し、人間の認知と意味拡張の関わりや、会話においてコンテクストの情報が意味解釈に与える影響について考察する。授業の後半では、言語と文化の関わりや、社会言語学的観点からみた英語のバリエーションについて分析する。

配布資料と教員からの解説をもとに理解するとともに、適宜他の受講生とディスカッションをすることで、学んだ内容を定着させる。毎回、小テストを通して内容の理解度を確認し、また、内容に関連する記述課題に取り組む。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
復習：授業中の練習問題を中心に復習する。
予習：事前配布する講義資料や参考書等の資料を読み、自分なりの不明点や疑問点を明らかにしておく。
※各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1. オリエンテーションおよび次週への導入（文構造の分析）
2. 文構造の分析
3 メタファーとメトニミー
4. 法助動詞と主観性
5. 明意と暗意
6. 会話におけるルール
7. まとまりのある文章
8. 新情報と旧情報
9. 異文化間におけるコミュニケーション
10. ことばと文化
11. ことばと社会（1）：地域変種と社会変種
12. ことばと社会（2）：ピジンとクレオール
13. 講義内容の総括と学習到達度の確認

科目名	英語学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	中村　英江		

[成績評価方法]
・授業内の取り組み（小テストやディスカッション等）：30%
・授業内や授業後に提出する課題：30%
・最終試験：40%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内課題：次の回の冒頭に解説やフィードバックをおこなう。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]
書籍名:はじめての英語学〈改訂版〉 著者名:長谷川瑞穂 編著 大井恭子 著 木全睦子 著 森田 彰 著 高尾享幸 著 出版社名:研究社 ISBN:9784327401658
書籍名:日英対照　英語学の基礎 著者名:三原健一, 高見健一 出版社名:くろしお出版 ISBN:9784874246009
書籍名:英語の歴史 過去から未来への物語 著者名:寺澤盾 出版社名:中公新書 ISBN:9784121019714

科目名	英語科指導法Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中　章愛		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	◯
ディスカッション・ディベート	◯	グループワーク	○
プレゼンテーション	◯	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
伝統的教授法の問題点を理解し、これからの英語教育に何が必要かを理解する。また、学習指導要領における外国語教育の目標と指導内容について学ぶ。これらの学習を通して、課題意識を持って授業を組み立てる態度を養う。

[授業概要]
これまで行われてきた日本の英語教育のどこが問題なのかということについて理解を深めていく。まず、今までの知識・経験だけで短時間の模擬授業を行い、自分が持っている英語教育観を見つめ直す。その後、4技能（「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」）のそれぞれの指導の注意点と中学校及び高等学校の学習指導要領における外国語教育の目標・指導内容を確認する。さらに、テキストに沿って伝統的教授法の問題点を講義とディスカッションを通して理解し、それに代わる指導法を学ぶ。これらの学習と授業担当教員による実演の体験後、もう一度模擬授業を計画・実施することにより、目指す授業像を確立する。2回目の模擬授業では、4技能のうち、グループごとに各技能に焦点を当てた言語活動を取り入れることで、授業実践及び授業観察により、これらの指導法について体験的に学習する。授業は、模擬授業と講義の両方を行うが、講義については内容が定着しているか小テストを実施する。

＊授業はPC必携。授業の連絡等は manaba から行うので、必ず受信登録をしておくこと。
＊教諭経験のある教員が、その経験を活かして、教授法を指導する。
＊受講者数を勘案して講義内容を変更することがある。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の授業についての予習・復習4時間程度。
テキストの指定された箇所を予習し、模擬授業前には学習指導案・教材を準備しておくこと。（詳細は授業中に説明します。）講義の際には、ノートをとる準備をしておくこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション、英語教員の役割
2. 英語教育観と第二言語習得研究
3. 4技能の指導の注意点
4. 学習指導要領（中学校・高等学校外国語科の目標と指導内容）
5. 伝統的教授法の問題点とコミュニカティブ言語教授法
6. タスク中心教授法の理論的背景とその課題
7. 「聞くこと」と「読むこと」に関する授業映像視聴、英語の音声指導・文字指導
8. 「話すこと」と「書くこと」に関する授業映像視聴、英語の語彙・表現・文法の指導
9. 小テスト、指導法のワークショップ
10. 授業の構成、指導手順、指導案の書き方
11. 模擬授業（全体を1/3に分けた第1グループ）
12. 模擬授業（全体を1/3に分けた第2グループ）
13. 模擬授業の反省、まとめ

科目名	英語科指導法Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中　章愛		

[成績評価方法]
模擬授業(20%)、小テスト(20%)、学習指導案(15%)、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)(20%)、レポート(25%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
指導案・模擬授業は授業内でフィードバックを行います。
manabaでの小テストやレポート課題は、manabaにてフィードバックを行います。
manabaを活用するため、必ず登録しておくこと。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:模擬授業、小テスト

学科DP番号／DP内容:英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法:レポート

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)、レポート

学科DP番号／DP内容:英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法:レポート

学科DP番号／DP内容:英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:新・グローバル時代の英語教育 著者名:岡　秀夫 出版社名:成美堂 ISBN:9784791972180
書籍名:Trend Scope / 読んで発信、社会のいま 著者名:Jonathan Lynch 出版社名:成美堂 ISBN:9784791972654

[参考書(ISBN)]
書籍名:「フォーカス・オン・フォーム」を取り入れた新しい英語教育 著者名:和泉伸一／著 出版社名:大修館書店 ISBN:9784469245479
書籍名:中学校学習指導要領解説　外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂出版 ISBN:9784304041617
書籍名:高等学校学習指導要領解説　外国語編・英語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂出版 ISBN:9784303041648

科目名	英語科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中　章愛		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	◯
ディスカッション・ディベート	◯	グループワーク	○
プレゼンテーション	◯	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
「フォーカス・オン・フォーム」による指導法を理解する。また、学習指導要領の3つの資質・能力（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）とともに、評価の在り方及び授業の指導計画について理解し、実際に授業を担当できる能力の基礎を築く。

[授業概要]
近年注目を集めている「フォーカス・オン・フォーム」という学習者の気付きを支援する指導法を学習することに加え、学習指導要領の3つの資質・能力を踏まえた指導について基本的な知識と技能を身に付ける。また、小学校における外国語活動・外国語科の学習内容を踏まえた、中学校・高等学校の授業づくりの方法や英語の授業における異文化理解の在り方、ALTとのティーム・ティーチングの方法についても学習する。さらに、学習到達目標に基づく授業づくりや観点別評価等の評価の在り方を確認し、考査問題の作成等の言語能力の測定と評価についても学ぶ。模擬授業では、主に、前半はICT等の活用や生徒の習熟度に応じた授業づくりを実践し、後半は5つの領域（「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」及び「書くこと」）の指導及び領域を統合した指導に焦点を当てた言語活動を取り入れることで、これらの指導法について体験的に学習する。授業は、模擬授業と講義の両方を行うが、講義については内容が定着しているか小テストを実施する。

＊授業はPC必携。授業の連絡等は manaba から行うので、必ず受信登録をしておくこと。
＊教諭経験のある教員が、その経験を活かして、教授法を指導する。
＊後期も引き続き、教科書「新・グローバル時代の英語教育』・『Trend Sope / 読んで発信、社会のいま』（成美堂）を使用する。
＊受講者数を勘案して講義内容を変更することがある。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の授業についての予習・復習4時間程度。
テキストの指定された箇所を予習し、模擬授業前には学習指導案・教材を準備しておくこと。（詳細は授業中に説明します。）
講義の際には、ノートをとる準備をしておくこと。

[授業計画]
1. 学習指導要領の3つの資質・能力を育むための授業、教科用図書に基づく指導
2. 小学校学習指導要領（外国語活動・外国語科）、小中高を通した英語教育の在り方
3. 言語習得の3要素とフォーカス・オン・フォーム、、フォーカス・オン・フォームに基づいた授業映像の視聴
4. 異文化理解、ALTとのティーム・ティーチングに関する授業映像視聴、英語でのインタラクション
5. 学習到達目標に基づく授業づくりと評価の在り方、考査問題の作成方法、教材・ICTの活用
6. 生徒の特性・習熟度に応じた授業づくり、模擬授業(1)の準備
7. 5つの領域の指導、領域統合型の授業映像視聴
8. 小テスト、模擬授業の準備
10. 模擬授業(1)（全体を1/3に分けた第1グループ）
11. 模擬授業(2)（全体を1/3に分けた第2グループ）
12. 模擬授業(3)（全体を1/3に分けた第3グループ）
13. 模擬授業の振り返り・まとめ

科目名	英語科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中　章愛		

[成績評価方法]
模擬授業（20%）、小テスト（20%）、学習指導案（15%）、授業での取り組み（授業中の課題や発言など）（20%）、レポート（25%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
指導案・模擬授業は授業内でフィードバックを行います。

manabaでの小テストやレポート課題は、manabaにてフィードバックを行います。

manabaを活用するため、必ず登録しておくこと。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：模擬授業、小テスト

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）、レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：小テスト、レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:新・グローバル時代の英語教育 著者名:岡　秀夫 出版社名:成美堂 ISBN:9784791972180
書籍名:Trend Scope / 読んで発信、社会のいま 著者名:Jonathan Lynch 出版社名:成美堂 ISBN:9784791972654

[参考書（ISBN）]
書籍名:「フォーカス・オン・フォーム」を取り入れた新しい英語教育 著者名:和泉伸一／著 出版社名:大修館書店 ISBN:9784469245479
書籍名:中学校学習指導要領解説　外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂出版 ISBN:9784304041617
書籍名:高等学校学習指導要領解説　外国語編・英語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂出版 ISBN:9784304041648

S31050 [LEH2-015]

科目名	英語科指導法Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中　章愛		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
英語指導法の一つであるIntake Readingを学ぶとともに、英語の教科用図書の活用方法を学習する。また、教材やICTの活用方法、英語による授業展開やALTとのティーム・ティーチングの方法についての理解を踏まえた5つの領域（「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」及び「書くこと」）の指導と領域統合型の言語活動の指導についての知識・技能を身に付ける。

[授業概要]
まず、学習指導要領に基づく5つの領域（「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」及び「書くこと」）の指導について英語科指導法Ⅰ・Ⅱで学んだ内容を再度確認し、複数の領域を統合した言語活動について理解を深める。次に、生徒の間違った英文産出を減らすことができる、齋藤（2011）で提案されたIntake Readingという指導法を学び、加えて、英語の教科用図書（教科書）の活用方法について学習する。また、英語の音声、文字、語彙・表現の指導についても授業映像の視聴等を通して実践方法を学ぶ。さらに、プレゼンテーションソフトウェアや音声編集ソフトウェア等のICTを活用した視聴覚教材の導入を体験し、英語でのインタラクション、ALTとのティーム・ティーチングの方法についてもさらなる知識と技能を身に付ける。模擬授業では、これまで学習した指導法を踏まえた5つの領域の指導及び複数の領域を統合した言語活動（音声、文字、語彙・表現の指導も含む）を実施することで、これらの指導法について体験的に学習する。授業は、模擬授業と講義の両方を行うが、講義については内容が定着しているか小テストを実施する。

＊授業はPC必携。授業の連絡等は manaba から行うので、必ず受信登録をしておくこと。
＊教諭経験のある教員が、その経験を活かして、教授法を指導する。
＊受講者数を勘案して講義内容を変更することがある。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の授業についての予習・復習4時間程度。
模擬授業前には学習指導案・教材を準備しておくこと。（詳細は授業中に説明します。）
講義の際には、ノートをとる準備をしておくこと。

[授業計画]
1. 学習指導要領と検定教科書、領域統合型の言語活動の指導
2. Intake Readingの事前指導と実践方法、教科書の活用、 Intake Readingを取り入れた授業とワークショップ、英語の語彙・表現に関する授業映像視聴
3. 教材研究とICTの活用、領域統合型の授業映像視聴、教室英語、英語でのインタラクション、ティーム・ティーチング等の効果的な活用
4. 小テスト、模擬授業(1)の準備
5. 模擬授業(1)（全体を1/3に分けた第1グループ）
6. 模擬授業(1)（全体を1/3に分けた第2グループ）
7. 模擬授業(1)（全体を1/3に分けた第3グループ）
8. 模擬授業(1)の反省とIntake Readingの応用
9. 小テスト、模擬授業(2)の準備
10. 模擬授業(2)（全体を1/3に分けた第1グループ）
11. 模擬授業(2)（全体を1/3に分けた第2グループ）
12. 模擬授業(2)（全体を1/3に分けた第3グループ）
13. 模擬授業(2)の反省、まとめ

科目名	英語科指導法Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中　章愛		

[成績評価方法]
模擬授業（20%）、小テスト（20%）、学習指導案（15%）、授業での取り組み（授業中の課題や発言など）（20%）、レポート（25%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
指導案・模擬授業は授業内でフィードバックを行います。

manabaでの小テストやレポート課題は、manabaにてフィードバックを行います。

manabaを活用するため、必ず登録しておくこと。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：模擬授業、小テスト

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）、レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：模擬授業、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：小テスト、レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:【第4版】英語科教育実習ハンドブック 著者名:加藤茂夫／著　杉山敏／著　荒木美恵子／著 出版社名:大修館書店 ISBN:9784469246445
書籍名:【改訂新版】グローバル社会の異文化コミュニケーション 著者名:池口セシリア／著　八代京子／著 出版社名:金星堂 ISBN:9784764739895

[参考書（ISBN）]
書籍名:中学校学習指導要領解説　外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂出版 ISBN:97843051692
書籍名:高等学校学習指導要領解説　外国語編・英語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂出版 ISBN:9784304051784

S31060 [LEH3-010]

科目名	英語科指導法Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中　章愛		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
第二言語習得研究に基づき、小・中・高等学校を通した英語教育の在り方を理解する。個に応じた指導や異文化理解に関する指導について、さらなる知識と技能を身に付ける。また、英語教育に関して自ら研究を進められる能力を養う。

[授業概要]
第二言語習得研究に基づいた小・中・高等学校を通した英語教育の在り方について学習する。また、異文化理解に関する内容を授業に取り入れる方法や生徒の特性や習熟度に基づく指導方法についても理解を深める。さらに、学校文法だけでなく科学文法についても学習し、文法指導について理解するとともに、英語教育について自ら研究できる能力の基礎を築く。模擬授業では、5つの領域(「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」及び「書くこと」)の指導及び複数の領域を統合した言語活動(音声、文字、語彙・表現、文法の指導や異文化理解に関する指導も含む)を取り入れ、さらに具体的な生徒像も想定した上で授業計画を立てることで、英語の指導法について総括する。授業は、模擬授業と講義の両方を行うが、講義については内容が定着しているか小テストを実施する。
中学校及び高等学校で教諭を務めた経験のある教員が、その経験を活かして、特に英語学習が苦手な生徒への教授法を指導する。

＊授業はPC必携。授業の連絡等は manaba から行うので、必ず受信登録をしておくこと。
＊後期も引き続き、教科書『英語科教育実習ハンドブック』(大修館書店)・『グローバル社会の異文化コミュニケーション』(金星堂)を使用する。
＊教諭経験のある教員が、その経験を活かして、教授法を指導する。
＊受講者数を勘案して講義内容を変更することがある。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業についての予習・復習4時間程度。
テキストの指定された箇所を予習し、模擬授業前には学習指導案・教材を準備しておくこと。(詳細は授業中に説明します。)講義の際には、ノートをとる準備をしておくこと。

[授業計画]
1. 第二言語習得と英語教育、SLA研究と小学校英語教育
2. 中学校英語教育・高校英語教育の今後、自律した学習者を育てる方法(大学生、社会人の英語教育)、異文化理解に関する授業映像の視聴
3. 生徒の特性や習熟度に基づく指導方法とワークショップ(担当教員による実演)
4. 学校文法と生成文法、文法の指導方法、外国語教育学の研究方法
5. 小テスト、模擬授業(1)の準備
6. 模擬授業(1)(全体を1/3に分けた第1グループ)
7. 模擬授業(1)(全体を1/3に分けた第2グループ)
8. 模擬授業(1)(全体を1/3に分けた第3グループ)
9. 模擬授業(1)の反省と模擬授業(2)の準備
10. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第1グループ)
11. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第2グループ)
12. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第3グループ)
13. 模擬授業(2)の反省、まとめ

科目名	英語科指導法Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中　章愛		

[成績評価方法]
模擬授業（20%）、小テスト（20%）、学習指導案（15%）、授業での取り組み（授業中の課題や発言など）（20%）、レポート（25%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
指導案・模擬授業は授業内でフィードバックを行います。

manabaでの小テストやレポート課題は、manabaにてフィードバックを行います。

manabaを活用するため、必ず登録しておくこと。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：模擬授業、小テスト

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）、レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：模擬授業、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：小テスト、レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:【第4版】英語科教育実習ハンドブック 著者名:加藤茂夫／著　杉山敏／著　荒木美恵子／著 出版社名:大修館書店 ISBN:9784469246445
書籍名:【改訂新版】グローバル社会の異文化コミュニケーション 著者名:池口セシリア／著　八代京子／著 出版社名:金星堂 ISBN:9784764739895

[参考書（ISBN）]
書籍名:中学校学習指導要領解説　外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂出版 ISBN:9784304051692
書籍名:高等学校学習指導要領解説　外国語編・英語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂出版 ISBN:9784304051784

S31070 [LEH3-011]

科目名	英語圏文学Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学を学ぶ	メディア（講義）	
担当者	坂元　敦子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
アメリカ小説・戯曲を読み、作品中に使用されるさまざまな英語表現を学ぶとともに英語の
読解力をつける。 英語で外国文学作品を味わう方法を学ぶ。
アメリカ文学作品と時代背景、またアメリカの社会・文化について理解する。
作品の朗読や台詞の発表を通して、コミュニケーションに役立つ英語を学ぶ。

[授業概要]
【メディア授業】
この授業では、代表的なアメリカ文学作品の一部(抜粋)を英語で読み、その中の英語表現につ
いて学ぶとともに、作品に見られる「アメリカらしさ」とは何かについて考える。作品の背景
となる時代やアメリカの社会・文化に焦点をあて、各自が調べたり発表したりすることによっ
て、異なる文化の理解を目指す。また声に出して台詞や文章を読むことによって、英語による
文学作品を味わい、自然な英語やコミュニケーションに役立つ英語を学ぶ。作品の多くは映画
化されているので、映像作品と原作の違いなどについても考えたい。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
課題とした文学作品を次の授業までに読み、発表する。辞書を使用してテキストを細かく読み、理解してから授業に臨むこと。
また、レポートは字数や形式を守り、作品に関するリサーチをじゅうぶん行うこと。各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
第1回: イントロダクション
第2回: 小説と戯曲、アメリカ文学史概観
第3回: アーヴィング『リップ・ヴァン・ウィンクル』を読む
第4回: アーヴィング『リップ・ヴァン・ウィンクル』の時代背景と社会
第5回: オルコット『若草物語』を読む
第6回: オルコット『若草物語』と南北戦争
第7回: フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』を読む
第8回: フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』と20年代
第9回: フォークナー『響きと怒り』を読む
第10回: フォークナー『響きと怒り』とアメリカ南部
第11回: ウィリアムズ『ガラスの動物園』を読む
第12回: ウィリアムズ『ガラスの動物園』とアメリカの家族
第13回: まとめ

科目名	英語圏文学Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学を学ぶ	メディア（講義）	
担当者	坂元　敦子		

[成績評価方法]
テスト(30%)、課題(40%)、授業参加(30%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内でおこない、マナバも使用します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:授業中に指示します。 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	英語圏文学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	大都市の文化をテーマとする英米の短篇小説を読む（一部フランスをふくむ）	講義	
担当者	野末　紀之		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・フィクションの特徴を理解する。
・時代や作者によって変わる英語の文体の違いを知る。
・文学作品を読み、そのなかから問題を探し、調べ、考え、表現する。

[授業概要]
1840年代、ロンドンやパリなど大都市が生まれると、それに応じた文学作品が出てくる。人びとは他人の視線を気にするようになり、自分をどう価値づけるかに時間と金をそそぐ。彼らは服装や身のこなし、言葉づかいに配慮し、理解できない外国人を危険視するようになる。さまざまな物が商品化され消費の対象となる。そうしたあり方を表現した短篇を読む。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
図書館やインターネットを使用して、講義関連内容の情報を収集し、興味のある文献を読んでおく。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1 イントロダクション
2 ゾラ「引き立て役」を読む
3 ゾラ「広告の犠牲者」を読む
4 ポー「モルグ街の殺人事件」を読む
5 ポー「群集の人」を読む（1）～骨相術と観相術
6 ポー「群集の人」を読む（2）～群集のなかの孤独
7 ポー「群集の人」を読む（3）～犯罪者と探偵
8 ギッシング「ルーとリズ」を読む～都市底辺の女たち
9 ギッシング『余った女たち』より～女ひとりが都市を歩く（1）
10 ギッシング『余った女たち』より～女ひとりが都市を歩く（2）
11 ワイルド「秘密のないスフィンクス」を読む（1）
12 ワイルド「秘密のないスフィンクス」を読む（2）
13 まとめと質疑応答

科目名	英語圏文学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	大都市の文化をテーマとする英米の短篇小説を読む（一部フランスをふくむ）	講義	
担当者	野末　紀之		

[成績評価方法]
授業への貢献度（10%）、発表（30%）、レポート60%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manabaやメール等でおこなう

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：授業への貢献度、発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：授業への貢献度、発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：授業への貢献度、発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：授業への貢献度、発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：授業への貢献度、発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：授業への貢献度、発表、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への貢献度、発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への貢献度、発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への貢献度、発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への貢献度、発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業への貢献度、発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業への貢献度、発表、レポート

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	英語史Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	英語史入門	講義	
担当者	大井　良友		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1. 英語の変化に影響を及ぼした政治・社会・文化的要因を正確に把握できる。
2. 現代英語の形式的特徴を歴史的変化に注目して観察・分析し、その理解を深めることができる。

[授業概要]
本授業の主たる目的は、英語の歴史の概観を通して現代英語の形式的特徴をより正確に理解することである。英語の音声・綴字・語彙などの形式的変化(内面史)に加えて、英語の変化に影響を及ぼした政治・社会・文化的要因(外面史)についても講義を行う。さらに、内面史を学ぶ上で必要不可欠である言語学の重要項目も扱う予定である。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
【予習】教科書の指定箇所を読み、内容をノートに整理しておく。
【復習】授業で配布した資料とメモを見直し、その内容をノートに整理しておく。
※ 各回、予習・復習合わせて4時間程度
※「英語学入門Ⅰ」「英語学入門Ⅱ」を履修済みであることが望ましい。

[授業計画]
1. オリエンテーション(英語史の全体像、時代区分)
2. 英語の成立とその時代背景、英語の表記法
3. 古英語期から中英語期の時代背景
4. 近代英語期から現代英語期の時代背景
5. 音声学・音韻論の基礎
6. 英語の音声 (1): 古英語から中英語
7. 英語の音声 (2): 大母音推移
8. 英語の発音と綴字の関係
9. 形態論の基礎、英語の語形 (1): 古英語の豊富な屈折(名詞)
10. 英語の語形 (2): 古英語の豊富な屈折(動詞)
11. 英語の語形 (3): 屈折の平板化・消失
12. 英語の語彙(諸外国語との接触)
13. まとめ

科目名	英語史Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	英語史入門	講義	
担当者	大井　良友		

[成績評価方法]
授業内課題(30%)、理解度確認試験(70%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題等のフィードバックは manaba や授業内での解説を通して行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:授業内課題、理解度確認試験

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:授業内課題、理解度確認試験

学科DP番号／DP内容:英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法:授業内課題、理解度確認試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題、理解度確認試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題、理解度確認試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内課題、理解度確認試験

[教科書(ISBN)]
書籍名:図説　英語史入門 著者名:中尾俊夫、寺島廸子 出版社名:大修館書店 ISBN:978-4-469-24196-9

[参考書(ISBN)]
書籍名:英語の歴史—過去から未来への物語— 著者名:寺澤盾 出版社名:中央公論新社 ISBN:978-4-12-101971-4
書籍名:英語の「なぜ？」に答える　はじめての英語史 著者名:堀田隆一 出版社名:研究社 ISBN:978-4-327-40168-9
書籍名:英語の歴史(テイクオフ英語学シリーズ1) 著者名:松浪有(編) 出版社名:大修館書店 ISBN:978-4-469-14135-1

科目名	英語史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	英語史詳説	講義	
担当者	大井　良友		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1. 各時代の英語の特徴を、実際のテクストを通して理解することができる。
2. 現代英語の形式・意味に見られる特異性を歴史的に分析することを通して、現代英語をより正確に理解することができる。
3. 英語の変種・方言の特徴を歴史的背景を踏まえて理解することができる。

[授業概要]
本授業の主たる目的は、英語が辿ってきた変遷の観察を通して各時代の形式・意味的特徴を把握し、現代英語の「特異性」をより正確に理解することである。講義では特に、統語論・意味論に関する側面を取り上げるが、前提となる言語学の重要項目の解説も行う。さらに、英語の変種に見られる特徴を社会言語学的視点も導入して概観する予定である。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
【予習】教科書の指定箇所を読み、内容をノートに整理しておく。
【復習】授業で配布した資料とメモを見直し、その内容をノートに整理しておく。
※ 各回、予習・復習合わせて4時間程度
※「英語史Ⅰ」「英語学入門Ⅰ」「英語学入門Ⅱ」を履修済みであることが望ましい。

[授業計画]
1. 英語史Ⅰの復習(外面史、音声・綴字・語形の内面史)
2. 古英語のテクスト
3. 中英語のテクスト
4. 初期近代英語期のテクスト
5. 統語論の基礎
6. 英語の統語論 (1): 名詞句、代名詞
7. 英語の統語論 (2): 基本文型、準動詞
8. 英語の統語論 (3): 助動詞 do の発達、否定文
9. 英語の統語論 (4): 完了形、進行形、仮定法
10. 英語の意味論 (1): 単語の意味変化
11. 英語の意味論 (2): 法助動詞の発達
12. 英語の変種
13. まとめ

科目名	英語史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	英語史詳説	講義	
担当者	大井　良友		

[成績評価方法]
授業内課題（30%）、理解度確認試験（70%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題等のフィードバックは manaba や授業内での解説を通して行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：授業内課題、理解度確認試験

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：授業内課題、理解度確認試験

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：授業内課題、理解度確認試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業内課題、理解度確認試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業内課題、理解度確認試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業内課題、理解度確認試験

[教科書（ISBN）]
書籍名:図説　英語史入門 著者名:中尾俊夫、寺島廸子 出版社名:大修館書店 ISBN:978-4-469-24196-9

[参考書（ISBN）]
書籍名:英語の歴史―過去から未来への物語― 著者名:寺澤盾 出版社名:中央公論新社 ISBN:978-4-12-101971-4
書籍名:英単語の世界―多義語と意味変化から見る― 著者名:寺澤盾 出版社名:中央公論新社 ISBN:978-4-12-102407-7
書籍名:歴史的にさぐる現代の英文法 著者名:中尾俊夫、児馬修（編） 出版社名:大修館書店 ISBN:978-4-469-21160-3

科目名	英語文法論A	後期	2 単位
サブタイトル	基礎英文法実習・講義	演習	
担当者	大井　良友		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1. 現代標準英語の基本文構造や文法・語法に関する理解を深めることができる。
2. 英文法・語法の知識を駆使して複雑な構造の英文を正確に解釈できるようになる。
3. 英文法・語法の知識を駆使して文脈に合った適切な英語表現を選択できるようになる。

[授業概要]
本授業の主たる目的は、高校までに学習してきた現代標準英語の基本的な文構造や英文法・語法の重要な項目を見直し、その理解を深めることである。和文英訳・英文解釈など様々な形式の演習を通して、特に日本人英語学習者が苦手意識を抱く英文法・語法に対する誤解を解き、適切な英語運用の達成を目指す。講義では日本語との比較対照も取り入れて英語との違いや共通点を明らかにし、英語だけでなく日本語への理解も深められるようにする。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
【予習】配布資料内の単語・熟語の意味や語法に関する情報を辞書で調べておく。
【復習】配布資料と解説を記録したメモを見直し、その内容をノートに整理しておく。
※ 各回、予習・復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1. オリエンテーション、基本文構造 (1): 自動詞と他動詞
2. 基本文構造 (2): 第4文型、第5文型
3. 基本動詞を含むコロケーション
4. 過去・現在・未来を表す表現
5. 進行形、完了形
6. 法助動詞
7. 条件文と仮定法
8. 能動態と受動態
9. 形容詞・副詞の語法、比較構文
10. 名詞・代名詞の語法
11. 限定詞の語法
12. 関係詞を含む文構造
13. まとめ

科目名	英語文法論A	後期	2 単位
サブタイトル	基礎英文法実習・講義	演習	
担当者	大井　良友		

[成績評価方法]
課題(30%)、理解度確認試験(70%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題等のフィードバックは manaba や授業内での解説を通して行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：課題、理解度確認試験

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：課題、理解度確認試験

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：課題、理解度確認試験

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：課題、理解度確認試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題、理解度確認試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：課題、理解度確認試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題、理解度確認試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題、理解度確認試験

[教科書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

[参考書(ISBN)]
書籍名:ジーニアス総合英語(第2版) 著者名:中邑光男、山岡憲史、柏野健次(編集主幹) 出版社名:大修館書店 ISBN:978-4-469-34315-1
書籍名:英文法解説(改訂3版) 著者名:江川泰一郎 出版社名:金子書房 ISBN:978-4-7608-2009-2
書籍名:伝わる英語表現法 著者名:長部三郎 出版社名:岩波書店 ISBN:4-00-430765-1

科目名	英語文法論B	前期	2 単位
サブタイトル	基礎英文法実習・講義	演習	
担当者	大井　良友		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1. 現代標準英語の基本文構造や文法・語法に関する理解を深めることができる。
2. 英文法・語法の知識を駆使して複雑な構造の英文を正確に解釈できるようになる。
3. 英文法・語法の知識を駆使して文脈に合った適切な英語表現を選択できるようになる。

[授業概要]
本授業の主たる目的は、高校までに学習してきた現代標準英語の基本的な文構造や英文法・語法の重要な項目を見直し、その理解を深めることである。和文英訳・英文解釈など様々な形式の演習を通して、特に日本人英語学習者が苦手意識を抱く英文法・語法に対する誤解を解き、適切な英語運用の達成を目指す。講義では日本語との比較対照も取り入れて英語との違いや共通点を明らかにし、英語だけでなく日本語への理解も深められるようにする。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
【予習】配布資料内の単語・熟語の意味や語法に関する情報を辞書で調べておく。
【復習】配布資料と解説を記録したメモを見直し、その内容をノートに整理しておく。
※ 各回、予習・復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1. オリエンテーション、基本文構造 (1): 自動詞と他動詞
2. 基本文構造 (2): 第4文型、第5文型
3. 基本動詞を含むコロケーション
4. 過去・現在・未来を表す表現
5. 進行形、完了形
6. 法助動詞
7. 条件文と仮定法
8. 能動態と受動態
9. 形容詞・副詞の語法、比較構文
10. 名詞・代名詞の語法
11. 限定詞の語法
12. 関係詞を含む文構造
13. まとめ

科目名	英語文法論B	前期	2 単位
サブタイトル	基礎英文法実習・講義	演習	
担当者	大井　良友		

[成績評価方法]
課題(30%)、理解度確認試験(70%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題等のフィードバックは manaba や授業内での解説を通して行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：課題、理解度確認試験

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：課題、理解度確認試験

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：課題、理解度確認試験

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：課題、理解度確認試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題、理解度確認試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：課題、理解度確認試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題、理解度確認試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題、理解度確認試験

[教科書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

[参考書(ISBN)]
書籍名:ジーニアス総合英語(第2版) 著者名:中邑光男、山岡憲史、柏野健次(編集主幹) 出版社名:大修館書店 ISBN:978-4-469-34315-1
書籍名:英文法解説(改訂3版) 著者名:江川泰一郎 出版社名:金子書房 ISBN:978-4-7608-2009-2
書籍名:伝わる英語表現法 著者名:長部三郎 出版社名:岩波書店 ISBN:4-00-430765-1

科目名	英文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学の歴史を理解し作品を味わう	講義	
担当者	西出　良郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
イギリスの文学の歴史的流れを把握するのみならず、時代を超越した普遍的価値を持つ古典としての様々な文学作品に触れることにより、われわれの精神を豊かにすることを目標にする。

[授業概要]
文学作品に親しむことによって自己の視野を広め、人生をよりよく、より深く生きることができる。若い日に文学に触れ、そこに描かれている美しいもの、真実なるものに触れることはきわめて重要なことである。文学作品はそれ以降のその人の生き方を決定づけると云っても過言ではないだろう。イギリス文学のそれぞれの作品は「人生いかに生きるべきか」という問題に真剣に向き合い、生きることの難しさ、生きることの悲しさと喜びを包み隠すことなく誠実に描いている。授業では、文学の発生から現代に至るまでのイギリス文学史の流れを追いながら、各時代の風潮に留意し、文学の背景を明らかにしつつ、それぞれの時代を代表する作家の作品に出来る限り触れるようにしながら講義を進めたい。
ゲルマン語を祖語とするアングロ・サクソンの時代から、北欧のノルド語との融合で誕生した古英語、フランスのノルマン人の侵入と支配から生まれた中英語、ルネサンス、宗教改革、シェイクスピアを経て、18世紀近代小説の誕生までのダイナミックな英語という言語のうねりを知る。そして、それぞれの時代の文学作品の背景と表現方法を知る。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業で次回の授業の準備を指示するので、指示されたことを必ずしたうえで次の授業に出てください。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1 英語の起源『ベ ーオウルフ 』ーー古英語時代 (5世 紀 -12世紀)
2 チョーサー『カンタベリー物語』ーー中英語時代 (12世 紀-15世紀)
3 ルネッサンスが花開くーーヘンリー8世と英国国教会
4 シェ イクス ピア ーー近代英語時代 (16世ー17世紀)
5 悲劇『マクベス』を読む
6 喜劇『夏の夜の夢』を読む
7 映画『マクベス』
8 "King James Bible"『欽定訳聖書』(1611)
9 ミ ル ト ン『 失楽園』ーー清教徒革命 と 王政復古の時代 (17世紀)
10 ポープとサミュエル・ジョンソンの18世紀
11 バンヤン『天路歴程』
12 デフォー『ロビンソン・クルーソー』ーー近代小説の誕生18世紀
13 スウィフト『ガリヴァー旅行記』ーー風刺小説・科学小説・政治小説

科目名	英文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学の歴史を理解し作品を味わう	講義	
担当者	西出　良郎		

[成績評価方法]
テスト(60%)、レポート(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題のフィードバックはmanabaを利用して行う

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：期末試験

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：期末試験

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:よくわかるイギリス文学史 著者名:浦野　郁 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623087747

[参考書(ISBN)]

科目名	英文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学の歴史を理解し作品を味わう	講義	
担当者	西出　良郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
イギリスの文学の歴史的流れを把握するのみならず、時代を超越した普遍的価値を持つ古典としての様々な文学作品に触れることにより、われわれの精神を豊かにすることを目標にする。

[授業概要]
文学作品に親しむことによって自己の視野を広め、人生をよりよく、より深く生きることができる。若い日に文学に触れ、そこに描かれている美しいもの、真実なるものに触れることはきわめて重要なことである。文学作品はそれ以降のその人の生き方を決定づけると云っても過言ではないだろう。イギリス文学のそれぞれの作品は「人生いかに生きるべきか」という問題に真剣に向き合い、生きることの難しさ、生きることの悲しさと喜びを包み隠すことなく誠実に描いている。授業では、文学の発生から現代に至るまでのイギリス文学史の流れを追いながら、各時代の風潮に留意し、文学の背景を明らかにしつつ、それぞれの時代を代表する作家の作品に出来る限り触れるようにしながら講義を進めたい。
ゲルマン語を祖語とするアングロ・サクソンの時代から、北欧のノルド語との融合で誕生した古英語、フランスのノルマン人の侵入と支配から生まれた中英語、ルネサンス、宗教改革、シェイクスピアを経て、18世紀近代小説の誕生までのダイナミックな英語という言語のうねりを知る。そして、それぞれの時代の文学作品の背景と表現方法を知る。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業で次回の授業の準備を指示するので、指示されたことを必ずしたうえで次の授業に出てください。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1 英語の起源『ベ ーオウルフ 』ーー古英語時代 (5世 紀 -12世紀)
2 チョーサー『カンタベリー物語』ーー中英語時代 (12世 紀-15世紀)
3 ルネッサンスが花開くーーヘンリー8世と英国国教会
4 シェ イクス ピア ーー近代英語時代 (16世ー17世紀)
5 悲劇『マクベス』を読む
6 喜劇『夏の夜の夢』を読む
7 映画『マクベス』
8 "King James Bible"『欽定訳聖書』(1611)
9 ミ ル ト ン『 失楽園』ーー清教徒革命 と 王政復古の時代 (17世紀)
10 ポープとサミュエル・ジョンソンの18世紀
11 バンヤン『天路歴程』
12 デフォー『ロビンソン・クルーソー』ーー近代小説の誕生18世紀
13 スウィフト『ガリヴァー旅行記』ーー風刺小説・科学小説・政治小説

科目名	英文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学の歴史を理解し作品を味わう	講義	
担当者	西出　良郎		

[成績評価方法]
テスト(60%)、レポート(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題のフィードバックはmanabaを利用して行う

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：期末試験

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：期末試験

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:よくわかるイギリス文学史 著者名:浦野　郁 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623087747

[参考書(ISBN)]

科目名	英文学史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学の歴史を理解し作品を味わう	講義	
担当者	西出　良郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
本講義を受講することにより、単にイギリスの文学の歴史的流れを把握するのみならず、時代を超越した普遍的価値を持つ古典としての様々な文学作品に触れることにより、われわれの精神を豊かにすることを目標にする。

[授業概要]
文学作品に親しむことによって自己の視野を広め、人生をよりよく、より深く生きることができる。若い日に文学に触れ、そこに描かれている美しいもの、真実なるものに触れることはきわめて重要なことである。文学作品はそれ以降のその人の生き方を決定づけると云っても過言ではないだろう。イギリス文学のそれぞれの作品は「人生いかに生きるべきか」という問題に真剣に向き合い、生きることの難しさ、生きることの悲しさと喜びを包み隠すことなく誠実に描いている。授業では、文学の発生から現代に至るまでのイギリス文学史の流れを追いながら、各時代の風潮に留意し、文学の背景を明らかにしつつ、それぞれの時代を代表する作家の作品に出来る限り触れるようにしながら講義を進めたい。
18世紀から現代までのイギリス文学史を概観する。市民社会の成立とともに小説が中心ジャンルとなる。DVDなどの視覚教材を用い、適宜ディスカッションをおこなう。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業で次回の授業の準備を指示するので、指示されたことを必ずしたうえで次の授業に出てください。
各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1.リチャードソンの書簡体小説――近代小説の発展（18世紀）
2.ワーズ ワース ― ― ロマン主義の時代 前期（18世紀 -19世紀）
3.キーツ―― ロマ ン主義の時代 後期　（19世紀）
4.メアリ・シェリー 『フランケンシュタイン』（1818）
5.オースティンとブ ロンテ姉妹 ― ヴィクトリア朝時代 ・ 小説Ⅰ（19世紀―20世紀）
6. チャールズ・ディケンズ　ヴィクトリア朝の小説（19世紀）
7.トマス・ハーディ ―　ヴィクトリア朝時代 ・ 小説Ⅱ（19世紀―20世紀）
8. オスカー・ワイルド　ヴィクトリア朝の童話・小説・演劇 （19世紀）
9.ワイルド『まじめ（アーネスト）が肝心』映画鑑賞
10.ルイス・キャロルの『不思議の国のアリス』（19世紀）
11.イェイツとT. S. エリオット ――二十世紀の詩と
12 ヴァージニア・ウルフとジェイムズ・ジョイス――「意識の流れ」
13. カズオ・イシグロ 『日の名残り』――映画鑑賞

科目名	英文学史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学の歴史を理解し作品を味わう	講義	
担当者	西出　良郎		

[成績評価方法]
テスト(60%)、レポート(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題のフィードバックはmanabaを利用して行う

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:よくわかるイギリス文学史 著者名:浦野　郁 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623087747

[参考書(ISBN)]

科目名	英文学史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学の歴史を理解し作品を味わう	講義	
担当者	西出　良郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
本講義を受講することにより、単にイギリスの文学の歴史的流れを把握するのみならず、時代を超越した普遍的価値を持つ古典としての様々な文学作品に触れることにより、われわれの精神を豊かにすることを目標にする。

[授業概要]
文学作品に親しむことによって自己の視野を広め、人生をよりよく、より深く生きることができる。若い日に文学に触れ、そこに描かれている美しいもの、真実なるものに触れることはきわめて重要なことである。文学作品はそれ以降のその人の生き方を決定づけると云っても過言ではないだろう。イギリス文学のそれぞれの作品は「人生いかに生きるべきか」という問題に真剣に向き合い、生きることの難しさ、生きることの悲しさと喜びを包み隠すことなく誠実に描いている。授業では、文学の発生から現代に至るまでのイギリス文学史の流れを追いながら、各時代の風潮に留意し、文学の背景を明らかにしつつ、それぞれの時代を代表する作家の作品に出来る限り触れるようにしながら講義を進めたい。
18世紀から現代までのイギリス文学史を概観する。市民社会の成立とともに小説が中心ジャンルとなる。DVDなどの視覚教材を用い、適宜ディスカッションをおこなう。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業で次回の授業の準備を指示するので、指示されたことを必ずしたうえで次の授業に出てください。
各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1.リチャードソンの書簡体小説――近代小説の発展（18世紀）
2.ワーズ ワース ― ― ロマン主義の時代 前期（18世紀 -19世紀）
3.キーツ―― ロマ ン主義の時代 後期　（19世紀）
4.メアリ・シェリー 『フランケンシュタイン』（1818）
5.オースティンとブ ロンテ姉妹 ― ヴィクトリア朝時代 ・ 小説Ⅰ（19世紀―20世紀）
6. チャールズ・ディケンズ　ヴィクトリア朝の小説（19世紀）
7.トマス・ハーディ ―　ヴィクトリア朝時代 ・ 小説Ⅱ（19世紀―20世紀）
8. オスカー・ワイルド　ヴィクトリア朝の童話・小説・演劇 （19世紀）
9.ワイルド『まじめ（アーネスト）が肝心』映画鑑賞
10.ルイス・キャロルの『不思議の国のアリス』（19世紀）
11.イェイツとT. S. エリオット ――二十世紀の詩と
12 ヴァージニア・ウルフとジェイムズ・ジョイス――「意識の流れ」
13. カズオ・イシグロ 『日の名残り』――映画鑑賞

科目名	英文学史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学の歴史を理解し作品を味わう	講義	
担当者	西出　良郎		

[成績評価方法]
テスト(60%)、レポート(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題のフィードバックはmanabaを利用して行う

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:よくわかるイギリス文学史 著者名:浦野　郁 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623087747

[参考書(ISBN)]

科目名	英文学入門Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	『フランケンシュタイン』を読む	講義	
担当者	野末　紀之		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
メアリ・シェリー作『フランケンシュタイン』(1818)を読む。易しい英語に書き直された版で読みおえてから、原文に挑戦する。

[授業概要]
この小説は、フランケンシュタイン博士による人造人間の開発とその悲劇を描くことにより、科学・医学の非人間的な応用への警鐘として受けとめられることが多い。また、人間存在と孤独、人間と言葉の関係などのテーマとも深くかかわっている。それらをふまえながら、あらたな視点から読み直す。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
予習としては、作品の指定された箇所に目を通し、疑問点や不明点を整理しておく。復習としては、授業内容をふまえテクストを再読する。予習・復習で2～2.5時間程度。
なお、各回の講義で気づいたことや疑問点をリアクションペーパーに記し、提出してもらう。

[授業計画]
1. イントロダクション――作者と作品
2. 『フランケンシュタイン』Chapter 1
3. 『フランケンシュタイン』Chapter 2～6
4. 『フランケンシュタイン』Chapter 7～9
5. 『フランケンシュタイン』Chapter 10～14
6. 『フランケンシュタイン』Chapter 15
7. 『フランケンシュタイン』まとめ
8. 原文『フランケンシュタイン』(人造人間誕生)
9. 原文『フランケンシュタイン』(人造人間の孤独)
10. 原文『フランケンシュタイン』(人造人間の怒り)
11. 原文『フランケンシュタイン』(人造人間と言葉)
12. 原文『フランケンシュタイン』
13. 質疑応答、レポート作成のための準備

科目名	英文学入門Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	『フランケンシュタイン』を読む	講義	
担当者	野末　紀之		

[成績評価方法]
授業参加度およびリアクションペーパー（40%）、中間小レポートおよび期末レポート（60%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートはmanabaで採点、返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:Frankenstein 著者名:Mary Shelley 出版社名:Oxford University Press ISBN:9780194791168

[参考書（ISBN）]

科目名	英文学入門Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	『フランケンシュタイン』を読む	講義	
担当者	野末　紀之		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
メアリ・シェリー作『フランケンシュタイン』(1818)を読む。易しい英語に書き直された版で読みおえてから、原文に挑戦する。

[授業概要]
この小説は、フランケンシュタイン博士による人造人間の開発とその悲劇を描くことにより、科学・医学の非人間的な応用への警鐘として受けとめられることが多い。また、人間存在と孤独、人間と言葉の関係などのテーマとも深くかかわっている。それらをふまえながら、あらたな視点から読み直す。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
予習としては、作品の指定された箇所に目を通し、疑問点や不明点を整理しておく。復習としては、授業内容をふまえテクストを再読する。予習・復習で2～2.5時間程度。
なお、各回の講義で気づいたことや疑問点をリアクションペーパーに記し、提出してもらう。

[授業計画]
1. イントロダクション――作者と作品
2. 『フランケンシュタイン』Chapter 1
3. 『フランケンシュタイン』Chapter 2～6
4. 『フランケンシュタイン』Chapter 7～9
5. 『フランケンシュタイン』Chapter 10～14
6. 『フランケンシュタイン』Chapter 15
7. 『フランケンシュタイン』まとめ
8. 原文『フランケンシュタイン』(人造人間誕生)
9. 原文『フランケンシュタイン』(人造人間の孤独)
10. 原文『フランケンシュタイン』(人造人間の怒り)
11. 原文『フランケンシュタイン』(人造人間と言葉)
12. 原文『フランケンシュタイン』
13. 質疑応答、レポート作成のための準備

科目名	英文学入門Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	『フランケンシュタイン』を読む	講義	
担当者	野末　紀之		

[成績評価方法]
授業参加度およびリアクションペーパー（40%）、中間小レポートおよび期末レポート（60%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートはmanabaで採点、返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業参加度およびリアクションペーパー、中間小レポートおよび期末レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:Frankenstein 著者名:Mary Shelley 出版社名:Oxford University Press ISBN:9780194791168

[参考書（ISBN）]

科目名	英文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	R. S, Stevenson, ″A Strange Case of Dr. Jekyll and Mr. Hyde″を読む	講義	
担当者	野末　紀之		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・世紀末ゴシック小説の系譜に位置する作品の特徴を理解する。
・人間心理の二重性を小説がどう描いているか理解する。
・当時の文化・社会背景と関連して解釈する。

[授業概要]
分身や人間心理の二重性を描いた有名作品を、教科書に付された注や翻訳を参照しながら精読する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
取上げる作品は複数の翻訳があるので、目を通してほしい。
予習としては、翻訳を参照しながら指定された英文の箇所を読み、疑問点や不明点を整理しておくこと。
復習としては、授業で読んだ英文を再読し、気づいた点をメモしておくこと
予習・復習で2時間程度

[授業計画]
1. イントロダクション
2.『ジキル博士とハイド氏』(1)
3.『ジキル博士とハイド氏』(2)
4.『ジキル博士とハイド氏』(3)
5.『ジキル博士とハイド氏』(4)
6.『ジキル博士とハイド氏』(5)
7.『ジキル博士とハイド氏』(6)
8.『ジキル博士とハイド氏』(7)
9. 作品の文化社会的背景(1)
11. 作品の文化社会的背景(2)
12. 同時代評価
13. まとめと展望、期末レポート作成のためのアドバイス

科目名	英文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	R. S, Stevenson, "A Strange Case of Dr. Jekyll and Mr. Hyde"を読む	講義	
担当者	野末　紀之		

[成績評価方法]
授業貢献度およびリアクションペーパー30%、中間（小）・期末レポート70%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
中間・期末レポートともにmanabaで採点、返却

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:Dr. Jekyll and Mr. Hyde 著者名:R. S. Stevenson 出版社名:開文社 ISBN:9784875711124

[参考書（ISBN）]

科目名	英文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	R. S, Stevenson, ″A Strange Case of Dr. Jekyll and Mr. Hyde″を読む	講義	
担当者	野末　紀之		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・世紀末ゴシック小説の系譜に位置する作品の特徴を理解する。
・人間心理の二重性を小説がどう描いているか理解する。
・当時の文化・社会背景と関連して解釈する。

[授業概要]
分身や人間心理の二重性を描いた有名作品を、教科書に付された注や翻訳を参照しながら精読する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
取上げる作品は複数の翻訳があるので、目を通してほしい。
予習としては、翻訳を参照しながら指定された英文の箇所を読み、疑問点や不明点を整理しておくこと。
復習としては、授業で読んだ英文を再読し、気づいた点をメモしておくこと
予習・復習で2時間程度

[授業計画]
1. イントロダクション
2.『ジキル博士とハイド氏』(1)
3.『ジキル博士とハイド氏』(2)
4.『ジキル博士とハイド氏』(3)
5.『ジキル博士とハイド氏』(4)
6.『ジキル博士とハイド氏』(5)
7.『ジキル博士とハイド氏』(6)
8.『ジキル博士とハイド氏』(7)
9. 作品の文化社会的背景(1)
11. 作品の文化社会的背景(2)
12. 同時代評価
13. まとめと展望、期末レポート作成のためのアドバイス

科目名	英文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	R. S, Stevenson, "A Strange Case of Dr. Jekyll and Mr. Hyde"を読む	講義	
担当者	野末　紀之		

[成績評価方法]
授業貢献度およびリアクションペーパー30%、中間（小）・期末レポート70%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
中間・期末レポートともにmanabaで採点、返却

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業貢献度およびリアクションペーパー、中間（小）・期末レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:Dr. Jekyll and Mr. Hyde 著者名:R. S. Stevenson 出版社名:開文社 ISBN:9784875711124

[参考書（ISBN）]

科目名	英米文学作品研究 I	前期	2 単位
サブタイトル	Hemingway の短編を読む	演習	
担当者	山口　知子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
米文学の著名な作品を読むことで、他の英文読解とは異なる「文学作品を読むこと」の面白さと難しさを知ると同時に、1ランク上の読解力習得を目指します。

[授業概要]
本授業では、米文学を代表する作家 Ernest Hemingway の自伝的短編集 を読んでいきます。主人公 Nick Adams は、著者自身の分身と言われています。Hemingway という作家自身をより深く知る機会ともしてほしいと思います。

Hemingway 作品は、「ハードボイルド」と呼ばれる短くそぎ落としたような文体で知られます。一見簡単そうですが、同時に「氷山理論」と呼ばれるように、表面に現れる部分はわずかでも、その背後に深い意味が隠されています。この2つの特徴を兼ね備える Hemingway 作品の面白さを、存分に味わってほしいと思います。

授業中はアットランダムに指名し、音読、和訳、解釈をしてもらいます。自分なりに、ということでよいので、各自十分に準備をして授業に臨んでください。その後、クラス全体でディスカッションを行います。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
「授業計画」に従い該当する部分を綿密に読み、自分なりに日本語にしておきます。その際「文学作品として成立するようなう文章」を心掛けること。わからない部分は必ず出てくると思いますが「ここは○○がわからない」という点を明確にしたうえで授業に臨むことが肝要。予習・復習あわせて3時間をめやすとしてください。

[授業計画]
1. 授業の概要説明、ヘミングウェイ概説、"Three Shots" p.1 – p. 3
2. "Three Shots" p.3 – p.5、"Three Shots" まとめとディスカッション
3. "Indian Camp" p.6 – 8
4. "Indian Camp" p.8 – 10
5. "Indian Camp" p.10 – 13、"Indian Camp" まとめとディスカッション
6. "The Killers" p.64 – p. 66
7. "The Killers" p.66 – p. 68
8. "The Killers" p.69 – p.71
9. "The Killers" p.71 – p.73
10. "The Killers" p.74 – p.76
11. "The Killers" p.76 – p.78
12. "The Killers" p.78 – p.81、"The Killers" まとめとディスカッション
13. まとめ・ヘミングウェイ作品についての解説と復習

科目名	英米文学作品研究 I	前期	2 単位
サブタイトル	Hemingway の短編を読む	演習	
担当者	山口　知子		

[成績評価方法]
理解度確認試験（70%）、授業中のパフォーマンス（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中のコメントおよびメール等を通じてフィードバックを行います。
課題内容によっては、KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび理解度確認試験によって評価します。

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび理解度確認試験によって評価します。

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび理解度確認試験によって評価します。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度により評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度によって評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度によって評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度によって評価します。

[教科書（ISBN）]
書籍名:Indian Camp: from Nick Adams Stories 著者名:Ernest Hemingway 出版社名:朝日出版社 ISBN:978-4-255-15203-5

[参考書（ISBN）]

科目名	英米文学作品研究Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	William Faulkner の短編を読む。	演習	
担当者	山口　知子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
米文学の著名な作品を読むことで、他の英文読解とは異なる「文学作品を読むこと」の面白さと難しさを知ると同時に、1ランク上の読解力習得を目指します。

[授業概要]
本授業では、米国を代表する作家 William Faulkner の短編作品を読んでいきます。

Faulkner は、ヨクナパトーファ郡ジェファソンという町を舞台に数々の超短編を残しており、「local color(地方色)」の作家と呼ばれています。しかしその作品郡は、地域や時代を超えた人間世界の普遍的喜怒哀楽を描き出しています。「意識の流れ」と称されるその文体は、1文が長く思いのままに流れていくため、どちらかといえば難解な作品と言えますが、重くも深い Faulkner 作品の神髄に触れる機会としてほしいと思います。

授業中はアットランダムに指名し、音読・和訳・作品解釈をしてもらいます。自分なりに、ということでよいので、各自十分に準備をして授業に臨んでください。その後、クラス全体でディスカッションを行います。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
「授業計画」にしたがって該当する部分を綿密に読み、日本語にしておきます。その際「文学作品として通用するような文章」を心掛けること。わからない部分は必ず出てくると思いますが「ここは○○がわからない」という点を明確にしたうえで授業に臨むことが肝要です。予習・復習あわせて3時間をめやすとしてください。

[授業計画]
1. 授業概要と William Faulkner の説明、"Shall Not Perish," pp. 1 – 3
2. "Shall Not Perish," pp. 4 – 8
3. "Shall Not Perish," pp. 9 – 15
4. "Shall Not Perish," pp. 16 – 19、"Shall Not Perish" 作品世界のまとめとディスカッション
5. "A Rose for Emily," pp. 21 – 25
6. "A Rose for Emily," pp. 26 – 31
7. "A Rose for Emily," pp. 32 – 35、"A Rose for Emily" 作品世界のまとめとディスカッション
8. "That Evening Sun," pp. 37 – 42
9. "That Evening Sun," pp. 43 – 48
10. "That Evening Sun," pp. 49 – 54
11. "That Evening Sun," pp. 55 – 60
12. "That Evening Sun," pp. 61 – 62、"That Evening Sun" 作品世界のまとめとディスカッション
13. まとめ・William Faulkner についての解説と復習

科目名	英米文学作品研究Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	William Faulkner の短編を読む。	演習	
担当者	山口　知子		

[成績評価方法]
理解度確認試験（70%）、授業中のパフォーマンス（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中のコメントおよびメール等を通じてフィードバックを行います。
課題の種類によっては、KISSシステムも使用します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび理解度確認試験によって評価します。

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび理解度確認試験によって評価します。

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび理解度確認試験によって評価します。

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび理解度確認試験によって評価します。

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび理解度確認試験によって評価します。

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび理解度確認試験によって評価します。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度によって評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度によって評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度によって評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度によって評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度によって評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度によって評価します。

[教科書（ISBN）]
書籍名:A Rose for Emily and Other Stories 著者名:William Faulkner 出版社名:南雲堂 ISBN:978-4-5230-15031

[参考書（ISBN）]

科目名	Oral Presentation Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ロー		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
The aim of this class is to study speaking and listening intensively in order to develop vocabulary, expressions, and proper usage of grammar. Students will make short presentations based on topics in the textbook.

[授業概要]
This course focuses on building oral presentation skills through development of vocabulary, discussion, public speaking, grammar, and oral fluency. Students will learn about how to create a short presentation, and how to deliver it effectively. Students are expected to come to class prepared and ready to actively participate in every class sess

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1. Introduction
2. Unit 1 The way we are
3. Unit 1 The way we are
4. Unit 2 Experiences (presentation (#1)
5. Unit 2 Experiences
6. Unit 3 Wonders of the world
7. Unit 3 Wonders of the world
8. midterm quiz
9. Unit 4 Family life (presentation #2)
10. Unit 4 Family life
11. Unit 5 Food choices
12. Unit 5 Food choices
13. Final test

科目名	Oral Presentation Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ロー		

[成績評価方法]
Participation (20%), Short presentations (20%), Midterm (30%), Final exam(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will be given written feedback after each exam and each presentation. I will also give verbal suggestions and feedback.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Touchstone Student book #3 著者名:Michael McCarthy 出版社名:Cambridge ISBN:1107665833

[参考書(ISBN)]

科目名	Oral Presentation Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル	Oral Presentation I	演習	
担当者	J. ギルバート		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
The aim of this class is to study speaking strategies in order to develop vocabulary, expressions and proper usage of grammar. Students will make short presentations based on topics in the textbook..

[授業概要]
In this class, students will be exposed to a variety of topics, with an emphasis on vocabulary building and grammar. Students will be expected to make short presentations based on topics taken from the textbook. Self-study, and presentation preparation will be assigned as homework.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely matter.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1. Introduction
2. Unit 1 The way we are
3. Unit 1 The way we are
4. Unit 2 Experiences
5. Unit 2 Experiences
6. Unit 3 Wonders of the world; practice presentations
7. Unit 3 Wonders of the world
8. Midterm exam and presentations
9. Unit 4 Family life
10. Unit 4 Family life
11. Unit 5 Food choices
12. Unit 5 Food choices/ final presentations
13. Unit 6 Managing life; evaluation

科目名	Oral Presentation Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル	Oral Presentation I	演習	
担当者	J. ギルバート		

[成績評価方法]
Participation (20%) , Short presentations (20%) , Midterm (30%) , Final exam (30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will receive scores and comments on their exams, and for their presentations, they will receive rubrics to guide them as well as comments on how they can improve their presentation skills. Students will also be given points on their weekly homework assignments.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：Participation、Short presentations、Midterm、Final exam

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：Participation、Short presentations、Midterm、Final exam

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：Participation、Short presentations、Midterm、Final exam

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：Participation、Short presentations、Midterm、Final exam

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：Participation、Short presentations、Midterm、Final exam

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：Participation、Short presentations、Midterm、Final exam

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法：Participation、Short presentations、Midterm、Final exam

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：Participation、Short presentations、Midterm、Final exam

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：Participation、Short presentations、Midterm、Final exam

[教科書(ISBN)]
書籍名:TOUCHSTONE, Second Edition, Student's Book 3 著者名:McCarthy, M., McCarten, J., & Sandiford, H. 出版社名:Cambridge University Press ISBN:978-1-107-66583-5
書籍名:TOUCHSTONE, Second Edition, Workbook 3 著者名: 出版社名: ISBN:978-1-107-64271-3

[参考書(ISBN)]

科目名	Oral Presentation Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
聞き手にとってわかりやすく、興味をもたれる発表をするための工夫を学ぶ。また発表するために必要となる語彙力・読解力・リスニング力・構成力および異文化理解の力を身につける。最終的に学んだことを実践し、発表を行う。

[授業概要]
【メディア授業】
英語による発表をいかに効果的に行うかをさまざまな角度から学ぶ。まずパラグラフの組み立てやトピックの選び方などについて考え、わかりやすい構成の文章を作成する。その上で日本語の発表との違いなども意識し、ジェスチャーや抑揚、表情等に注意して、作成した原稿をもとにプレゼンテーションの練習を行う。リーディングやリスニングも含めた総合的なアクティビティを通して、最終的によりレベルの高い魅力あるプレゼンテーションを行うことを目標とする。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業についての予習・復習2時間程度。
決められた課題を各しめ切り日までに準備してくること、小テストなどに備えて学習すること。最終発表にむけて決められた日時までに課題提出と発表の練習を行うこと。

[授業計画]
1. Introduction
2. 効果的なプレゼンテーションとは
3. 聴衆を意識する
4. 構成について
5. 構成について
6. 構成について
7. 原稿を完成させる
8. アイ・コンタクト、ジェスチャー、抑揚
9. 原稿の修正
10. スピーチ練習
11. スピーチ練習
12. プレゼンテーション
13. プレゼンテーション

科目名	Oral Presentation Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[成績評価方法]
Student attitude (20%) , Short presentations (20%) , Midterm (30%) , Final exam (30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
プレゼンテーション及びレポートについては下書き段階でフィードバックを返します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	Oral Presentation Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ロー		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
The aim of this class is to study speaking and listening intensively in order to develop vocabulary, expressions and proper usage of grammar. Students will make short presentations based on topics in the textbook.

[授業概要]
In this class, students will practice in pairs and groups, speaking on a variety of topics. An emphasis will be put on vocabulary building, grammar and fluency.
With this base, students will then be expected to make short presentations based on a variety of topics taken from the textbook. Self-study and presentation preparation will be assigned as homework.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in assignments in a timely manner.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1. Introduction
2. Unit 6 : Managing Life
3. Unit 6: Managing Life Continued
4. Unit 7: relationship (presentation #3)
5. Unit 7: relationships continued
6. Unit 8: Life situations
7. Unit 8: continued
8. Midterm quiz
9. Unit 9: Tech savy
10. Unit 9: Tech savy continued, (presentation #4)
11. Unit 10 News and entertainment
12. Unit 10 Continued
13. Final Quiz

科目名	Oral Presentation Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ロー		

[成績評価方法]
Participation (20%), Short presentations (20%), Midterm (30%), Final exam(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will be given written feedback after each exam and each presentation. I will also give verbal suggestions and feedback.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:Touchstone Student #3 著者名:Michael McCarthy 出版社名:Cambridge ISBN:1107665833

科目名	Oral Presentation Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル	Oral Presentation II	演習	
担当者	J. ギルバート		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
The aim of this class is to study speaking and listening intensively in order to develop vocabulary, expressions, and proper usage of grammar. Students will make short presentations based on topics in the textbook.

[授業概要]
In this class, students will practice in pairs and groups, speaking on a variety of topics, with an emphasis on vocabulary building, grammar and fluency. With this base, students will then be expected to make short presentations based on a variety of topics taken from the textbook. Self-study, listening and presentation preparation will be assigned as homework.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1. Introduction
2. Unit 7 Relationships; practice presentations
3. Unit 7 Relationships
4. Unit 8 What if?
5. Unit 8 What if?
6. Unit 9 Tech savvy
7. Unit 9 Tech savvy; debate
8. Evaluation; presentations
9. Unit 10 What's up?
10. Unit 10 What's up?
11. Unit 11 Impressions
12. Unit 12 In the news; presentations
13. Unit 12 In the news; evaluaton

科目名	Oral Presentation Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル	Oral Presentation II	演習	
担当者	J. ギルバート		

[成績評価方法]
Participation (20%) , Short presentations (20%) , Midterm (30%) , Final (30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will receive scores and comments on their exams, and for their presentations, they will receive rubrics to guide them as well as comments on how they can improve their presentation skills. Students will also be given points on their weekly homework assignments.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：Participation、Short presentations、Midterm、Final

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：Participation、Short presentations、Midterm、Final

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：Participation、Short presentations、Midterm、Final

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：Participation、Short presentations、Midterm、Final

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：Participation、Short presentations、Midterm、Final

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：Participation、Short presentations、Midterm、Final

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法：Participation、Short presentations、Midterm、Final

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：Participation、Short presentations、Midterm、Final

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：Participation、Short presentations、Midterm、Final

[教科書(ISBN)]
書籍名:TOUCHSTONE, Seond Edition, Student's Book 3 著者名:McCarthy, M., McCarten, J., & Sandiford, H. 出版社名:Cambridge University Press ISBN:978-1-107-66583-5
書籍名:TOUCHSTONE, Second Edition, Workbook 3 著者名: 出版社名: ISBN:978-1-107-64271-3

[参考書(ISBN)]

科目名	Oral Presentation Ⅳ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
様々な種類のスピーチやプレゼンテーションを英語で行う能力を身に付ける。

[授業概要]
プレゼンテーションを行う手法を学ぶことを通して、アイコンタクトやジェスチャー、声の抑揚などの重要性についても同時に学習する。スピーチの導入、本題、結論の述べ方の学習を通して、説得力のあるプレゼンテーションを行う能力を養う。前期開講のOral Presentation Ⅲで学習した全ての技能を活用し、受講者自身で話題を取り上げ、プレゼンテーションを行う。最終回では全クラス合同でプレゼンテーションコンテストを行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
What to prepare before class- Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
第1回:メッセージの伝え方(身体表現・視覚情報を生かした伝え方)
第2回:スピーチの導入表現
第3回:テーマに関する様々な比較
第4回:説得力のあるスピーチの導入
第5回:スピーチで用いるデータ、根拠
第6回:スピーチの展開
第7回:プレゼンテーションの準備
第8回:説得力のあるスピーチの結論
第9回:スピーチの締めくくり方
第10回:最終プレゼンテーションの作成
第11回:最終プレゼンテーションの発表
第12回:自由テーマでのプレゼンテーション
第13回:まとめ
期末試験

科目名	Oral Presentation Ⅳ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[成績評価方法]
授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%) ,ショートスピーチ(30%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%), プレゼンテーション (30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will be given written feedback after each presentation they do, and after each exam.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:presentations, speeches

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:presentations, speeches

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:tests / reviews

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:class discussion, impromptu speeches

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:class discussion, peer feedback

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:class discussion, presentations

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:class discussion, peer feedback

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:class discussion, peer feedback

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:class discussion, impromptu speeches, presentations

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	Oral Presentation Ⅳ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
様々な種類のスピーチやプレゼンテーションを英語で行う能力を身に付ける。

[授業概要]
プレゼンテーションを行う手法を学ぶことを通して、アイコンタクトやジェスチャー、声の抑揚などの重要性についても同時に学習する。スピーチの導入、本題、結論の述べ方の学習を通して、説得力のあるプレゼンテーションを行う能力を養う。前期開講のOral Presentation Ⅲで学習した全ての技能を活用し、受講者自身で話題を取り上げ、プレゼンテーションを行う。最終回では全クラス合同でプレゼンテーションコンテストを行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.

各回、予習復習合わせて 2 時間程度

[授業計画]
第1回:メッセージの伝え方(身体表現・視覚情報を生かした伝え方)
第2回:スピーチの導入表現
第3回:テーマに関する様々な比較
第4回:説得力のあるスピーチの導入
第5回:スピーチで用いるデータ、根拠
第6回:スピーチの展開
第7回:プレゼンテーションの準備
第8回:説得力のあるスピーチの結論
第9回:スピーチの締めくくり方
第10回:最終プレゼンテーションの作成
第11回:最終プレゼンテーションの発表
第12回:自由テーマでのプレゼンテーション
第13回:まとめ
期末試験

科目名	Oral Presentation Ⅳ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[成績評価方法]
授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%) ,ショートスピーチ(30%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%), プレゼンテーション (30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will receive written feedback after each presentation as well as peer feedback from other students.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:presentations, speeches

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:presentations, speeches

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:tests / reviews

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:class discussion, impromptu speeches

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:class discussion, peer feedback

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:class discussion, presentations

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:class discussion, presentations

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:class discussion, peer feedback

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:class discussion, impromptu speeches, presentations

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:Speaking of Speech Premium Edition 著者名:Charles LeBeau 出版社名:National Geographic Learning Cengage Learning, ELT Japan ISBN:9784863123854

科目名	Oral Presentation Ⅳ	後期	1 単位
サブタイトル	Oral Presentation IV	演習	
担当者	J. ギルバート		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
様々な種類のスピーチやプレゼンテーションを英語で行う能力を身に付ける。

[授業概要]
プレゼンテーションを行う手法を学ぶことを通して、アイコンタクトやジェスチャー、声の抑揚などの重要性についても同時に学習する。スピーチの導入、本題、結論の述べ方の学習を通して、説得力のあるプレゼンテーションを行う能力を養う。前期開講のOral Presentation Ⅲで学習した全ての技能を活用し、受講者自身で話題を取り上げ、プレゼンテーションを行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Prepare all presentations in a timely manner.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
第1回:メッセージの伝え方(身体表現・視覚情報を生かした伝え方)
第2回:スピーチの導入表現
第3回:テーマに関する様々な比較
第4回:説得力のあるスピーチの導入
第5回:スピーチで用いるデータ、根拠
第6回:スピーチの展開
第7回:プレゼンテーションの準備
第8回:説得力のあるスピーチの結論
第9回:スピーチの締めくくり方
第10回:最終プレゼンテーションの作成
第11回:最終プレゼンテーションの発表
第12回:自由テーマでのプレゼンテーション
第13回:まとめ
期末試験

科目名	Oral Presentation Ⅳ	後期	1 単位
サブタイトル	Oral Presentation IV	演習	
担当者	J. ギルバート		

[成績評価方法]
授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%) ,ショートスピーチ(30%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%), プレゼンテーション (30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will receive scores and comments on their exams, and for their presentations, they will receive feedback based on completed rubrics. Students will be provided with the rubrics before they make their presentations.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:ディスカッションへの参加等、ショートスピーチ、中間試験、期末試験、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:ディスカッションへの参加等、ショートスピーチ、中間試験、期末試験、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:ディスカッションへの参加等、ショートスピーチ、中間試験、期末試験、プレゼンテーション

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:ディスカッションへの参加等、ショートスピーチ、中間試験、期末試験、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:ディスカッションへの参加等、ショートスピーチ、中間試験、期末試験、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:ディスカッションへの参加等、ショートスピーチ、中間試験、期末試験、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:ディスカッションへの参加等、ショートスピーチ、中間試験、期末試験、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:ディスカッションへの参加等、ショートスピーチ、中間試験、期末試験、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:ディスカッションへの参加等、ショートスピーチ、中間試験、期末試験、プレゼンテーション

[教科書(ISBN)]
書籍名:Speaking of Speech, Premium Edition 著者名:LeBeau, C. 出版社名:National Geographic Learning ISBN:978-4-86312-385-4

[参考書(ISBN)]

科目名	Oral Presentation Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
様々な種類のスピーチやプレゼンテーションを英語で行う能力を身に付ける。

[授業概要]
プレゼンテーションを行う手法を学ぶことを通して、アイコンタクトやジェスチャー、声の抑揚などの重要性についても同時に学習する。スピーチの導入、本題、結論の述べ方を学習する。伝えたい情報を正確に述べる方法やプレゼンテーションソフトウェアの活用についても学習し、プレゼンテーションを実践する。後期開講のOral Presentation Ⅳでのプレゼンテーションコンテストに向けた準備も行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
What to prepare before class- Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
第1回:身体を使った伝達方法の導入
第2回:姿勢とアイコンタクト
第3回:情報の伝え方
第4回:ジェスチャー
第5回:導入、本題、結論が適切に整理されたスピーチの準備
第6回:導入、本題、結論が適切に整理されたスピーチの発表
第7回:声の抑揚
第8回:実演的なスピーチ
第9回:学習した表現の復習、中間試験
第10回:視覚情報の活用
第11回:視覚情報に基づく世界の国々の比較
第12回:世界の国々の比較についてのプレゼンテーション
第13回:まとめ
期末試験

科目名	Oral Presentation Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[成績評価方法]
授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%) ,ショートスピーチ(30%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%), プレゼンテーション (30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will be given written feedback after each presentation they do, and after each exam.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:presentations, speeches

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:presentations, speeches

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:tests / reviews

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:class discussions, impromptu speeches

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:class discussions, peer feedback

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:class discussion, presentations

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:class discussion, presentations

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:class discussion, peer feedback

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:class discussion, impromptu speeches, presentations

[教科書(ISBN)]
書籍名:Speaking of Speech (Premium Edition) Student Book 著者名: 出版社名:NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING(ナショナル・ジオグラフィック・ラーニング)／Cengage Learning(センゲージ・ラーニング) ISBN:9784863123854

[参考書(ISBN)]

科目名	Oral Presentation Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
様々な種類のスピーチやプレゼンテーションを英語で行う能力を身に付ける。

[授業概要]
プレゼンテーションを行う手法を学ぶことを通して、アイコンタクトやジェスチャー、声の抑揚などの重要性についても同時に学習する。スピーチの導入、本題、結論の述べ方を学習する。伝えたい情報を正確に述べる方法やプレゼンテーションソフトウェアの活用についても学習し、プレゼンテーションを実践する。後期開講のOral Presentation Ⅳでのプレゼンテーションコンテストに向けた準備も行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.

各回、予習復習合わせて 2 時間程度

[授業計画]
第1回:身体を使った伝達方法の導入
第2回:姿勢とアイコンタクト
第3回:情報の伝え方
第4回:ジェスチャー
第5回:導入、本題、結論が適切に整理されたスピーチの準備
第6回:導入、本題、結論が適切に整理されたスピーチの発表
第7回:声の抑揚
第8回:実演的なスピーチ
第9回:学習した表現の復習、中間試験
第10回:視覚情報の活用
第11回:視覚情報に基づく世界の国々の比較
第12回:世界の国々の比較についてのプレゼンテーション
第13回:まとめ
期末試験

科目名	Oral Presentation Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[成績評価方法]
授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%) ,ショートスピーチ(30%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%), プレゼンテーション (30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will receive written feedback after each presentation as well as peer feedback from other students.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:presentations, speeches

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:presentations, speeches

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:tests / reviews

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:class discussion, impromptu speeches

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:class discussion, peer feedback

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:class discussion, presentations

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:class discussion, presentations

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:□
class discussion, peer feedback

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:class discussion, impromptu speeches, presentations

[教科書(ISBN)]
書籍名:Speaking of Speech Premium Edition 著者名:Charles LeBeau 出版社名:National Geographic Learning Cengage Learning, ELT Japan ISBN:9784863123854

[参考書(ISBN)]

科目名	Oral Presentation Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	Oral Presentation III	演習	
担当者	J. ギルバート		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	Discussions, debates, presentations, group work, leadership skills	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
様々な種類のスピーチやプレゼンテーションを英語で行う能力を身に付ける。

[授業概要]
プレゼンテーションを行う手法を学ぶことを通して、アイコンタクトやジェスチャー、声の抑揚などの重要性についても同時に学習する。スピーチの導入、本題、結論の述べ方を学習する。伝えたい情報を正確に述べる方法やプレゼンテーションソフトウェアの活用についても学習し、プレゼンテーションを実践する。後期開講のOral Presentation Ⅳでのプレゼンテーションコンテストに向けた準備も行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
第1回:身体を使った伝達方法の導入
第2回:姿勢とアイコンタクト
第3回:情報の伝え方
第4回:ジェスチャー
第5回:導入、本題、結論が適切に整理されたスピーチの準備
第6回:導入、本題、結論が適切に整理されたスピーチの発表
第7回:声の抑揚
第8回:実演的なスピーチ
第9回:学習した表現の復習、中間試験
第10回:視覚情報の活用
第11回:視覚情報に基づく世界の国々の比較
第12回:世界の国々の比較についてのプレゼンテーション
第13回:まとめ
期末試験

科目名	Oral Presentation Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	Oral Presentation III	演習	
担当者	J. ギルバート		

[成績評価方法]
授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%) ,ショートスピーチ(30%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%), プレゼンテーション (30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will receive scores and comments on their exams, and for their presentations, they will receive feedback based on completed rubrics. Students will be provided with the rubrics before they make their presentations.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:ディスカッションへの参加等、ショートスピーチ、中間試験、期末試験、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:ディスカッションへの参加等、ショートスピーチ、中間試験、期末試験、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:ディスカッションへの参加等、ショートスピーチ、中間試験、期末試験、プレゼンテーション

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:ディスカッションへの参加等、ショートスピーチ、中間試験、期末試験、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:ディスカッションへの参加等、ショートスピーチ、中間試験、期末試験、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:ディスカッションへの参加等、ショートスピーチ、中間試験、期末試験、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:ディスカッションへの参加等、ショートスピーチ、中間試験、期末試験、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:ディスカッションへの参加等、ショートスピーチ、中間試験、期末試験、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:ディスカッションへの参加等、ショートスピーチ、中間試験、期末試験、プレゼンテーション

[教科書(ISBN)]
書籍名:Speaking of Speech, Premium Edition 著者名:LeBeau, C. 出版社名:National Geographic Learning ISBN:978-4-86312-385-4

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎セミナーⅠ	前期	2 単位
サブタイトル	大学での学び方	演習	
担当者	西出　良郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	資料収集
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
論理的な文章を読んだり書いたりできるなど、アカデミックスキルの基礎を養う。

[授業概要]
大学での学習方法について学ぶ。アカデミックな論文の読み方、資料の探し方、まとめ方、レポートの書き方、発表の仕方について学ぶ。
これと平行して適宜文学作品を選び、英語を読む基礎的スキルを身につける。英英あるいは英和辞書必携。
1人1人気になるトピックを自由に選び、それに関連する新書を要約し、調べたことをもとに期末レポートを書いてもらう。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
テキスト・教材の指定された箇所を精読して授業に臨むこと。※各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.大学での学修方法
3.レポート執筆方法: 専門分野における論文と小論文の違い
4.レポート執筆方法: 専門分野における引用と剽窃の違い
5.レポート執筆方法: 専門分野における文献調査
6.フィールドワーク
7.専門分野1の概要
8.専門分野1の研究手法
9.専門分野1の研究意義
10.専門分野1の研究成果
11.専門分野1の存在意義
12.専門分野1の今後課題
13.レポート執筆の準備、まとめ

科目名	基礎セミナーⅠ	前期	2 単位
サブタイトル	大学での学び方	演習	
担当者	西出　良郎		

[成績評価方法]
授業への取り組み（20%）、課題（20%）、レポート・試験（60%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題のフィードバックはmanabaを利用して行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

科目名	基礎セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	大学での学び	演習	
担当者	西出　良郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
論理的な文章を読んだり書いたりできるなど、アカデミックスキルの基礎を養う。

[授業概要]
アカデミックな論文の読み方、資料の探し方、まとめ方、レポートの書き方、発表の仕方を学ぶ。基礎セミナーⅡでは、各自が気に入った英米文学作品を一つ選び、それに関連する文献を要約し、調べたことをもとに期末レポートを書いてもらう。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
テキスト・教材の指定された箇所を精読して授業に臨むこと。※各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.大学での学修方法
3.レポート執筆方法: 専門分野2における論文と小論文の違い
4.レポート執筆方法: 専門分野2における引用と剽窃の違い
5.レポート執筆方法: 専門分野2における文献調査
6.フィールドワーク
7.専門分野2の概要
8.専門分野2の研究手法
9.専門分野2の研究意義
10.専門分野2の研究成果
11.専門分野2の存在意義
12.専門分野2の今後課題
13.レポート執筆の準備、まとめ

科目名	基礎セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	大学での学び	演習	
担当者	西出　良郎		

[成績評価方法]
授業への取り組み（20%）、課題（20%）、レポート・試験（60%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題のフィードバックはmanabaを利用して行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

科目名	Speaking & Listening Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
実際のコミュニケーションの場で使用される頻度の高い英語の表現や文法を用いて、様々な話題について自分の考えを英語で話す力を身に付けると同時に、語彙力や正しい発音の知識を身に付ける。

[授業概要]
多様な話題について、日常で遭遇しうる様々な場面で自信を持って自分の考えを英語で話したり、相手の発話を聞いて、相手の意図を理解したりできるよう、テキストの題材に基づき、様々な活動を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review previous weeks notes and assignments. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.

各回、予習復習合わせて 2 時間程度

[授業計画]
第1回:オリエンテーション, Unit 1 A world of differenceの聞き取り
第2回:A world of differenceについての自分の意見の発表
第3回:A world of differenceの総括
第4回:Unit 2 The work weekの聞き取り
第5回:The work weekについての自分の意見の発表
第6回:The work weekの総括
第7回:学習したテーマについての復習、スピーキングテスト(1)
第8回:学習した表現の復習、中間試験
第9回:Unit 3 Good times, bad timesの聞き取り
第10回:Good times, bad timesについての自分の意見の発表
第11回:Good times, bad timesの総括
第12回:学習したテーマについての復習、スピーキングテスト(2)
第13回:まとめ
期末試験

科目名	Speaking & Listening Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[成績評価方法]
授業中の態度（ディスカッションへの参加等）(20%) , 課題(10%), スピーキングテスト(50%) プレゼンテーション（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
Students will be evaluated by their ability to speak in English during every class which will be reflected in their participation grade. Students will also be evaluated through speeches by teacher and peer evaluation. There will also be two speaking tests with the teacher that will be graded on how fluently they can respond to questions.

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:Interchange 5th Edition Level 1 Student's Book with Digital Pack 著者名:Jack C. Richards 出版社名:Cambridge University Press（ケンブリッジ大学出版） ISBN:9781009040631

[参考書（ISBN）]

科目名	Speaking & Listening Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
実際のコミュニケーションの場で使用される頻度の高い英語の表現や文法を用いて、様々な話題について自分の考えを英語で話す力を身に付けると同時に、語彙力や正しい発音の知識を身に付ける。

[授業概要]
多様な話題について、日常で遭遇しうる様々な場面で自信を持って自分の考えを英語で話したり、相手の発話を聞いて、相手の意図を理解したりできるよう、テキストの題材に基づき、様々な活動を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review previous weeks notes and assignments. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.

各回、予習復習合わせて 2 時間程度

[授業計画]
第1回:オリエンテーション, Unit 1 A world of differenceの聞き取り
第2回:A world of differenceについての自分の意見の発表
第3回:A world of differenceの総括
第4回:Unit 2 The work weekの聞き取り
第5回:The work weekについての自分の意見の発表
第6回:The work weekの総括
第7回:学習したテーマについての復習、スピーキングテスト(1)
第8回:学習した表現の復習、中間試験
第9回:Unit 3 Good times, bad timesの聞き取り
第10回:Good times, bad timesについての自分の意見の発表
第11回:Good times, bad timesの総括
第12回:学習したテーマについての復習、スピーキングテスト(2)
第13回:まとめ
期末試験

科目名	Speaking & Listening Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[成績評価方法]
授業中の態度（ディスカッションへの参加等）(20%) , 課題(10%), スピーキングテスト(50%) プレゼンテーション（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
Students will be evaluated by their ability to speak in English during every class which will be reflected in their participation grade. Students will also be evaluated through speeches by teacher and peer evaluation. There will also be two speaking tests with the teacher that will be graded on how fluently they can respond to questions.

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:Interchange 5th Edition Level 1 Student's Book with Digital Pack 著者名:Jack C. Richards 出版社名:Cambridge University Press（ケンブリッジ大学出版） ISBN:9781009040631

[参考書（ISBN）]

科目名	Speaking & Listening Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
実際のコミュニケーションの場で使用される頻度の高い英語の表現や文法を用いて、様々な話題について自分の考えを英語で話す力を身に付けると同時に、語彙力や正しい発音の知識を身に付ける。

[授業概要]
多様な話題について、日常で遭遇しうる様々な場面で自信を持って自分の考えを英語で話したり、相手の発話を聞いて、相手の意図を理解したりできるよう、テキストの題材に基づき、様々な活動を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Students must complete assigned homework tasks.
They should also prepare for tasks they have to do in class.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
第1回:オリエンテーション, Unit 4 Getting it rightの聞き取り
第2回:Getting it rightについての自分の意見の発表
第3回:Getting it rightの総括
第4回:Unit 5 Our changing worldの聞き取り
第5回:Our changing worldについての自分の意見の発表
第6回:Our changing worldの総括
第7回:学習したテーマについての復習、スピーキングテスト(1)
第8回:学習した表現の復習、中間試験
第9回:Unit 6 What matters to meの聞き取り
第10回:What matters to meについての自分の意見の発表
第11回:What matters to meの総括
第12回:学習したテーマについての復習、スピーキングテスト(2)
第13回:まとめ
期末試験

科目名	Speaking & Listening Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[成績評価方法]
授業中の態度（ディスカッションへの参加等）(20%) , 課題(10%), スピーキングテスト(50%) プレゼンテーション（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
Students will receive feedback in a number of ways. Firstly, they will be given feedback in person during lessons. They will also receive written feedback on writing assignments submitted on Manaba.Students also give and receive feedback in group exercises with their classmates.

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:Interchange 5th Edition Level 1 Student's Book with Digital Pack 著者名:Jack C. Richards 出版社名:Cambridge University Press（ケンブリッジ大学出版） ISBN:9781009040631

[参考書（ISBN）]

科目名	Speaking & Listening Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
実際のコミュニケーションの場で使用される頻度の高い英語の表現や文法を用いて、様々な話題について自分の考えを英語で話す力を身に付けると同時に、語彙力や正しい発音の知識を身に付ける。

[授業概要]
多様な話題について、日常で遭遇しうる様々な場面で自信を持って自分の考えを英語で話したり、相手の発話を聞いて、相手の意図を理解したりできるよう、テキストの題材に基づき、様々な活動を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review previous weeks notes and assignments. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.

各回、予習復習合わせて 2 時間程度

[授業計画]
第1回:オリエンテーション, Unit 1 A world of differenceの聞き取り
第2回:A world of differenceについての自分の意見の発表
第3回:A world of differenceの総括
第4回:Unit 2 The work weekの聞き取り
第5回:The work weekについての自分の意見の発表
第6回:The work weekの総括
第7回:学習したテーマについての復習、スピーキングテスト(1)
第8回:学習した表現の復習、中間試験
第9回:Unit 3 Good times, bad timesの聞き取り
第10回:Good times, bad timesについての自分の意見の発表
第11回:Good times, bad timesの総括
第12回:学習したテーマについての復習、スピーキングテスト(2)
第13回:まとめ
期末試験

科目名	Speaking & Listening Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[成績評価方法]
授業中の態度（ディスカッションへの参加等）(20%) , 課題(10%), スピーキングテスト(50%) プレゼンテーション（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
Students will be evaluated by their ability to speak in English during every class which will be reflected in their participation grade. Students will also be evaluated through speeches by teacher and peer evaluation. There will also be two speaking tests with the teacher that will be graded on how fluently they can respond to questions.

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:Interchange 5th Edition Level 1 Student's Book with Digital Pack 著者名:Jack C. Richards 出版社名:Cambridge University Press（ケンブリッジ大学出版） ISBN:9781009040631

[参考書（ISBN）]

科目名	卒業論文セミナー	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	木村　恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
卒業論文作成を通じて、論理的思考力、分析能力、豊かな表現力、情報処理能力を身につける。

[授業概要]
各自のテーマに沿って卒業論文を完成できるように必要に応じて個別に指導を行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
テーマに合わせて、資料を集め分析し、論文の構成を考える。各章、序論、結論、それぞれあらかじめ下書きをする。

[授業計画]
前期
1. 導入：卒業論文の目的と意義・卒業論文にかかわる諸規定
2. 個別指導：テーマの絞込み
3. 個別指導：テーマの絞込み
4. 個別指導：論文の構成
5. 個別指導：論文の構成
6. 個別指導：一次資料と二次資料
7. 個別指導：一次資料と二次資料
8. 個別指導：テキストの読み込み
9. 個別指導：テキストの読み込み
10. 個別指導：論文執筆上の注意
11. 個別指導：論文執筆上の注意
12. 書式と文献目録作成上の注意
13. 書式と文献目録作成上の注意
後期
1. 中間論文準備指導
2. 個別指導：中間論文フィードバック
3. 個別指導：論文の展開上の注意
4. 個別指導：論文の展開上の注意
5. 個別指導：論文の展開上の注意
6. 個別指導：二次資料の活用
7. 個別指導：二次資料の活用
8. 個別指導：序と結論
9. 個別指導：序と結論
10. 個別指導：論文要旨の作成に向けて
11. 個別指導：論文要旨の作成に向けて
12. 全体指導：校正の方法
13. ゼミ内論文発表

科目名	卒業論文セミナー	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	木村　恵子		

[成績評価方法]
ゼミ内への参加・発表会への取り組み(20%)、卒業論文(80%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
章提出ごとに添削します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-3
／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	卒業論文セミナー	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	坂元　敦子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
卒業論文の作成を通して、論理的思考力、分析能力、豊かな表現力、情報処理能力を身につける。

[授業概要]
各自が選んだ作品について卒業論文を作成する。3年次から行ったリサーチ等を基礎とし、論文を執筆する。論文作成にあたっては問いのたてかた、仮説、先行研究への言及など重要な点がいくつかあるが、中でも論の構成はもっとも重要と考えられるため、最初にこの点について考え、構成を決めるところからスタートする。授業内では発表をおこない、プレゼンテーション能力を高める。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
テーマに合わせて、資料を集め分析し、論文の構成を考える。各章、序論、結論、それぞれあらかじめ下書きをする。各回、予習復習あわせて2時間程度。

[授業計画]
前期
1. イントロダクション
2. 論文執筆に関して　構成①問いをたてる
3. 論文執筆に関して　構成②文献入手と先行研究
4. 論文執筆に関して　構成③自分の論を確認する
5. 論文執筆
6. 論文執筆
7. 論文執筆
8. 発表
9. 発表
10. 論文執筆
11. 論文執筆
12. 論文執筆
13. まとめ

後期
1. 中間報告
2. 中間報告
3. 論文執筆
4. 論文執筆
5. 論文執筆
6. 論文執筆
7. 論文執筆
8. 論文執筆
9. 論文執筆
10. 論文執筆
11. 卒業論文発表
12. 卒業論文発表
13. まとめ

科目名	卒業論文セミナー	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	坂元　敦子		

[成績評価方法]
ゼミ内への参加・発表会への取り組み（20%）、卒業論文（80%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内でおこない、マナバも使用します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：ゼミ内での取り組み、卒業論文

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：ゼミ内での取り組み、卒業論文

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：ゼミ内での取り組み、卒業論文

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：ゼミ内での取り組み、卒業論文

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：ゼミ内での取り組み、卒業論文

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：ゼミ内での取り組み、卒業論文

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：ゼミ内での取り組み、卒業論文

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：ゼミ内での取り組み、卒業論文

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：ゼミ内での取り組み、卒業論文

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：ゼミ内での取り組み、卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：ゼミ内での取り組み、卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：ゼミ内での取り組み、卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：ゼミ内での取り組み、卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：ゼミ内での取り組み、卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：ゼミ内での取り組み、卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：ゼミ内での取り組み、卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：ゼミ内での取り組み、卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：ゼミ内での取り組み、卒業論文

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	卒業論文セミナー	前期～後期	8 単位
サブタイトル	イギリスの文学・文化の研究	演習	
担当者	西出　良郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
卒業論文作成を通じて、論理的思考力、分析能力、豊かな表現力、情報処理能力を身につける。

[授業概要]
論文のテーマを決め、それに沿って調査・研究し、論文構成についてディスカッションをした上、序論、本論と順次作成していく。中間報告は序論・一章・二章くらいまでを完成させて提出し、その後、三章、結論を完成させる。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
テーマに合わせて資料を集め、論文の構成を考える。各章、序論、結論、それぞれあらかじめ下書きをする。各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
前期
1. テーマについてディスカッション
2. テーマ決定
3. . 序論作成①
4. 序論作成②
5. 1章についてのディスカッション
6. 1章について参考文献の提示と研究
7. 1章を作成
8. 1章の完成
9. 2章についてディスカッション
10. 2章について参考文献の提示と研究
11. 2章を作成
12. 2章の完成
13.中間報告にむけてのまとめ

後期
1. 中間報告について
2. 3章についてディスカッション
3. 3章について参考文献の提示と研究
4. 3章について研究
5. 3章を作成
6. 3章を完成
7. 結論についてディスカッション
8. 結論を作成
9. 結論のチェック
10. 卒論の本文を通しでチェック
11. 「卒論の手引き」を元に卒論を完成させる
12. レジュメ作成
13. 卒論提出

科目名	卒業論文セミナー	前期～後期	8 単位
サブタイトル	イギリスの文学・文化の研究	演習	
担当者	西出　良郎		

[成績評価方法]
論文制作の取り組み、論文の内容

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
それぞれのテーマに沿って個別に指導を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：ディスカッション

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：プレゼン

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法：ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	卒業論文セミナー	前期～後期	8 単位
サブタイトル	言語学(英語学)分野の研究論文の作成	演習	
担当者	吉本　真由美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
卒業論文の作成を通して、論理的思考力、分析能力、豊かな表現力、情報処理能力を身につける。

[授業概要]
3回生のゼミで学び、検討した内容をもとに、英語を対象とした研究テーマを立て、その研究成果を論文にまとめていくための指導をおこなう。調査報告会を適宜実施し、教員および受講生どうしのディスカッションを経て各自の考察を深化させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
テーマに合わせて、資料を集め分析し、論文の構成を考える。授業前に下書きをし、授業時の添削やコメントをふまえて、授業後には修正をしておく。
各回の授業についての予習・復習2時間程度。

[授業計画]
前期
1. 卒業論文について—その意義とルール、テーマの絞り方
2. 論文作成の基礎:議論の組み立て方
3. 論文作成の基礎:先行研究の調査と引用のルール
4. 研究テーマ、研究計画の発表会
5. 研究経過報告(1)
6. 研究経過報告(2)
7. 研究経過報告(3)
8. 研究経過報告(4)
9. 議論の構成(1)
10. 議論の構成(2)
11. 議論の構成(3)
12. 前期成果発表会用資料の作成
13. 前期の成果発表会

後期
1. 中間論文発表会(1)
2. 中間論文発表会(2)
3. 論文作成指導(1):本論の執筆
4. 論文作成指導(2):本論の執筆
5. 論文作成指導(3):本論の仕上げ
6. 論文作成指導(4):序論と結論の仕上げ
7. 論文作成指導(5):全体構成の最終調整
8. 最終校正(1)
9. 最終校正(2)
10. 論文の完成、提出
11. 論文要旨作成指導
12. ゼミ内卒業論文発表会
13. 口頭試問

科目名	卒業論文セミナー	前期～後期	8 単位
サブタイトル	言語学(英語学)分野の研究論文の作成	演習	
担当者	吉本　真由美		

[成績評価方法]
ゼミ内での発表やディスカッション(20%)、卒業論文(80%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
発表へのフィードバックは授業内でおこなう。卒業論文の下書きへのフィードバックは添削したものを返却して実施する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：ゼミ内での発表やディスカッション、および卒業論文

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：ゼミ内での発表やディスカッション、および卒業論文

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：ゼミ内での発表やディスカッション、および卒業論文

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：ゼミ内での発表やディスカッション、および卒業論文

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：ゼミ内での発表やディスカッション、および卒業論文

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：ゼミ内での発表やディスカッション、および卒業論文

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：ゼミ内での発表やディスカッション、および卒業論文

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：ゼミ内での発表やディスカッション、および卒業論文

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：ゼミ内での発表やディスカッション

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：ゼミ内での発表やディスカッション、および卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：ゼミ内での発表やディスカッション、および卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：ゼミ内での発表やディスカッション、および卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法：ゼミ内での発表やディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：ゼミ内での発表やディスカッション、および卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：ゼミ内での発表やディスカッション、および卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：ゼミ内での発表やディスカッション、および卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：ゼミ内での発表やディスカッション、および卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：ゼミ内での発表やディスカッション、および卒業論文

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	TOEIC Training Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	中村　英江		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英検2級合格、TOEIC 500点

[授業概要]
これは英語の資格試験に備えるための授業です。主として、TOEIC(・英検)の準備をします。
文法・語彙の学習を徹底することで、さらなるスキルアップを目指します。
授業では、資格試験の問題に取り組み、問題の解説を行う、という流れで進めていきます。語彙力・文法力については授業で取り組んだ範囲についての小テストを次回の授業の最初に行い、セメスター中にWeb testを実施し、実際のTOEICに備えます。
授業外でのe-learning学習と授業の予習・復習にまじめに取り組むことで基礎力を築き、実際に問題を解いていくことで、自らの到達度や弱点を正確に把握して学習する習慣を身につけます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
①毎日欠かさず英語に触れる時間を確保しておく(e-learning等も十分に活用すること)。
②自分の学習状況のレビュー(とくに改善点の確認)に十分な時間を費やす。

[授業計画]
1. Introduction
2. Unit 1 (1)
3. Unit 1 (2)
4. Unit 2 (1)
5. Unit 2 (2)
6. Web Test (1)
7. Unit 3 (1)
8. Unit 3 (2)
9. Unit 4
10. Web Test (2)
11. Unit 5
12. Review
13. TOEIC Bridge IP 試験

科目名	TOEIC Training Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	中村　英江		

[成績評価方法]
Web Test (20%)、TOEIC・英検 (20%)、授業への参加 (60%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:TOEIC? TEST Trainer Target 650, Revised Edition 著者名:Masahiko Yamaguchi, Hiroko Matsuura, Michael Howard Maesaka, George W. Pifer 出版社名:Cengage Learning ISBN:9784863122741

[参考書(ISBN)]

科目名	TOEIC Training Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	西出　良郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英検2級合格、TOEIC 500点

[授業概要]
これは英語の資格試験に備えるための授業です。主として、TOEIC(・英検)の準備をします。
文法・語彙の学習を徹底することで、さらなるスキルアップを目指します。
授業では、資格試験の問題に取り組み、問題の解説を行う、という流れで進めていきます。語彙力・文法力については授業で取り組んだ範囲についての小テストを次回の授業の最初に行い、セメスター中にWeb testを実施し、実際のTOEICに備えます。
授業外でのe-learning学習と授業の予習・復習にまじめに取り組むことで基礎力を築き、実際に問題を解いていくことで、自らの到達度や弱点を正確に把握して学習する習慣を身につけます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
①毎日欠かさず英語に触れる時間を確保しておく(e-learning等も十分に活用すること)。
②自分の学習状況のレビュー(とくに改善点の確認)に十分な時間を費やす。

[授業計画]
1. Introduction
2..Section 1
3. Section 2
4. Section 3
5. Section 4
6. Web Test (1)
7. Section 5
8. Section 6
9. Section 7
10. Section 8
11. Section 9
12. Section 10
13. TOEIC Bridge IP 試験

科目名	TOEIC Training Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	西出　良郎		

[成績評価方法]
Web Test (20%)、TOEIC・英検 (20%)、授業への参加 (60%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:公式TOEIC Listening & Reading トレーニング 2　リーディング編 著者名:ETS 出版社名:国際ビジネスコミュニケーション協会 ISBN:978-4906033737

[参考書(ISBN)]

科目名	TOEIC Training Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	中村　英江		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英検2級合格、TOEIC 500点

[授業概要]
これは英語の資格試験に備えるための授業です。主として、TOEIC(・英検)の準備をします。
文法・語彙の学習を徹底することで、さらなるスキルアップを目指します。
授業では、資格試験の問題に取り組み、問題の解説を行う、という流れで進めていきます。語彙力・文法力については授業で取り組んだ範囲についての小テストを次回の授業の最初に行い、セメスター中に2回のWeb testを実施し、実際のTOEICに備えます。
授業外でのe-learning学習と授業の予習・復習にまじめに取り組むことで基礎力を築き、実際に問題を解いていくことで、自らの到達度や弱点を正確に把握して学習する習慣を身につけます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
①毎日欠かさず英語に触れる時間を確保しておく(e-learning等も十分に活用すること)。
②自分の学習状況のレビュー(とくに改善点の確認)に十分な時間を費やす。

[授業計画]
1. Unit 6 (1)
2. Unit 6 (2)
3. Unit 7 (1)
4. Unit 7 (2)
5. Web Test (1)
6. Unit 8
7. Unit 9
8. Unit 10
9. Unit 11
10. Web Test (2)
11. Unit 12
12. review
13. Speech ContestにAudienceとして参加

科目名	TOEIC Training Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	中村　英江		

[成績評価方法]
Web Test (20%)、TOEIC・英検 (20%)、授業への参加 (60%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:TOEIC? TEST Trainer Target 650, Revised Edition 著者名:Masahiko Yamaguchi, Hiroko Matsuura, Michael Howard Maesaka, George W. Pifer 出版社名:Cengage Learning ISBN:9784863122741

[参考書(ISBN)]

科目名	TOEIC Training Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	西出　良郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英検2級合格、TOEIC 500点

[授業概要]
これは英語の資格試験に備えるための授業です。主として、TOEIC(・英検)の準備をします。
文法・語彙の学習を徹底することで、さらなるスキルアップを目指します。
授業では、資格試験の問題に取り組み、問題の解説を行う、という流れで進めていきます。語彙力・文法力については授業で取り組んだ範囲についての小テストを次回の授業の最初に行い、セメスター中に2回のWeb testを実施し、実際のTOEICに備えます。
授業外でのe-learning学習と授業の予習・復習にまじめに取り組むことで基礎力を築き、実際に問題を解いていくことで、自らの到達度や弱点を正確に把握して学習する習慣を身につけます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
①毎日欠かさず英語に触れる時間を確保しておく(e-learning等も十分に活用すること)。
②自分の学習状況のレビュー(とくに改善点の確認)に十分な時間を費やす。

[授業計画]
1. Section 11
2..Section 12
3. Section 13
4. Section 14
5. Section 15
6. Section 16
7. Web Test (1)
8. Section 17
9. Section 18
10. Section 19
11. Web Test (2)
12. Section 20
13. Speech ContestにAudienceとして参加

科目名	TOEIC Training Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	西出　良郎		

[成績評価方法]
Web Test (20%)、TOEIC・英検 (20%)、授業への参加 (60%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	TOEIC Training Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	TOEIC ,英検などの対策。	演習	
担当者	坂元　敦子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
TOEIC600点

[授業概要]
この授業ではTOEICの問題を数多く解くことにより、テストの形式に慣れ、より高得点を取得することを目指す。テキストは交通、飲食店、ビジネス、コミュニケーション等の身近なトピックにわかれているので、英語圏の文化に親しみながら勉強することができる。なお、TOEIC頻出単語・熟語リストも授業で使用する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
1. 毎日欠かさず英語に触れる時間を確保する。(e-learning等も十分に活用する。)
2. 自分の学習状況のレビューに十分な時間を費やす。

[授業計画]
1. イントロダクション
2. Transportation and Information
3. Instructions and Explanations
4. Eating and Drinking
5. Web Test
6. Business Scene
7. Communication
8. Socializing
9. Web Test
10. Invitation
11. Extra Test 1
12. Extra Test 2
13. まとめ

科目名	TOEIC Training Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	TOEIC ,英検などの対策。	演習	
担当者	坂元　敦子		

[成績評価方法]
Web testの結果（20%）、英検・TOEICの結果（20%）、授業への参加（60%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で実施し、マナバも使用します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：Web Test、TOEIC・英検

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：授業への参加

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：TOEIC・英検、授業への参加

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業への参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：Web Test、TOEIC・英検

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：Web Test、TOEIC・英検、授業への参加

[教科書（ISBN）]
書籍名:Start-Up Course for the TOEIC L&R TestR 著者名:Nagaki Kitayama 出版社名:成美堂 ISBN:978-4-7919-3420-1

[参考書（ISBN）]
書籍名:授業中に指示します 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	TOEIC Training Ⅳ	後期	1 単位
サブタイトル	TOEIC ,英検などの対策。	演習	
担当者	坂元　敦子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
TOEIC600点

[授業概要]
この授業ではTOEICの問題を数多く解くことにより、テストの形式に慣れ、より高得点を取得することを目指す。テキストは交通、飲食店、ビジネス、コミュニケーション等の身近なトピックにわかれているので、英語圏の文化に親しみながら勉強することができる。なお、TOEIC頻出単語・熟語リストも授業で使用する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
1. 毎日欠かさず英語に触れる時間を確保する。(e-learning等も十分に活用する。)
2. 自分の学習状況のレビューに十分な時間を費やす。

[授業計画]
1. イントロダクション
2. Invitation
3. Medical Treatment
4. Culture and Entertainment
5. Web Test
6. Culture and Entertainment
7. Shopping
8. Shopping
9. Web Test
10. Sports and Exercise
11. Sports and Exercise
12. Trouble and Claims
13. まとめ

科目名	TOEIC Training Ⅳ	後期	1 単位
サブタイトル	TOEIC ,英検などの対策。	演習	
担当者	坂元　敦子		

[成績評価方法]
Web testの結果（20%）、英検・TOEICの結果（20%）、授業への参加（60%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で実施し、マナバも使用します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：Web Test、TOEIC・英検

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：授業への参加

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：TOEIC・英検、授業への参加

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業への参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：Web Test、TOEIC・英検

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：Web Test、TOEIC・英検、授業への参加

[教科書（ISBN）]
書籍名:Start-Up Course for the TOEIC L&R TestR 著者名:Nagaki Kitayama 出版社名:成美堂 ISBN:978-4-7919-3420-1

[参考書（ISBN）]
書籍名:授業中に指示します 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	発音トレーニングA	前期	1 単位
サブタイトル	英語の発音の理解と習得	演習	
担当者	立石　浩一		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英語の発音の仕組みを理解し、習得すると同時に、発音記号についての知識を得る。アメリカ英語の発音を学ぶとともに、イギリス英語との違いについても理解する。

[授業概要]
発音訓練を通じて、より英語の母語話者に近い英語発音をマスターする。モデルとするのは一般アメリカ英語(General American English)だが、その他の母語変種に関する事項も適宜取り入れる。
唇や舌の動かし方から発声法、そしてリズムの取り方まで、あらゆる側面から日本語との違いを確認しながら訓練を進めていく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
テキストにしたがって予習復習(2時間程度)をした上で授業に臨むこと。定期的に発音の小テストをおこなうので練習を積むこと。予習課題を出す場合があるので、自発的に努力すること。

[授業計画]
105分の使い方は原則下記のようなものとし、毎回の内容に応じて微調整する。

15分　前回のおさらい(発音課題について発表)
10分 内容1について説明
15分 内容1の練習
10分 文の中で読んでみる
10分 内容2について説明
15分 内容2の練習
10分 文の中で読んでみる
15分 振り返り課題を練習し、学びを強化
5分 まとめ、課題の提示

毎回の授業の計画は下記の通りである。

言語の音声とは
1　Lesson 2-3 Speech Organs, Speech Sounds(世界の英語、発音に使われる器官、言語音声の種類))
プロゾディ
2　Lesson 4-6 Word Stress, Sentence Rhythm, Intonation(ストレス(強勢)、英語のリズムとイントネーション)
英語の子音
3　Lesson 7-8 [p]-[b], [t]-[d] (両唇および歯茎閉鎖音)
4　Lesson 9-10 [k]-[g], [f]-[v](軟口蓋閉鎖音および唇歯摩擦音)
5　Lesson 11-12 [θ]-[ð], [s]-[z](歯および歯茎摩擦音)
6　Lesson 13-14 [ʃ]-[ʒ], [ʧ]-[ʤ](硬口蓋歯茎音)
7　Lesson 15-16 [m]-[n]-[ŋ], [r]-[l](鼻音と流音)
8　Lesson 17-18 [h], [j]-[w]-[hw](半母音と声門摩擦音)
英語の母音
9　Lesson 19-20　[iː]-[ɪ], [uː]-[ʊ](高母音)
10　Lesson 21-22[ɛ]-[æ]-[eɪ], [oʊ]-[oː](中高および中低母音)、期末課題提示
11　Lesson 23-24 [ɑː]-[ɑ]-[ʌ], [aɪ]-[aʊ]-[ɔɪ](低母音と低母音から始まる二重母音)
12　Lesson 25-26 [əː]-[ɑə]-[ɔə], [ɪə]-[ɛə]-[ʊə](rを伴う母音とそれで終わる二重母音)
総まとめ
13　Lesson 1 World Englishes, 授業の振り返りと音読課題発表

テキストの順番と進み方を少し変えています。授業計画と授業中の指示に従って下さい。

科目名	発音トレーニングA	前期	1 単位
サブタイトル	英語の発音の理解と習得	演習	
担当者	立石　浩一		

[成績評価方法]
知識確認のための課題(Kiss System利用) 30%　音声を利用した小課題(授業内) 30%　最終音読発表課題　40%□

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
知識を確認する課題は、毎回Kiss Systemを利用して行い、次回授業で解説する。
発音課題は、前回授業で内容を提示し、次回授業冒頭で発表する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：毎回および学期末の発音課題において確認する。

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：毎回および学期末の発音課題において確認する。

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：授業間にKiss Systemに提示される小テスト課題を使って確認する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への参加度を課題等の状況で確認する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：最終音読課題において、それだけの英語能力がついているかどうかを確認する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：知識を問う小テスト課題において理解度を測る。

[教科書(ISBN)]
書籍名:アメリカ英語の発音教本 著者名:津田塾大学英語英文学科 出版社名:研究社 ISBN:9784327401764

[参考書(ISBN)]

科目名	発音トレーニングB	後期	1 単位
サブタイトル	英語の発音の理解と習得	演習	
担当者	立石　浩一		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英語の発音の仕組みを理解し、習得すると同時に、発音記号についての知識を得る。アメリカ英語の発音を学ぶとともに、イギリス英語との違いについても理解する。

[授業概要]
発音訓練を通じて、より英語の母語話者に近い英語発音をマスターする。モデルとするのは一般アメリカ英語(General American English)だが、その他の母語変種に関する事項も適宜取り入れる。
唇や舌の動かし方から発声法、そしてリズムの取り方まで、あらゆる側面から日本語との違いを確認しながら訓練を進めていく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
テキストにしたがって予習復習(2時間程度)をした上で授業に臨むこと。定期的に発音の小テストをおこなうので練習を積むこと。予習課題を出す場合があるので、自発的に努力すること。

[授業計画]
105分の使い方は原則下記のようなものとし、毎回の内容に応じて微調整する。

15分　前回のおさらい(発音課題について発表)
10分 内容1について説明
15分 内容1の練習
10分 文の中で読んでみる
10分 内容2について説明
15分 内容2の練習
10分 文の中で読んでみる
15分 振り返り課題を練習し、学びを強化
5分 まとめ、課題の提示

毎回の授業の計画は下記の通りである。

言語の音声とは
1　Lesson 2-3 Speech Organs, Speech Sounds(世界の英語、発音に使われる器官、言語音声の種類))
プロゾディ
2　Lesson 4-6 Word Stress, Sentence Rhythm, Intonation(ストレス(強勢)、英語のリズムとイントネーション)
英語の子音
3　Lesson 7-8 [p]-[b], [t]-[d] (両唇および歯茎閉鎖音)
4　Lesson 9-10 [k]-[g], [f]-[v](軟口蓋閉鎖音および唇歯摩擦音)
5　Lesson 11-12 [θ]-[ð], [s]-[z](歯および歯茎摩擦音)
6　Lesson 13-14 [ʃ]-[ʒ], [ʧ]-[ʤ](硬口蓋歯茎音)
7　Lesson 15-16 [m]-[n]-[ŋ], [r]-[l](鼻音と流音)
8　Lesson 17-18 [h], [j]-[w]-[hw](半母音と声門摩擦音)
英語の母音
9　Lesson 19-20 [iː]-[ɪ], [uː]-[ʊ](高母音)
10　Lesson 21-22 [ɛ]-[æ]-[eɪ], [oʊ]-[ɔː](中高および中低母音)、期末課題提示
11　Lesson 23-24 [ɑː]-[ɑ]-[ʌ], [aɪ]-[aʊ]-[ɔɪ](低母音と低母音から始まる二重母音)
12　Lesson 25-26 [əː]-[ɑə]-[ɔə], [ɪə]-[ɛə]-[ʊə](rを伴う母音とそれで終わる二重母音)
総まとめ
13　Lesson 1 World Englishes, 授業の振り返りと音読課題発表

テキストの順番と進み方を少し変えています。授業計画と授業中の指示に従って下さい。

科目名	発音トレーニングB	後期	1 単位
サブタイトル	英語の発音の理解と習得	演習	
担当者	立石　浩一		

[成績評価方法]
知識確認のための課題(Kiss System利用) 30%　音声を利用した小課題(授業内) 30%　最終音読発表課題　40%□

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
知識を確認する課題は、毎回Kiss Systemを利用して行い、次回授業で解説する。
発音課題は、前回授業で内容を提示し、次回授業冒頭で発表する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：毎回および学期末の発音課題において確認する。

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：毎回および学期末の発音課題において確認する。

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：授業間にKiss Systemに提示される小テスト課題を使って確認する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への参加度を課題等の状況で確認する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：最終音読課題において、それだけの英語能力がついているかどうかを確認する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：知識を問う小テスト課題において理解度を測る。

[教科書(ISBN)]
書籍名:アメリカ英語の発音教本 著者名:津田塾大学英語英文学科 出版社名:研究社 ISBN:9784327401764

[参考書(ISBN)]

科目名	Practical Cross-Cultural Communication	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	J. ファハード		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	O	グループワーク	O
プレゼンテーション	O	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Students will have a greater understanding of their own and other countries' communication styles. They will speak with people of foreign cultures through online sessions to practice using more authentic, natural English in conversation.

[授業概要]
Students will discuss various topics together and with foreigners in English. They will also write a report and make a presentation about what they learned from speaking with foreigners.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Students will prepare interview questions. They will practice delivering them, and they will prepare reports on what they learned from their foreign partners.

[授業計画]
1. Orientation, Unit 1: Communication
2. Unit 2: Culture
3. Unit 4: Communicating clearly
4. Unit 5: Culture and values
5. Unit 6: Culture and perception
6. Unit 7: Diversity
7. Unit 8: Stereotypes
8. Unit 9: Culture shock
9. Unit 10: Culture and Change
10. Unit 11: Talking about Japan
11. Unit 12: Becoming a global person
12. Presentation preparation
13. Final presentations

** Schedule will change depending on when online sessions with foreigner students can be scheduled.

科目名	Practical Cross-Cultural Communication	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	J. ファハード		

[成績評価方法]
Class attitude 20%, Interview preparation 10%, interview participation 20%, presentations 20% written reports 30%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will write reports on what they learned from students from different cultures and then have a presentation on the information they compiled over the course of a semester.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:English only discussions, interviews

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:interviews, reports, presentations

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:readings, English only discussions

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:interviews, English only discussions

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:presentations, reports, interviews

学科DP番号／DP内容:英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法:readings, English only discussions

学科DP番号／DP内容:英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法:interviews, presentations, discussions

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, reports, presentations, interviews

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, reports, presentations, interviews

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, reports, presentations, interviews

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, reports, presentations, interviews

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:English only discussions, reports, presentations, interviews

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:English only discussions, reports, presentations, interviews

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:English only discussions, reports, presentations, interviews

[教科書(ISBN)]
書籍名:speaking of intercultural communication 著者名:peter vincent 出版社名:NAN' UN-DO ISBN:978-4-523-17840-8

S31145 [LEH3-015]

科目名	プレセミナーA	前期	2 単位
サブタイトル	Cross-cultural Communication, 異文化理解、異文化コミュニケーション	演習	
担当者	前田　葵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
The goal of this class is for students to be part of a positive force of globalization.

[授業概要]
In this course, students will explore and learn how to communicate with people from all over the world. The influx of culture can enrich us but also cause misunderstandings. How can we communicate with people from different backgrounds? How can we learn to appreciate the differences? How do we respect others? These are some of the questions that must be addressed in this day of age.
Every week, we will discuss not only the differences between cultures but also what we learn about ourselves from those differences.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1 Introduction
2 Understanding intercultural communication
3 What is identity?
4 Talking about Culture (Values)
5 Talking about Culture (Appearance)
6 Talking about Culture (Personality)
7 Talking about Culture (Customs)
8 Talking about your reaction
9 Talking about your prediction
10 Talking about Japan
11 Talking about Japan
12 Talking about yourself
13 Becoming a Global Person

科目名	プレセミナーA	前期	2 単位
サブタイトル	Cross-cultural Communication, 異文化理解、異文化コミュニケーション	演習	
担当者	前田　葵		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manaba を通じて講評をフィードバックする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：Presentation and final assessment

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：Active participation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：Final Assessment

[教科書(ISBN)]
書籍名:Movie Time! 英語で書こう！映画ジャーナル 著者名:Eric Bray 出版社名:南雲堂 ISBN:9784523177081

[参考書(ISBN)]

科目名	プレセミナーA	後期	2 単位
サブタイトル	Cross-cultural Communication, 異文化理解、異文化コミュニケーション	演習	
担当者	前田　葵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
The goal of this class is for students to be part of a positive force of globalization.

[授業概要]
In this course, students will explore and learn how to communicate with people from all over the world. The influx of culture can enrich us but also cause misunderstandings. How can we communicate with people from different backgrounds? How can we learn to appreciate the differences? How do we respect others? These are some of the questions that must be addressed in this day of age.
Every week, we will discuss not only the differences between cultures but also what we learn about ourselves from those differences.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1 Introduction
2 Understanding intercultural communication
3 What is identity?
4 Talking about Culture (Values)
5 Talking about Culture (Appearance)
6 Talking about Culture (Personality)
7 Talking about Culture (Customs)
8 Talking about your reaction
9 Talking about your prediction
10 Talking about Japan
11 Talking about Japan
12 Talking about yourself
13 Becoming a Global Person

科目名	プレセミナーA	後期	2 単位
サブタイトル	Cross-cultural Communication, 異文化理解、異文化コミュニケーション	演習	
担当者	前田　葵		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manaba を通じて講評をフィードバックする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：Presentation and Final Assessment

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：Active Participation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：Final Assessment

[教科書(ISBN)]
書籍名:Movie Time! 英語で書こう！映画ジャーナル 著者名:Eric Bray 出版社名:南雲堂 ISBN:9784523177081

[参考書(ISBN)]

科目名	プレセミナーB	前期	2 単位
サブタイトル	シェイクスピア入門	演習	
担当者	西出　良郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
シェイクスピアの作品に触れる

[授業概要]
シェイクスピアが活躍したのは、今から400年前のロンドン。ことばも文化も風習も現代のイギリスと違っているところもありますが、それを理解すれば私たち現代日本に生きるものにも訴えかけるものを持っています。セミナーでは、『ロミオとジュリエット』を取り上げ、言葉や文化について解説を加えながら、シェイクスピアの原文を楽しみたいと思います。シェイクスピアは現代のポップカルチャーにも影響を与えています。漫画や映画、ミュージカルなどへの翻案も紹介します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業を受ける前にさっと目を通しておくべき部分と、辞書をつかってしっかり調べる部分を指定します。授業では、各パートの読みどころを中心に語彙、文法、文体に注意を払いながら読んでいきます。各回予復習会わせて1－2時間程度。

[授業計画]
1 作品の概要、予習の仕方の説明
2 Act 1 (1)
3 Act 1 (2)
4 Act 2 (1)
5 Act 2 (2)
6 Act 3 (1)
7 Act 3 (2)
8 Act 4 (1)
9 Act 4 (2)
10 Act 5 (1)
11 Act 5 (2)
12 ミュージカル
13 サブカルチャー

科目名	プレセミナーB	前期	2 単位
サブタイトル	シェイクスピア入門	演習	
担当者	西出　良郎		

[成績評価方法]
(1)授業中のコメント、プレゼン50%
(2)期末レポート50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaやメール等でおこなう

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：語彙が増えたかを評価する

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：初期近代英国の社会についての知識が身についたかを評価する

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：レポートにより評価

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：レポートにより評価

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：レポートにより評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業中のプレゼン

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：グループ発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法：グループ発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：他学生のプレゼンへの反応

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポートにより評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポートにより評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポートにより評価

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	プレセミナーB	後期	2 単位
サブタイトル	シェイクスピア入門	演習	
担当者	西出　良郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
シェイクスピアの作品に触れる

[授業概要]
シェイクスピアが活躍したのは、今から400年前のロンドン。ことばも文化も風習も現代のイギリスと違っているところもありますが、それを理解すれば私たち現代日本に生きるものにも訴えかけるものを持っています。セミナーでは、『ロミオとジュリエット』を取り上げ、言葉や文化について解説を加えながら、シェイクスピアの原文を楽しみたいと思います。シェイクスピアは現代のポップカルチャーにも影響を与えています。漫画や映画、ミュージカルなどへの翻案も紹介します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業を受ける前にさっと目を通しておくべき部分と、辞書をつかってしっかり調べる部分を指定します。授業では、各パートの読みどころを中心に語彙、文法、文体に注意を払いながら読んでいきます。各回予復習会わせて1－2時間程度。

[授業計画]
1 作品の概要、予習の仕方の説明
2 Act 1 (1)
3 Act 1 (2)
4 Act 2 (1)
5 Act 2 (2)
6 Act 3 (1)
7 Act 3 (2)
8 Act 4 (1)
9 Act 4 (2)
10 Act 5 (1)
11 Act 5 (2)
12 ミュージカル
13 サブカルチャー

科目名	プレセミナーB	後期	2 単位
サブタイトル	シェイクスピア入門	演習	
担当者	西出　良郎		

[成績評価方法]
(1)授業中のコメント、プレゼン50%
(2)期末レポート50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaやメール等でおこなう

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：語彙が増えたかを評価する

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：初期近代英国の社会についての知識が身についたかを評価する

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：レポートにより評価

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：レポートにより評価

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：レポートにより評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業中のプレゼン

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：グループ発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法：グループ発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：他学生のプレゼンへの反応

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポートにより評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポートによる

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：プレゼンおよびレポート

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	プレセミナーC	前期	2 単位
サブタイトル	オスカー・ワイルドの童話を読む。	演習	
担当者	野末　紀之		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・文学テキストの精読の仕方を習得する。
・作品の重層性や複雑さに着目する。
・作品がどのような歴史的、社会的背景のもとで書かれたを知る。
・疑問点を見つけ、そこからレポートや論文へと発展する方法を学ぶ。

[授業概要]
オスカー・ワイルドの童話集『幸福な王子とその他の童話』(1888)から4篇を読みます。一般に童話では、道徳的教訓が打ちだされていたり、幸せな結末になっていたりすることが多いのですが、ワイルドの作品は必ずしもそうではありません。あるいは、一見すると「童話らしい」と思えても、別の観点からそれを相対化するような側面がまぎれ込んでいます。翻訳と注、文献を参照しながら原文を丁寧にたどることで、それらのもつ重層性や陰影、当時の社会への風刺やユーモア、言葉の通常の意味の「ずらし」や物語の定型の「ひねり」などの要素をすくい取りながら、それらを「大人向け」作品として読んでいきます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・岩波文庫、新潮文庫、光文社文庫など、翻訳は数種類あるので、あらかじめ読んでおくこと。
・英文テキストを精読すること。
・英文テキストの注ではわからない単語、表現は辞書を引いて調べておく。
・受講生は、あらすじ、疑問、コメント、先行研究などについて報告を行なう。

[授業計画]
1 19世紀イギリスの童話、ワイルドの童話
2 「幸福な王子」読解(1)
3 「幸福な王子」読解(2)および解釈(1)
4 「幸福な王子」解釈(2)
5 「ナイティンゲールとばら」読解(1)
6 「ナイティンゲールとばら」読解(2)および解釈(1)
7 「ナイティンゲールとばら」解釈(2)
8 「わがままな巨人」読解
9 「わがままな巨人」解釈
10 「忠実な友人」読解(1)
11「忠実な友人」読解(2)および解釈(1)
12「忠実な友人」解釈(2)
13 まとめと展望

科目名	プレセミナーC	前期	2 単位
サブタイトル	オスカー・ワイルドの童話を読む。	演習	
担当者	野末　紀之		

[成績評価方法]
授業への貢献(20%)、授業内の発表(20%)、レポート(60%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
発表へのフィードバックは授業中に行なう。レポートについてはコメントを書き入れたものを返却する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:幸福な王子 著者名:Oscar Wilde 出版社名:英宝社 ISBN:9784269011304 C1082

[参考書(ISBN)]

科目名	プレセミナーD	後期	2 単位
サブタイトル	オスカー・ワイルドの童話を読む。	演習	
担当者	野末　紀之		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・文学テキストの精読の仕方を習得する。
・作品の重層性や複雑さに着目する。
・作品がどのような歴史的、社会的背景のもとで書かれたを知る。
・疑問点を見つけ、そこからレポートや論文へと発展する方法を学ぶ。

[授業概要]
オスカー・ワイルドの童話集『幸福な王子とその他の童話』(1888)から4篇を読みます。一般に童話では、道徳的教訓が打ちだされていたり、幸せな結末になっていたりすることが多いのですが、ワイルドの作品は必ずしもそうではありません。あるいは、一見すると「童話らしい」と思えても、別の観点からそれを相対化するような側面がまぎれ込んでいます。翻訳と注、文献を参照しながら原文を丁寧にたどることで、それらのもつ重層性や陰影、当時の社会への風刺やユーモア、言葉の通常の意味の「ずらし」や物語の定型の「ひねり」などの要素をすくい取りながら、それらを「大人向け」作品として読んでいきます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・岩波文庫、新潮文庫、光文社文庫など、翻訳は数種類あるので、あらかじめ読んでおくこと。
・英文テキストを精読すること。
・英文テキストの注ではわからない単語、表現は辞書を引いて調べておく。
・受講生は、あらすじ、疑問、コメント、先行研究などについて報告を行なう。

[授業計画]
1 19世紀イギリスの童話、ワイルドの童話
2 「幸福な王子」読解(1)
3 「幸福な王子」読解(2)および解釈(1)
4 「幸福な王子」解釈(2)
5 「ナイティンゲールとばら」読解(1)
6 「ナイティンゲールとばら」読解(2)および解釈(1)
7 「ナイティンゲールとばら」解釈(2)
8 「わがままな巨人」読解
9 「わがままな巨人」解釈
10 「忠実な友人」読解(1)
11「忠実な友人」読解(2)および解釈(1)
12「忠実な友人」解釈(2)
13 まとめと展望

科目名	プレセミナーD	後期	2 単位
サブタイトル	オスカー・ワイルドの童話を読む。	演習	
担当者	野末　紀之		

[成績評価方法]
授業への貢献(20%)、授業内の発表(20%)、レポート(60%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
発表へのフィードバックは授業中に行なう。レポートについてはコメントを書き入れたものを返却する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業への貢献、授業内の発表、レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:幸福な王子 著者名:Oscar Wilde 出版社名:英宝社 ISBN:9784269011304 C1082

[参考書(ISBN)]

科目名	プレセミナーH	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
留学に必要な英語運用能力を身に着けるとともに、ハワイの事情に精通して多角的なものの見方ができるようにする。

[授業概要]
【メディア授業】
ハワイの歴史を伝統を知り、英語のベーシックスキルを養ってプログラムが始まった時に戸惑うことなく留学生活をスタートさせられるように態勢を整える。安全で心身ともに健康な生活が送れるように保険、栄養、心理の各分野の専門家から講義を受け、さらにハワイ大学から派遣されている教員からもオリエンテーションを受けることにより、現在のハワイ(大学・社会・文化を含む)の情報を得る。このように、さまざまな方法で留学準備をしながら、受講生の英語運用能力を高め、自らの考えを英語で発信しするとともに説得力のある説明ができるようにする。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
①授業を欠席しない。(時間厳守)②与えられた課題は必ず提出する。③毎日かかさず英語に触れる時間は確保する。各回、予習、復習、課題を合わせて4時間程度。

[授業計画]
1. ハワイセメスター留学の概要について
2. 自己紹介の仕方
3. 寮・大学の規律・日常生活について
4. Placement Testを意識した勉強方法とは
5. メンタルチェック(リスク・マネージメント)
6. 渡航手続き・危機管理について
7. 食と健康について
8. 体の安全と衛生について
9. ハワイについて書かれた本を読みレポートを提出
10. ファハード先生によるオリエンテーション
11. スピーチ原稿の作成
12. スピーチの練習
13. 結団式

科目名	プレセミナーH	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[成績評価方法]
授業中の取り組み(40%)、レポート(40%)、発表(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:レポート及び発表

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:レポート及び発表

学科DP番号／DP内容:英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法:レポート及び発表

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:レポート及び発表

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:レポート及び発表

学科DP番号／DP内容:英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法:レポート及び発表

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:レポート及び発表

学科DP番号／DP内容:英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法:レポート及び発表

学科DP番号／DP内容:英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法:レポート及び発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:レポート及び発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:レポート及び発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート及び発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート及び発表

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	文化・文学・語学セミナーⅠ	前期	2 単位
サブタイトル	シャーロック・ホームズ物語（短篇）を読む。	演習	
担当者	野末　紀之		

［アクティブラーニング授業］

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

［ 到達目標 ］
専門分野の研究方法を理解し、関連する文献を読み込む能力を養い、卒業論文につながる研究テーマを見つけていく。

［ 授業概要 ］
コナン・ドイル作シャーロック・ホームズ物語のうち、おもに1890年代に発表された短篇を当時の文化や社会との関連で読む。現在にいたるまで繰り返し映画化されテレビドラマ化され、あるいはパロディ化されてきた作品をいくつか取上げ、19世紀末のイギリス文化や社会事情、ほかの文学作品との関連などを視野に入れながら、さまざまな角度から考察してゆく。随時、映像資料を使用する予定。なお、取上げる作品は必要に応じて変更する場合がある。

［ 準備学修（予習・復習）の内容・時間 ］
・翻訳（文庫で入手可能）をあらかじめ読んでおくこと。
・英文テキストを精読すること。
・疑問点、コメントなどを用意しておくこと。
・不明な単語や表現は辞書を引いて調べておくこと。
・各回の担当者はジュメを用意し、あらすじ、疑問点、コメント、先行研究などについて報告する。指定された箇所の説明ができるように準備する。
各回、予習復習合わせて2時間程度

［ 授業計画 ］
1. イントロダクション～コナン・ドイルとホームズ物語
2.「赤毛組合」を読む
3.「赤毛組合」とイギリス文化/社会
4.「花婿失踪事件」（'A Case of Identity'）を読む
5.「花婿失踪事件」とイギリス文化/社会
6.「独身貴族」を読む
7.「独身貴族」とイギリス文化/社会
8. 中間まとめと質疑応答、小レポート作成のためのアドバイス
9.「黄色い顔」を読む
10.「黄色い顔」とイギリス文化/社会
11.「背中の曲がった男」を読む
12.「背中の曲がった男」とイギリス文化/社会
13. まとめと質疑応答、期末レポート作成のためのアドバイス

科目名	文化・文学・語学セミナーⅠ	前期	2 単位
サブタイトル	シャーロック・ホームズ物語（短篇）を読む。	演習	
担当者	野末　紀之		

[成績評価方法]
授業への取り組み（20%）、授業中の発表（20%）、期末レポート（60%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中の報告のフィードバックは授業中に行なう。レポートについては、manabaを利用し、コメントを付して返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：授業への貢献（20%）、報告（20%）、レポート（60%）

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	文化・文学・語学セミナーⅠ	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ演劇・アメリカ文化・アメリカの社会	演習	
担当者	坂元　敦子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
専門分野の研究手法を理解し、関連する文献を読み込む能力を養い、卒業論文につながる研究テーマを見つけていく。

[授業概要]
アメリカ文学作品を読んだり映画を見たりしながら、アメリカの文化や社会、歴史について学び、考える。最初に代表的なアメリカ文学作品を紹介し、その後はさまざまな作品を読んだり鑑賞したりし、各自が興味を持ったアメリカ文学作品についてリサーチする。ゼミで自分の選んだ作品を紹介し、テーマ等についての発表も行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
発表担当者はレジュメを用意し、発表の準備をする。各回、予習復習あわせて2時間程度。

[授業計画]
1. イントロダクション/課題と発表について説明
2. アメリカについて―歴史を概観する
3. アメリカについて―その社会
4. アメリカ文学の代表的な作品を紹介する
5. アメリカ文学の代表的な作品を紹介する
6. 映画化されたアメリカ文学作品
7. 映画化されたアメリカ文学作品
8. 映画化されたアメリカ文学作品
9. アメリカ文学作品についてリサーチする
10. アメリカ文学作品についてリサーチする
11. 作品を選び発表する
12. 作品を選び発表する
13. まとめ

科目名	文化・文学・語学セミナーⅠ	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ演劇・アメリカ文化・アメリカの社会	演習	
担当者	坂元　敦子		

[成績評価方法]
授業への取り組み（30%）、授業中の発表（30%）、レポート（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で実施し、マナバでもおこないます。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身につけている。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	文化・文学・語学セミナーⅠ	前期	2 単位
サブタイトル	20 世紀のアメリカ女性たち―自分らしい自由な生き方を求めて	演習	
担当者	木村　恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
専門分野の研究手法を理解し、関連する文献を読み込む能力を養い、卒業論文につながる研究テーマを見つけていく。

[授業概要]
現代の私たちから見れば、アメリカの女性たちは自分の生きたい道を自由に選べる印象を受ける。だが、それは特に20世紀の女性たちの闘いを通して勝ちえたものである。20世紀の女性たちの置かれた状況を振り返ってみるといくつかの分岐点がある。アメリカ人女性が選挙権を獲得したのは1920年である。選挙権を得て、さらに平等に向けて女性たちは闘いを続けていく。だが第二次世界大戦後は男性たちが戦場から戻り、アメリカが経済大国へと急速に進む過程で、女性たちは家庭に入り良妻賢母となることが奨励されるようになる。女性たちはその当時のイデオロギーに従ったわけだが、一方で社会で活躍できないことに対し鬱積した思いを募らせていた。こうした女性を家庭に閉じ込めた状況がトリガーとなり、女性たちは1960年代の公民権運動や、その後の1970年代以降の男女平等を求めた女性運動に積極的に参加し、女性も自由に活躍できる社会を作り上げようと努力を重ねていったのである。
ゼミでは、とりわけ戦後の家庭回帰の状況が描かれているいくつかの映画作品を通して、その状況の中でも自分らしい生き方を求めようとした女性たちの姿がその後のアメリカ女性にどのようにつながっていくのかをみていく。
なお同時に卒論に向けて論文の書き方の指導も行うので授業ではコンピュータも使用します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の担当者はレジュメを用意し、指定された箇所の説明ができるように準備する。その他の受講者も指定された箇所を精読してくること。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1. イントロダクション。
2. 20世紀の女性の歴史について
3. 1950年代の女性の映画を見る。
4. 映画の分析。論文はどのようにして書くか。
5. 映画の分析。論文はどのようにして書くか。
6. 映画の分析。論文はどのようにして書くか。
7. 映画の分析。論文はどのようにして書くか。
8. 映画の分析。論文はどのようにして書くか。
9. 映画の分析。論文はどのようにして書くか。
10. 映画の分析。 論文はどのようにして書くか。
11. 映画の分析。 論文はどのようにして書くか。
12. 映画の分析。 論文はどのようにして書くか。
13. 全体のまとめ

科目名	文化・文学・語学セミナーⅠ	前期	2 単位
サブタイトル	20 世紀のアメリカ女性たち―自分らしい自由な生き方を求めて	演習	
担当者	木村　恵子		

[成績評価方法]
授業への取り組み(30%)、授業中の発表(30%)、レポート(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
ドライブを共有設定にして課題をチェックし、レポート提出ごとに添削します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	文化・文学・語学セミナーⅠ	前期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学に見る結婚	演習	
担当者	西出　良郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
専門分野の研究方法を理解し、関連する文献を読み込む能力を養い、卒業論文につながる研究テーマを見つけていく。

[授業概要]
イギリスの詩、演劇、小説を取り上げ、そこに描かれる男たちや女たちの生き方を探ること
で、イギリスの社会、文化、歴史、ジェンダー観について学びます。前期はジェイン・オースティン『高慢と偏見』をじっくり読みます。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の担当者はジュメを用意し、指定された箇所の説明ができるように準備する。その他の受講生も指定された箇所を精読してくること。※各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1. イントロダクション
2.『高慢と偏見』1
3.『高慢と偏見』2
4.『高慢と偏見』3
5.『高慢と偏見』4
6.『高慢と偏見』5
7.『高慢と偏見』6
8.『高慢と偏見』7
9.『高慢と偏見』8
10.『高慢と偏見』9
11.『高慢と偏見』10
12.『高慢と偏見』11
13. まとめ

科目名	文化・文学・語学セミナーⅠ	前期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学に見る結婚	演習	
担当者	西出　良郎		

[成績評価方法]
授業への取り組み（30%）、授業中の発表（30%）、レポート（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題のフィードバックはmanabaを利用して行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	シャーロック・ホームズ物語（短篇）を読む。	演習	
担当者	野末　紀之		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
専門分野の研究手法を理解し、関連する文献を読み込む能力を養い、卒業論文につながる研究テーマを見つけていく。

[授業概要]
前期に引き続き、コナン・ドイル作シャーロック・ホームズ物語のうち、おもに1890年代に発表された短篇をイギリス文化との関連で読む。現在にいたるまで繰り返し映画化されテレビドラマ化され、あるいはパロディ化されてきた作品をいくつか取上げ、19世紀末のイギリス文化や社会事情、ほかの文学作品との関連などを視野に入れながら、さまざまな角度から考察してゆく。後半は、受講生に各自選んだ作品について発表してもらう。随時、映像資料を使用する予定。なお、取上げる作品は必要に応じて変更する場合がある。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
・各種翻訳で作品を読んでおくこと。
・英文テキストを精読すること。
・不明な単語や表現などは辞書を引いて調べておくこと。
・各回の担当者は、あらすじ、疑問点、コメント、先行研究などについて報告レジュメを用意すること。
・各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1. イントロダクション～ホームズ研究の現在
2.「入院患者」を読む
3.「入院患者」とイギリス文化
4.「ギリシア語通訳」を読む
5.「ギリシア語通訳」とイギリス文化
6.「孤独な自転車乗り」を読む
7.「孤独な自転車乗り」とイギリス文化
8.「最後の事件」を読む
9.「最後の事件」とイギリス文化
10. 受講生の発表（1）
11. 受講生の発表（2）
12. 受講生の発表（3）
13. まとめと質疑応答、期末レポート作成のためのアドバイス

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	シャーロック・ホームズ物語（短篇）を読む。	演習	
担当者	野末　紀之		

[成績評価方法]
授業への取り組み（20%）、授業中の発表（20%）、レポート（60%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中のフィードバックは授業中に行なう。レポートについてはmanabaを利用し、コメントを付して返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業への取り組み、授業中の発表、期末レポート

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカ演劇・アメリカ文化・アメリカの社会	演習	
担当者	坂元　敦子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
専門分野の研究手法を理解し、関連する文献を読み込む能力を養い、卒業論文につながる研究テーマを見つけていく。

[授業概要]
アメリカ文学の味わい方について、作品を読んだり映画を見たりして考え、アメリカの文化や社会、歴史に親しむ。最初に代表的なアメリカ文学作品を紹介し、さらに自分の選んだアメリカ文学の作品についてリサーチし発表しながら卒業論文のテーマを決める。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の担当者はレジュメを用意し、発表の準備をする。各回、予習復習あわせて2時間程度。

[授業計画]
1. イントロダクション/課題と発表について説明
2. アメリカについて―歴史を概観する
3. アメリカについて―その社会
4. アメリカ文学の代表的な作品を紹介する
5. アメリカ文学の代表的な作品を紹介する
6. 映画大国アメリカ　映画化されたアメリカ文学作品
7. 映画大国アメリカ　映画化されたアメリカ文学作品
8. 映画大国アメリカ　映画化されたアメリカ文学作品
9. アメリカ文学作品についてリサーチする
10. アメリカ文学作品についてリサーチする
11. 作品を選び発表する
12. 作品を選び発表する
13. まとめ

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカ演劇・アメリカ文化・アメリカの社会	演習	
担当者	坂元　敦子		

[成績評価方法]
授業への取り組み（30%）、授業中の発表（30%）、レポート（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で実施し、マナバでもおこないます。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	20 世紀のアメリカ女性たち―自分らしい自由な生き方を求めて	演習	
担当者	木村　恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
専門分野の研究手法を理解し、関連する文献を読み込む能力を養い、卒業論文につながる研究テーマを見つけていく。

[授業概要]
現代の私たちから見れば、アメリカの女性たちは自分の生きたい道を自由に選べる印象を受ける。だが、それは特に20世紀の女性たちの闘いを通して勝ちえたものである。20世紀の女性たちの置かれた状況を振り返ってみるといくつかの分岐点がある。アメリカ人女性が選挙権を獲得したのは1920年である。選挙権を得て、さらに平等に向けて女性たちは闘いを続けていく。だが第二次世界大戦後は男性たちが戦場から戻り、アメリカが経済大国へと急速に進む過程で、女性たちは家庭に入り良妻賢母となることが奨励されるようになる。女性たちはその当時のイデオロギーに従ったわけだが、一方で社会で活躍できないことに対し鬱積した思いを募らせていた。こうした女性を家庭に閉じ込めた状況がトリガーとなり、女性たちは1960年代の公民権運動や、その後の1970年代以降の男女平等を求めた女性運動に積極的に参加し、女性も自由に活躍できる社会を作り上げようと努力を重ねていったのである。
ゼミでは、とりわけ戦後の家庭回帰の状況が描かれているいくつかの映画作品を通して、その状況の中でも自分らしい生き方を求めようとした女性たちの姿がその後のアメリカ女性にどのようにつながっていくのかをみていく。
なお同時に卒論に向けて論文の書き方の指導も行うので授業ではコンピュータも使用します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の担当者はレジュメを用意し、指定された箇所の説明ができるように準備する。その他の受講者も指定された箇所を精読してくること。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1. イントロダクション。
2. 公民権運動への参加について
3. 70年代の女性運動について
4. 映画の分析。論文はどのようにして書くか。
5. 映画の分析。論文はどのようにして書くか。
6. 映画の分析。論文はどのようにして書くか。
7. 映画の分析。論文はどのようにして書くか。
8. 映画の分析。論文はどのようにして書くか。
9. 映画の分析。論文はどのようにして書くか。
10. 映画の分析。 論文はどのようにして書くか。
11. 映画の分析。 論文はどのようにして書くか。
12. 映画の分析。 論文はどのようにして書くか。
13. 全体のまとめ

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	20 世紀のアメリカ女性たち―自分らしい自由な生き方を求めて	演習	
担当者	木村　恵子		

[成績評価方法]
授業への取り組み(30%)、授業中の発表(30%)、レポート(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
ドライブを共有設定にして課題をチェックし、レポート提出ごとに添削します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。

成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	卒論のテーマを見つける	演習	
担当者	西出　良郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
専門分野の研究手法を理解し、関連する文献を読み込む能力を養い、卒業論文につながる研究テーマを見つけていく。

[授業概要]
各自が卒論で取り上げる作品を探す。
映画を見て面白そうと感じたら、最初は翻訳で良いのでその作品を最後まで読んでみる。そして、気になる点、面白いと思った点をノートに書き出してみて、四年時に作成する卒業論文の材料にする。時代背景を調べていくと、登場人物の行動やセリフに込められた新しい意味が浮かび上がり、なるほどそういうことか、という気づきが得られる。歴史も文化も社会も、日本とは大きく異なるイギリスだが、女や男が抱く希望、不安、喜び、悲しみは、私たちにも充分に理解・共感できる。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の担当者はレジュメを用意し、指定された箇所の説明ができるように準備する。その他の受講者も指定された箇所を精読してくること。※各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1. ブロンテ姉妹の男女（3）
2. ディケンズの男女（1）
3. ディケンズの男女（2）
4. ディケンズの男女（3）
5. ワイルドの男女（1）
6 ワイルドの男女（2）
7. ワイルドの男女（3）
8. ショーの男女（1）
9. ショーの男女（2）
10. チャーチルの男女（1）
11. チャーチルの男女（2）
12. ミュージカル
13. 児童文学

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	卒論のテーマを見つける	演習	
担当者	西出　良郎		

[成績評価方法]
授業への取り組み（30%）、授業中の発表（30%）、レポート（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題のフィードバックはmanabaを利用して行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-3／日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-3／対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	米文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学の流れを知る	講義	
担当者	木村　恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
アメリカ文学の特色、その多様性を理解する。

[授業概要]
アメリカ文学の歴史は、ヨーロッパやアジアの文学の歴史を考えると短いものであるが、多くの移民が集まって成されてきた国であるということで多様性をその特徴とする。そしてそれゆえヨーロッパやアジアへ意識が強く向いている文学ともいえよう。またその広大な面積をもつアメリカという国は地域によってもさまざまな違いが見られ、それが多くの作家たちの作品にも反映されている。ピューリタニズム、トランセンデンタリズム、リアリズム、資本主義、モダニズム、ポストモダニズム、といったキーワードを参照しつつ、個々の作家の作品の世界を探っていきたいと思う。さらに文学を通し、アメリカ人というもの、アメリカの歴史、思想、社会への見方も深めていってほしい。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次週取り上げるテキストの範囲を事前に読んでおいてください。
各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1. 19世紀の文学について(1)。
2. 19世紀の文学について(2)。
3. ジャズ・エイジについて。
4. ハーレム・ルネサンスについて。
5. ゾラ・ニール・ハーストンを中心に。
6. ネラ・ラーセンを中心に。
7. ロスト・ジェネレーションについて。
8. アーネスト・ヘミングウェイを中心に。
9. モダニズムの作家たちについて。
10. サザンルネサンスについて。
11. ウィリアム・フォークナーを中心に。
12. 危機の文学について。
13. 南部ゴシックについて。

科目名	米文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学の流れを知る	講義	
担当者	木村　恵子		

[成績評価方法]
授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
リアクションペーパーに返答します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	米文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学の流れを知る	講義	
担当者	木村　恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
アメリカ文学の特色、その多様性を理解する。

[授業概要]
アメリカ文学の歴史は、ヨーロッパやアジアの文学の歴史を考えると短いものであるが、多くの移民が集まって成されてきた国であるということで多様性をその特徴とする。そしてそれゆえヨーロッパやアジアへ意識が強く向いている文学ともいえよう。またその広大な面積をもつアメリカという国は地域によってもさまざまな違いが見られ、それが多くの作家たちの作品にも反映されている。ピューリタニズム、トランセンデンタリズム、リアリズム、資本主義、モダニズム、ポストモダニズム、といったキーワードを参照しつつ、個々の作家の作品の世界を探っていきたいと思う。さらに文学を通し、アメリカ人というもの、アメリカの歴史、思想、社会への見方も深めていってほしい。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次週取り上げるテキストの範囲を事前に読んでおいてください。
各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1. 19世紀の文学について(1)。
2. 19世紀の文学について(2)。
3. ジャズ・エイジについて。
4. ハーレム・ルネサンスについて。
5. ゾラ・ニール・ハーストンを中心に。
6. ネラ・ラーセンを中心に。
7. ロスト・ジェネレーションについて。
8. アーネスト・ヘミングウェイを中心に。
9. モダニズムの作家たちについて。
10. サザンルネサンスについて。
11. ウィリアム・フォークナーを中心に。
12. 危機の文学について。
13. 南部ゴシックについて。

科目名	米文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学の流れを知る	講義	
担当者	木村　恵子		

[成績評価方法]
授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
リアクションペーパーに返答します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	米文学史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学の流れを知る	講義	
担当者	木村　恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
アメリカ文学の特色、その多様性を理解する。

[授業概要]
アメリカ文学の歴史は、ヨーロッパやアジアの文学の歴史を考えると短いものであるが、多くの移民が集まって成されてきた国であるということで多様性をその特徴とする。そしてそれゆえヨーロッパやアジアへ意識が強く向いている文学ともいえよう。またその広大な面積をもつアメリカという国は地域によってもさまざまな違いが見られ、それが多くの作家たちの作品にも反映されている。ピューリタニズム、トランセンデンタリズム、リアリズム、資本主義、モダニズム、ポストモダニズム、といったキーワードを参照しつつ、個々の作家の作品の世界を探っていきたいと思う。さらに文学を通し、アメリカ人というもの、アメリカの歴史、思想、社会への見方も深めていってほしい。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次週取り上げる範囲のテキストの部分をあらかじめ読んでおいてください。
各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1. ユダヤ系アメリカ作家について(1)。
2. ユダヤ系アメリカ作家について(2)。
3. アフリカ系アメリカ作家について(1)。
4. アフリカ系アメリカ作家について(2)。
5. 劇作家について(1)。
6. 劇作家について(2)。
7. 中国系・日系アメリカ作家について(1)。
8. 中国系・日系アメリカ作家について(2)。
9. ネイティヴ・アメリカ作家について。
10. 現代詩人について(1)。
11. 現代詩人について(2)。
12. アメリカで花開いたミュージカルについて。
13. 21世紀の作家について。

科目名	米文学史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学の流れを知る	講義	
担当者	木村　恵子		

[成績評価方法]
授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
リアクションペーパーに返答します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:授業への取り組みやレポート

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:授業への取り組みやレポート

学科DP番号／DP内容:英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法:授業への取り組みやレポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:21世紀から見るアメリカ文学史 著者名:早瀬博範・吉崎邦子 出版社名:英宝社 ISBN:9784269520073

[参考書(ISBN)]

科目名	米文学史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学の流れを知る	講義	
担当者	木村　恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
アメリカ文学の特色、その多様性を理解する。

[授業概要]
アメリカ文学の歴史は、ヨーロッパやアジアの文学の歴史を考えると短いものであるが、多くの移民が集まって成されてきた国であるということで多様性をその特徴とする。そしてそれゆえヨーロッパやアジアへ意識が強く向いている文学ともいえよう。またその広大な面積をもつアメリカという国は地域によってもさまざまな違いが見られ、それが多くの作家たちの作品にも反映されている。ピューリタニズム、トランセンデンタリズム、リアリズム、資本主義、モダニズム、ポストモダニズム、といったキーワードを参照しつつ、個々の作家の作品の世界を探っていきたいと思う。さらに文学を通し、アメリカ人というもの、アメリカの歴史、思想、社会への見方も深めていってほしい。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次週取り上げる範囲のテキストの部分をあらかじめ読んでおいてください。
各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1. ユダヤ系アメリカ作家について(1)。
2. ユダヤ系アメリカ作家について(2)。
3. アフリカ系アメリカ作家について(1)。
4. アフリカ系アメリカ作家について(2)。
5. 劇作家について(1)。
6. 劇作家について(2)。
7. 中国系・日系アメリカ作家について(1)。
8. 中国系・日系アメリカ作家について(2)。
9. ネイティヴ・アメリカ作家について。
10. 現代詩人について(1)。
11. 現代詩人について(2)。
12. アメリカで花開いたミュージカルについて。
13. 21世紀の作家について。

科目名	米文学史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学の流れを知る	講義	
担当者	木村　恵子		

[成績評価方法]
授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
リアクションペーパーに返答します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:授業への取り組みやレポート

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:授業への取り組みやレポート

学科DP番号／DP内容:英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法:授業への取り組みやレポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:21世紀から見るアメリカ文学史 著者名:早瀬博範・吉崎邦子 出版社名:英宝社 ISBN:9784269520073

[参考書(ISBN)]

科目名	米文学入門Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカン・ゴシック入門	講義	
担当者	木村　恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
アメリカ文学をゴシックの視点から見る。

[授業概要]
ゴシック小説とは、古城、修道院、地下窟、墓地、廃墟といったいわゆるゴシック風の環境を背景とし超自然的な怪奇を扱い、殺人が起きたり、亡霊の出没する、人々に恐怖や不安を与える小説を初期の段階ではさしている。その代表的な作者としてAnn Radcliffe, Mary Shelley, Bram Stoker, Matthew Lewisが挙げられる。やがてイギリスではそうしたタイプのゴシック小説は廃れ、その流れはドイツやアメリカに移っていった。
そしてイギリスのゴシック小説は、Charles Brockden Brownを介してアメリカへと広がっていく。Edgar Allan Poe, Nathaniel Hawthorne, Henry James, William Faulkner, Flannery O'Connor, Shirley Jackson, Richard Wright, Toni Morrison, Thomas Pynchon, Steven King, Anne Riceなど、広がりを見せ、アメリカ文学の中心的存在となっていったのである。そして、演劇や映画へも発展もみせている。いうなればアメリカ文学の主要な作家の多くがゴシック小説とかかわりをもっているのである。横断的に見ることにより、そのゴシック性の受け継がれを浮き彫りにしたい。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
次週取り上げるテキストの範囲を読んできてください。
各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1 ゴシック小説の誕生について
2 イギリスにおけるゴシック小説(1)
3 イギリスにおけるゴシック小説(2)
4イギリスにおけるゴシック小説(3)
5 アメリカンゴシックが生まれた背景
6インディアンの存在
7 ピューリタニズムの影
8魔女狩り
9 コットン・マザー
10 フロンティアの恐怖
11 アメリカゴシック小説の誕生―チャールズ・ブロックデン・ブラウン
12 エドガー・アラン・ポー (1)
13 エドガー・アラン・ポー (2)

科目名	米文学入門Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカン・ゴシック入門	講義	
担当者	木村　恵子		

[成績評価方法]
授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
リアクションペーパーに返答します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:21世紀から見るアメリカ文学史 著者名:早瀬博範・吉崎邦子 出版社名:英宝社 ISBN:9784269520073

科目名	米文学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカン・ゴシック入門	講義	
担当者	木村　恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
アメリカ文学をゴシックの視点から見る。

[授業概要]
ゴシック小説とは、古城、修道院、地下窟、墓地、廃墟といったいわゆるゴシック風の環境を背景とし超自然的な怪奇を扱い、殺人が起きたり、亡霊の出没する、人々に恐怖や不安を与える小説を初期の段階ではさしている。その代表的な作者としてAnn Radcliffe, Mary Shelley, Bram Stoker, Matthew Lewisが挙げられる。やがてイギリスではそうしたタイプのゴシック小説は廃れ、その流れはドイツやアメリカに移っていった。
そしてイギリスのゴシック小説は、Charles Brockden Brownを介してアメリカへと広がっていく。Edgar Allan Poe, Nathaniel Hawthorne, Henry James, William Faulkner, Flannery O'Connor, Shirley Jackson, Richard Wright, Toni Morrison, Thomas Pynchon, Steven King, Anne Riceなど、広がりを見せ、アメリカ文学の中心的存在となっていったのである。そして、演劇や映画へも発展もみせている。いうなればアメリカ文学の主要な作家の多くがゴシック小説とかかわりをもっているのである。横断的に見ることにより、そのゴシック性の受け継がれを浮き彫りにしたい。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
次週取り上げるテキストの範囲を読んできてください。
各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1 ゴシック小説の誕生について
2 イギリスにおけるゴシック小説(1)
3 イギリスにおけるゴシック小説(2)
4イギリスにおけるゴシック小説(3)
5 アメリカンゴシックが生まれた背景
6インディアンの存在
7 ピューリタニズムの影
8魔女狩り
9 コットン・マザー
10 フロンティアの恐怖
11 アメリカゴシック小説の誕生―チャールズ・ブロックデン・ブラウン
12 エドガー・アラン・ポー (1)
13 エドガー・アラン・ポー (2)

科目名	米文学入門Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカン・ゴシック入門	講義	
担当者	木村　恵子		

[成績評価方法]
授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
リアクションペーパーに返答します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:21世紀から見るアメリカ文学史 著者名:早瀬博範・吉崎邦子 出版社名:英宝社 ISBN:9784269520073

科目名	米文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカン・ゴシック入門	講義	
担当者	木村　恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
アメリカ文学をゴシックの視点から見る。

[授業概要]
ゴシック小説とは、古城、修道院、地下窟、墓地、廃墟といったいわゆるゴシック風の環境を背景とし超自然的な怪奇を扱い、殺人が起きたり、亡霊の出没する、人々に恐怖や不安を与える小説を初期の段階ではさしている。その代表的な作者として AnnRadcliffe, Mary Shelley, Bram Stoker, Matthew Lewisが挙げられる。やがてイギリスではそうしたタイプのゴシック小説は廃れ、その流れはドイツやアメリカに移っていった。
そしてイギリスのゴシック小説は、Charles Brockden Brownを介してアメリカへと広がっていく。Edgar Allan Poe, NathanielHawthorne, Henry James, William Faulkner, Flannery O'Connor, Shirley Jackson, Richard Wright, Toni Morrison, Thomas、Pynchon, Steven King, Anne Riceなど、広がりを見せ、アメリカ文学の中心的存在となっていったのである。そして、演劇や映画へも発展もみせている。いうなればアメリカ文学の主要な作家の多くがゴシック小説とかかわりをもっているのである。横断的に見ることにより、そのゴシック性の受け継がれを浮き彫りにしたい。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
次週取り上げるテキストの範囲をあらかじめ読んでおいてください。
各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1 イントロダクション。授業計画、成績評価方法等の説明。前期の復習。
2 ナサニエル・ホーソーン (1)
3 ナサニエル・ホーソーン (2)
4 ヘンリー・ジェイムズ (1)
5 ヘンリー・ジェイムズ (2)
6 南部ゴシックについて(1)
7 南部ゴシックについて(2)
8 南部ゴシックについて(3)
9 黒人ゴシックについて
10 女性ゴシックについて(1)
11 女性ゴシックについて(2)
12 モダン・ゴシックについて(1)
13 モダン・ゴシックについて(2)

科目名	米文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカン・ゴシック入門	講義	
担当者	木村　恵子		

[成績評価方法]
授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
リアクションペーパーに返答します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:アメリカ文学案内 著者名:寺門泰彦 他 出版社名:朝日出版社 ISBN:9784255004303

科目名	米文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカン・ゴシック入門	講義	
担当者	木村　恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
アメリカ文学をゴシックの視点から見る。

[授業概要]
ゴシック小説とは、古城、修道院、地下窟、墓地、廃墟といったいわゆるゴシック風の環境を背景とし超自然的な怪奇を扱い、殺人が起きたり、亡霊の出没する、人々に恐怖や不安を与える小説を初期の段階ではさしている。その代表的な作者として Ann Radcliffe, Mary Shelley, Bram Stoker, Matthew Lewisが挙げられる。やがてイギリスではそうしたタイプのゴシック小説は廃れ、その流れはドイツやアメリカに移っていった。
そしてイギリスのゴシック小説は、Charles Brockden Brownを介してアメリカへと広がっていく。Edgar Allan Poe, Nathaniel Hawthorne, Henry James, William Faulkner, Flannery O'Connor, Shirley Jackson, Richard Wright, Toni Morrison, Thomas Pynchon, Steven King, Anne Riceなど、広がりを見せ、アメリカ文学の中心的存在となっていったのである。そして、演劇や映画へも発展もみせている。いうなればアメリカ文学の主要な作家の多くがゴシック小説とかかわりをもっているのである。横断的に見ることにより、そのゴシック性の受け継がれを浮き彫りにしたい。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次週取り上げるテキストの範囲をあらかじめ読んでおいてください。
各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1 イントロダクション。授業計画、成績評価方法等の説明。前期の復習。
2 ナサニエル・ホーソーン (1)
3 ナサニエル・ホーソーン (2)
4 ヘンリー・ジェイムズ (1)
5 ヘンリー・ジェイムズ (2)
6 南部ゴシックについて(1)
7 南部ゴシックについて(2)
8 南部ゴシックについて(3)
9 黒人ゴシックについて
10 女性ゴシックについて(1)
11 女性ゴシックについて(2)
12 モダン・ゴシックについて(1)
13 モダン・ゴシックについて(2)

科目名	米文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカン・ゴシック入門	講義	
担当者	木村　恵子		

[成績評価方法]
授業への取り組み（30%）、レポート（70%）で総合的に評価。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
リアクションペーパーに返答します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]
書籍名:アメリカ文学案内 著者名:寺門泰彦 他 出版社名:朝日出版社 ISBN:9784255004303

科目名	Basic Writing Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
様々な話題についての実践的な英作文能力を身に付ける。また、様々な研究テーマに沿った内容を英語で書くための基礎力を身に付ける。

[授業概要]
様々な話題についての自らの考えを英文で表すための実践演習を行う。作文の題材はテキストに基づき、ブログや手紙、Eメール、民話、伝記、様々な場所についての紹介文など様々な形態の英文を書く作業を行う。また、フォーマルな英文とそうでない英文の違いについても着目しながら英語を書く演習を行う。作成した英文については、毎回、発表・討論を経て、書き直しを行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
第1回:オリエンテーション、ブログの文面作成
第2回:ブログの文面作成 発表・討論と書き直し
第3回:旧友への手紙、Eメールの作成
第4回:旧友への手紙、Eメールの作成 発表・討論と書き直し
第5回:民話の作成
第6回:民話の作成 発表・討論と書き直し
第7回:民話について議論
第8回:学習した表現の復習、中間試験
第9回:自分の好きな場所についての紹介文作成
第10回:自分の好きな場所についての紹介文作成 発表・討論と書き直し
第11回:心配事の原因についての小論文作成
第12回:心配事の原因についての小論文作成 発表・討論と書き直し
第13回:まとめ
期末試験

科目名	Basic Writing Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[成績評価方法]
授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), 英作文課題(60%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will be given feedback on typed essays they write and will be asked to resubmit revised versions based on that feedback. Students will also be asked to do writing assignments in class where they will be required to send them in and get checked as well.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Effective Academic Writing: 2/E Level 1 SB w/Online Practice 著者名:Alice Savage 出版社名:Oxford University Press (オックスフォード大学出版局) ISBN:9780194323468

[参考書(ISBN)]

科目名	Basic Writing Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. ハリソン		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
様々な話題についての実践的な英作文能力を身に付ける。また、様々な研究テーマに沿った内容を英語で書くための基礎力を身に付ける。

[授業概要]
様々な話題についての自らの考えを英文で表すための実践演習を行う。作文の題材はテキストに基づき、ブログや手紙、Eメール、民話、伝記、様々な場所についての紹介文など様々な形態の英文を書く作業を行う。また、フォーマルな英文とそうでない英文の違いについても着目しながら英語を書く演習を行う。作成した英文については、毎回、発表・討論を経て、書き直しを行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
第1回:オリエンテーション、ブログの文面作成
第2回:ブログの文面作成 発表・討論と書き直し
第3回:旧友への手紙、Eメールの作成
第4回:旧友への手紙、Eメールの作成 発表・討論と書き直し
第5回:民話の作成
第6回:民話の作成 発表・討論と書き直し
第7回:民話について議論
第8回:学習した表現の復習、中間試験
第9回:自分の好きな場所についての紹介文作成
第10回:自分の好きな場所についての紹介文作成 発表・討論と書き直し
第11回:心配事の原因についての小論文作成
第12回:心配事の原因についての小論文作成 発表・討論と書き直し
第13回:まとめ
期末試験

科目名	Basic Writing Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. ハリソン		

[成績評価方法]
授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), 英作文課題(60%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will submit a draft by email, which will be returned by the teacher with comments, corrections and suggestions for second drafts. Students will then submit a second draft for evaluation, which will be given by email and as oral comments to the group as a whole.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), 英作文課題(60%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%)

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Effective Academic Writing: 2/E Level 1 SB w/Online Practice 著者名:Alice Savage 出版社名:Oxford University Press (オックスフォード大学出版局) ISBN:9780194323468

[参考書(ISBN)]

科目名	Basic Writing Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
様々な話題についての実践的な英作文能力を身に付ける。また、様々な研究テーマに沿った内容を英語で書くための基礎力を身に付ける。

[授業概要]
様々な話題についての自らの考えを英文で表すための実践演習を行う。作文の題材はテキストに基づき、人物紹介文、物語、エッセー、有名な街の紹介文、親しい間柄のEメール、感謝を表すEメールなど様々な形態の英文を書く作業を行う。また、様々な語彙や表現を用いながら英語を書くことに重点を置く。作成した英文については、毎回、発表・討論を経て、書き直しを行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
What to prepare before class- Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
第1回:人物紹介作成
第2回:人物紹介作成 発表・討論と書き直し
第3回:物語作成
第4回:物語作成 発表・討論と書き直し
第5回:特定の話題についての長所と短所を述べたエッセー
第6回:特定の話題についての長所と短所を述べたエッセー 発表・討論と書き直し
第7回:クラス内でのエッセー発表会
第8回:学習した表現の復習、中間試験
第9回:有名な街の紹介文作成
第10回:有名な街の紹介文作成 発表・討論と書き直し
第11回:親しい間柄のEメール作成
第12回:親しい間柄のEメール作成 発表・討論と書き直し
第13回:まとめ
期末試験

科目名	Basic Writing Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[成績評価方法]
授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), 英作文課題(60%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will be given feedback on typed essays they write and will be asked to resubmit revised versions based on that feedback. Students will also be asked to do writing assignments in class where they will be required to send them in and get checked as well.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	Basic Writing Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. ハリソン		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
様々な話題についての実践的な英作文能力を身に付ける。また、様々な研究テーマに沿った内容を英語で書くための基礎力を身に付ける。

[授業概要]
様々な話題についての自らの考えを英文で表すための実践演習を行う。作文の題材はテキストに基づき、人物紹介文、物語、エッセー、有名な街の紹介文、親しい間柄のEメール、感謝を表すEメールなど様々な形態の英文を書く作業を行う。また、様々な語彙や表現を用いながら英語を書くことに重点を置く。作成した英文については、毎回、発表・討論を経て、書き直しを行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
第1回:人物紹介作成
第2回:人物紹介作成 発表・討論と書き直し
第3回:物語作成
第4回:物語作成 発表・討論と書き直し
第5回:特定の話題についての長所と短所を述べたエッセー
第6回:特定の話題についての長所と短所を述べたエッセー 発表・討論と書き直し
第7回:クラス内でのエッセー発表会
第8回:学習した表現の復習、中間試験
第9回:有名な街の紹介文作成
第10回:有名な街の紹介文作成 発表・討論と書き直し
第11回:親しい間柄のEメール作成
第12回:親しい間柄のEメール作成 発表・討論と書き直し
第13回:まとめ
期末試験

科目名	Basic Writing Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. ハリソン		

[成績評価方法]
授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), 英作文課題(60%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will submit a draft by email, which will be returned by the teacher with comments, corrections and suggestions for second drafts. Students will then submit a second draft for evaluation, which will be given by email and as oral comments to the group as a whole.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), 英作文課題(60%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%)

学科DP番号／DP内容:英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Effective Academic Writing: 2/E Level 1 SB w/Online Practice 著者名:Alice Savage 出版社名:Oxford University Press (オックスフォード大学出版局) ISBN:9780194323468

[参考書(ISBN)]

科目名	翻訳演習 Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	字幕翻訳演習	演習	
担当者	木村　恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
字幕という字数の限られた翻訳を理解する。

[授業概要]
英米を舞台とした映画を題材に、そのスクリプトを読み、字幕翻訳の仕方を学ぶ。ナレーション、会話特有の表現にも留意し、作品の文化的歴史的背景も考慮しながら翻訳を試みる。また自分の翻訳と実際の字幕との違いについても考えてみる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次週取り上げるスクリプトの部分を事前に読み、辞書を引いておいてください。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1. オリエンテーション(授業計画、成績評価方法の説明等)。スクリプト配布し、概要を説明する。
2. 映画を見る。あらすじをたどる。
3. 映画の歴史的・文化的背景を見る。登場人物に焦点を当てる。
4. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。①
5. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。②
6. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。③
7. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。④
8. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑤
9. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑥
10. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑦
11. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑧
12. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑨
13. 全体のまとめ

科目名	翻訳演習 I	前期	2 単位
サブタイトル	字幕翻訳演習	演習	
担当者	木村　恵子		

[成績評価方法]
授業への取り組み(30%)、課題(50%)、試験(20%)で評価。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
書かれた訳に誤訳があった場合、どこが間違っているかを指摘します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:授業への取り組みやテスト

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:授業への取り組みやテスト

学科DP番号／DP内容:英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法:授業への取り組みやテスト

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	翻訳演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	字幕翻訳演習	演習	
担当者	木村　恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
字幕という字数の限られた翻訳を理解する。

[授業概要]
アメリカを舞台とした映画を題材に、そのスクリプトを読み、字幕翻訳の仕方を学ぶ。ナレーション、会話特有の表現にも留意し、作品の文化的歴史的背景も考慮しながら翻訳を試みる。また自分の翻訳と実際の字幕との違いについても考えてみる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次週扱う予定のスクリプトの範囲を読み、あらかじめ意味のわからない単語の意味を調べておいてください。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1. オリエンテーション(授業計画、成績評価方法の説明等)。スクリプト配布し、概要を説明する。
2. 映画を見る。あらすじをたどる。
3. 映画の歴史的・文化的背景を見る。登場人物に焦点を当てる。
4. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。①
5. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。②
6. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。③
7. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。④
8. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑤
9. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑥
10. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑦
11. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑧
12. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑨
13. 全体のまとめ

科目名	翻訳演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	字幕翻訳演習	演習	
担当者	木村　恵子		

[成績評価方法]
授業への取り組み(30%)、課題(50%)、試験(20%)で評価。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
書かれた訳に誤訳があった場合、どこが間違っているかを指摘します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:授業への取り組みやテスト

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:授業への取り組みやテスト

学科DP番号／DP内容:英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法:授業への取り組みやテスト

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	Media English Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	映画で学ぶおとぎ話の深層	講義	
担当者	木村　恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
おとぎ話の過去から現代への変容を知る。

[授業概要]
　この授業では、ヨーロッパにおいて語り継がれたおとぎ話が現在どのように映画で表象されているかについて考察する。中心として扱うおとぎ話は、「白雪姫」、「シンデレラ」、「眠れる森の美女」である。授業では実際に映画を見て、時代を経るにつれ、おとぎ話がどのように変容していっているかを理解してもらう。またディスカッションを通して他の学生の意見を聞くことによって自分の考えを深めてもらう。精神分析的視点、ジェンダー的視点、歴史的視点、カルチュラル的視点からの解説も行う予定である。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎回ノートを取り、ドライブに保存してください。
各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1 「白雪姫」―グリム童話を読む。
2「白雪姫」―アニメ映画を見て考察。
3 「白雪姫」―映画分析。グリム童話との比較。
4「白雪姫」―ディスカッション。他のおとぎ話との比較。
5 「白雪姫」―意志を持ち、戦う白雪姫の映画を見て考察。
6 「白雪姫」―映画分析。現代人の求める白雪姫象とは？
7「白雪姫」―ディスカッション。「シンデレラ」、「眠れる森の美女」との比較。
8 「白雪姫」―コメディタッチの映画を見て考察。
9「白雪姫」―映画分析。現代人の求める白雪姫象とは？
10「白雪姫」―ディスカッション。他のおとぎ話との比較。
11 「白雪姫」―「白雪姫」がベースになっている映画を見て考察。
12 「白雪姫」―映画分析。どういうモチーフが白雪姫と結びつけられるのか？
13 「白雪姫」―ディスカッション。「シンデレラ」、「眠れる森の美女」との比較。

科目名	Media English Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	映画で学ぶおとぎ話の深層	講義	
担当者	木村　恵子		

[成績評価方法]
授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出された課題に対して講評します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	Media English Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	映画で学ぶおとぎ話の深層	講義	
担当者	木村　恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
おとぎ話の過去から現代への変容を知る。

[授業概要]
　この授業では、ヨーロッパにおいて語り継がれたおとぎ話が現在どのように映画で表象されているかについて考察する。中心として扱うおとぎ話は、「白雪姫」、「シンデレラ」、「眠れる森の美女」である。授業では実際に映画を見て、時代を経るにつれ、おとぎ話がどのように変容していっているかを理解してもらう。またディスカッションを通して他の学生の意見を聞くことによって自分の考えを深めてもらう。精神分析的視点、ジェンダー的視点、歴史的視点、カルチュラル的視点からの解説も行う予定である。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎回ノートを取り、ドライブに保存してください。
各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1 「シンデレラ」―アニメ映画を見て考察。
2「シンデレラ」―映画分析。グリム童話ペローの童話との比較。
3「シンデレラ」―ディスカッション。他のおとぎ話との比較。
4 「シンデレラ」―実写映画を見て考察。
5「シンデレラ」―映画分析。現代人の求めるシンデレラ象とは？
6 「シンデレラ」―ディスカッション。他のおとぎ話との比較。
7 「眠れる森の美女」―グリム童話、ペローの童話を読む。
8 「眠れる森の美女」―アニメ映画を見て考察。
9「眠れる森の美女」―映画分析。グリム童話との比較。
10 「眠れる森の美女」―ディスカッション。他のおとぎ話との比較。
11 「眠れる森の美女」―ヴィランが主人公の映画を見て考察。
12 「眠れる森の美女」―映画分析。現代人の求めるオーロラ象とは？
13「眠れる森の美女」―ディスカッション。他のおとぎ話との比較。

科目名	Media English Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	映画で学ぶおとぎ話の深層	講義	
担当者	木村　恵子		

[成績評価方法]
授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出された課題に対して講評します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	Reading Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
長文と短文のパッセージを含む英文教材の読解を通して、様々な英文を読み取る力や語彙力の充実を図る。

[授業概要]
この授業では、テキストに書かれた英文を読み、様々な内容理解の問題や活動を行うことで読解力を身に付ける。また、様々な語彙を理解し、学術的な内容も含む難易度の高い英文についても書かれている情報や筆者の主張などを読み取る力や文法・文構造の知識を身に付け、自ら英文を読み取る能力を育成する。さらに、授業外でもOxford Bookwormsシリーズ等の書籍を読み、ブックレポートの作成及びオンラインクイズに解答する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
What to prepare before class- Review the notes and assignments of the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
第1回:オリエンテーション
第2回:Welcome to our worldの読解
第3回:Welcome to our worldについてのブックレポート発表
第4回:8 Unusual things successful people do every dayの読解
第5回:8 Unusual things successful people do every dayのブックレポート発表
第6回:8 Unusual things successful people do every dayの総括
第7回:これまでのブックレポートの総括、中間試験
第8回:Romeo and Julietの読解
第9回:Romeo and Julietのブックレポート発表
第10回:Romeo and Julietの総括
第11回:How Jake Knapp solved his problemの読解
第12回:How Jake Knapp solved his problemのブックレポート発表
第13回:まとめ
期末試験

科目名	Reading Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[成績評価方法]
授業中の態度（ディスカッションへの参加等）（10%）, 自宅課題（15%), ブックレポート(20%）, MReaderによるクイズ（30%）, 期末試験（25%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
Students will receive feedback in a number of ways. Firstly, they will be given feedback in person during lessons. They will also receive written feedback on writing assignments submitted on Manaba. Students also give and receive feedback in group exercises with their classmates.

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：book discussion, book reviews, m-reader

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：book discussion, m-reader

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：m-reader tests, assignments, reading tests

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：m-reader, assignments

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：class discussions

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：class discussions, book reviews

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：class discussions

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：class discussions, book reviews

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：class discussions

[教科書（ISBN）]
書籍名:Prism Reading Level 1 Student's Book with Digital Pack 著者名:Michele Lewis 出版社名:Cambridge University Press（ケンブリッジ大学出版） ISBN:9781009251631

[参考書（ISBN）]

科目名	Reading Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
長文と短文のパッセージを含む英文教材の読解を通して、様々な英文を読み取る力や語彙力の充実を図る。

[授業概要]
この授業では、テキストに書かれた英文を読み、様々な内容理解の問題や活動を行うことで読解力を身に付ける。また、様々な語彙を理解し、学術的な内容も含む難易度の高い英文についても書かれている情報や筆者の主張などを読み取る力や文法・文構造の知識を身に付け、自ら英文を読み取る能力を育成する。さらに、授業外でもOxford Bookwormsシリーズ等の書籍を読み、ブックレポートの作成及びオンラインクイズに解答する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
What to prepare before class- Review the notes and assignments of the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.

各回、予習復習合わせて 2 時間程度

[授業計画]
第1回:オリエンテーション
第2回:Welcome to our worldの読解
第3回:Welcome to our worldについてのブックレポート発表
第4回:8 Unusual things successful people do every dayの読解
第5回:8 Unusual things successful people do every dayのブックレポート発表
第6回:8 Unusual things successful people do every dayの総括
第7回:これまでのブックレポートの総括、中間試験
第8回:Romeo and Julietの読解
第9回:Romeo and Julietのブックレポート発表
第10回:Romeo and Julietの総括
第11回:How Jake Knapp solved his problemの読解
第12回:How Jake Knapp solved his problemのブックレポート発表
第13回:まとめ
期末試験

科目名	Reading Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[成績評価方法]
授業中の態度（ディスカッションへの参加等）（10%）, 自宅課題（15%), ブックレポート(20%）, MReaderによるクイズ（30%）, 期末試験（25%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
Students will be given feedback on their homework and e-learning assignments a few weeks after completion. They are also required to read books and review several books of their choice, which will be given feedback at the end of the semester.

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：book discussion, book reviews, m-reader

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：book discussion, m-reader

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：m-reader tests, assignments, reading tests

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：m-reader, assignments

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：class discussions

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：class discussions, book reviews

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：class discussions

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：class discussions, book reviews

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：class discussions

[教科書（ISBN）]
書籍名:Prism Reading Level 1 Student's Book with Digital Pack 著者名:Michele Lewis 出版社名:Cambridge University Press（ケンブリッジ大学出版） ISBN:9781009251631

[参考書（ISBN）]

科目名	Reading Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
長文と短文のパッセージを含む英文教材の読解を通して、様々な英文を読み取る力や語彙力の充実を図る。

[授業概要]
この授業では、テキストに書かれた英文を読み、様々な内容理解の問題や活動を行うことで読解力を身に付ける。また、様々な語彙を理解し、学術的な内容も含む難易度の高い英文についても書かれている情報や筆者の主張などを読み取る力や文法・文構造の知識を身に付け、自ら英文を読み取る能力を育成する。さらに、授業外でもOxford Bookwormsシリーズ等の書籍を読み、ブックレポートの作成及びオンラインクイズに解答する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
What to prepare before class- Review the notes and assignments of the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
第1回:オリエンテーション、Life in 2065の読解
第2回:Life in 2065のブックレポート発表
第3回:Life in 2065の総括
第4回:My Kitchenの読解
第5回:My Kitchenのブックレポート発表
第6回:My Kitchenの総括
第7回:これまでのブックレポートの総括、中間試験
第8回:Singaporeの読解
第9回:Singaporeのブックレポート発表
第10回:Singaporeの総括
第11回:The three studentsの読解
第12回:The three studentsのブックレポート発表
第13回:まとめ
期末試験

科目名	Reading Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[成績評価方法]
授業中の態度（ディスカッションへの参加等）（10%）, 自宅課題（15%), ブックレポート(20%）, MReaderによるクイズ（30%）, 期末試験（25%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
Students will receive feedback in a number of ways. Firstly, they will be given feedback in person during lessons. They will also receive written feedback on writing assignments submitted on Manaba. In addition, they will receive comments and suggestions on videos that they submit using the “Flipgrid” online program. Students also give and receive feedback in group exercises with their classmates.

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：book discussion, book reviews, m-reader

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：book discussion, book reviews, m-reader

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：book discussion, book reviews, m-reader, tests

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：m-reader, assignments

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：class discussions

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：class discussions, book reviews

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：class discussions

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：class discussions, book reviews

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：class discussions

[教科書（ISBN）]
書籍名:Prism Reading Level 1 Student's Book with Digital Pack 著者名:Michele Lewis 出版社名:Cambridge University Press（ケンブリッジ大学出版）ISBN:9781009251631

[参考書（ISBN）]

科目名	Reading Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
長文と短文のパッセージを含む英文教材の読解を通して、様々な英文を読み取る力や語彙力の充実を図る。

[授業概要]
この授業では、テキストに書かれた英文を読み、様々な内容理解の問題や活動を行うことで読解力を身に付ける。また、様々な語彙を理解し、学術的な内容も含む難易度の高い英文についても書かれている情報や筆者の主張などを読み取る力や文法・文構造の知識を身に付け、自ら英文を読み取る能力を育成する。さらに、授業外でもOxford Bookwormsシリーズ等の書籍を読み、ブックレポートの作成及びオンラインクイズに解答する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review notes and assignments of the previous week. Complete all homework. Turn in assignments in a timely manner.

各回、予習復習合わせて 2 時間程度

[授業計画]
第1回:オリエンテーション、Life in 2065の読解
第2回:Life in 2065のブックレポート発表
第3回:Life in 2065の総括
第4回:My Kitchenの読解
第5回:My Kitchenのブックレポート発表
第6回:My Kitchenの総括
第7回:これまでのブックレポートの総括、中間試験
第8回:Singaporeの読解
第9回:Singaporeのブックレポート発表
第10回:Singaporeの総括
第11回:The three studentsの読解
第12回:The three studentsのブックレポート発表
第13回:まとめ
期末試験

科目名	Reading Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[成績評価方法]
授業中の態度（ディスカッションへの参加等）（10%）, 自宅課題（15%), ブックレポート(20%）, MReaderによるクイズ（30%）, 期末試験（25%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
Students will be given feedback on their homework and e-learning assignments a few weeks after completion. They are also required to read books and review several books of their choice, which will be given feedback at the end of the semester.

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：book discussion, book reviews, m-reader

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：book discussion, m-reader

学科DP番号／DP内容：英米3-1／高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法：m-reader tests, assignments, reading tests

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：m-reader, assignments

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：class discussions

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：class discussions, book reviews

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：class discussions

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：class discussions, book reviews

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：class discussions

[教科書（ISBN）]
書籍名:Prism Reading Level 1 Student's Book with Digital Pack 著者名:Michele Lewis 出版社名:Cambridge University Press（ケンブリッジ大学出版） ISBN:9781009251631

[参考書（ISBN）]